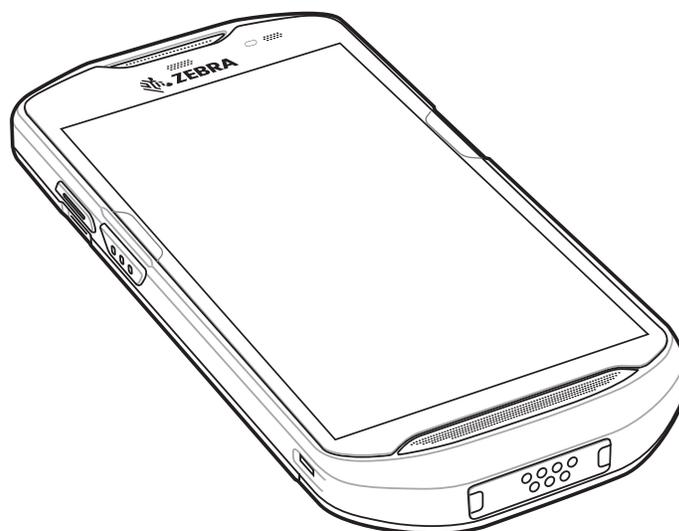




TC56



タッチコンピュータ

(Android™ 向け) バージョン 6.0.1
ユーザーガイド



TC56
ANDROID バージョン 6.0.1 ユーザー ガイド

MN-002958-03JA

改訂版 A

2020 年 1 月

著作権

© 2020 ZIH Corp and/or its affiliates. All Rights Reserved. ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

著作権および商標: 著作権と商標情報の詳細については、www.zebra.com/copyright でご確認ください。

保証: 保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

- 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれていないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies では、このような誤りが発見された場合にそれを修正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有しています。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。法域によっては、付随的損害または派生的損害に関する責任の除外または限定を認めていない場合があります。その場合、お客様には上記の限定または除外は適用されません。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2017 年 1 月	初期リリース
-02 改訂版 A	2018 年 9 月	クリーニング手順を更新してください。
-03 改訂版 A	2020 年 1 月	バッテリーの詳細を更新しました。

目次

改訂版履歴	iii
このガイドについて	
はじめに	xiii
マニュアル セット	xiii
構成	xiii
ソフトウェア バージョン	xiv
章の説明	xiv
表記規則	xv
アイコンの表記規則	xv
関連文書	xvi
サービスに関する情報	xvi
第 1 章: ご使用の前に	
パッケージの開梱	1-1
機能	1-2
セットアップ	1-4
microSD カードの取り付け	1-4
SIM カードの取り付け	1-7
バッテリーの取り付け	1-10
バッテリーの充電	1-10
充電インジケータ	1-11
Google アカウント設定	1-11
バッテリーの交換	1-11
microSD カードの交換	1-13
SIM カードの交換	1-15
デバイス設定へのアクセス	1-17
バッテリー管理	1-17
バッテリー使用量の監視	1-17
低バッテリー通知	1-18
バッテリーの最適な使用方法	1-19
無線通信をオフにする方法	1-19

日時の設定	1-19
ディスプレイの設定	1-20
画面の輝度の設定	1-20
画面回転の設定	1-20
ホーム画面の回転の設定	1-20
画面のタイムアウトの設定	1-21
フォント サイズの設定	1-21
Touch Panel Mode (タッチ パネル モード)	1-22
通知 LED の設定	1-23
一般的なサウンド設定	1-23
ウェイクアップ ソース	1-25

第 2 章: TC56 の使用

はじめに	2-1
Google モバイル サービス	2-1
ホーム画面	2-2
ステータス バー	2-3
ステータス アイコン	2-4
通知アイコン	2-5
通知の管理	2-6
アプリケーション ショートカットとウィジェット	2-8
アプリケーションをホーム画面に追加する	2-8
ホーム画面にウィジェットを追加する	2-8
ホーム画面での項目の移動	2-8
アプリケーション ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する	2-8
フォルダ	2-8
フォルダの作成	2-8
フォルダの名前付け	2-9
フォルダの削除	2-9
ホーム画面の壁紙	2-9
タッチスクリーンの使用方法	2-10
キーボード	2-10
キーボードの設定	2-11
エンタープライズ キーボードの使用方法	2-11
数字タブ	2-11
英字タブ	2-11
追加文字タブ	2-12
スキャンタブ	2-12
Android キーボードの使用方法	2-13
テキストの編集	2-13
数字、記号、および特殊文字の入力	2-13
アプリケーション	2-14
アプリケーションへのアクセス	2-18
現在使用されているアプリケーションの切り替え	2-19
画面のロック解除	2-19
デバイスのリセット	2-23
ソフト リセットの実行	2-23
ハード リセットの実行	2-23
サスペンド モード	2-24

USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する	2-25
メディア転送プロトコルを使用してファイルを転送する	2-25
画像転送プロトコルを使用してファイルを転送する	2-25
ホスト コンピュータからの切断	2-26
第 3 章: 通話	
緊急通話	3-1
音声モード	3-1
Bluetooth ヘッドセットの使用	3-1
有線ヘッドセットの使用	3-2
音量の調節	3-2
ダイヤラを使用して電話をかける	3-3
ダイヤラのダイヤル オプション	3-5
連絡先を使用して電話をかける	3-6
ダイヤラの使用	3-6
連絡先アプリケーションの使用	3-7
通話履歴を使用して電話をかける	3-8
GSM で会議通話セッションを確立する	3-9
三者通話 (CDMA)	3-12
通話への応答	3-15
通話設定	3-16
第 4 章: アプリケーション	
バッテリー マネージャ	4-1
ファイル ブラウザ	4-4
Messaging (メッセージング)	4-5
テキスト メッセージの送信	4-5
マルチメディア メッセージの送信	4-6
連絡先	4-7
連絡先の追加	4-7
連絡先の編集	4-7
連絡先の削除	4-7
カメラ	4-8
写真の撮影	4-8
パノラマ写真の撮影	4-9
ビデオの録画	4-10
写真設定	4-11
ビデオの設定	4-12
ギャラリー	4-13
アルバムの処理	4-14
アルバムの共有	4-15
アルバム情報の取得	4-15
アルバムの削除	4-16
写真の処理	4-16
写真の表示およびブラウズ	4-16
写真のトリミング	4-17
連絡先アイコンとしての写真の設定	4-18
写真の共有	4-18

写真の削除	4-18
ビデオの処理	4-18
ビデオの再生	4-18
ビデオの共有	4-19
ビデオの削除	4-19
DataWedge のデモンストレーション	4-20
サウンド レコーダ	4-22
PTT Express Voice Client	4-23
PTT 音声通知	4-23
通知アイコン	4-24
PTT 通信の有効化	4-25
トーク グループの選択	4-25
PTT 通信	4-25
グループ通話の作成	4-26
プライベート応答での応答	4-26
PTT Express Voice Client 通信の無効化	4-26
RxLogger	4-27
Elemex	4-28
Elemex データ収集の無効化	4-28
Elemex データ収集の有効化	4-29
第 5 章: データ収集	
イメージング	5-1
動作モード	5-1
RS507 ハンズフリー イメージャ	5-2
RS6000 Bluetooth リング スキャナ	5-2
DS3678 デジタル スキャナ	5-3
スキャン操作に関する考慮事項	5-3
内部イメージャを使用したバーコードのスキャン	5-4
RS6000 Bluetooth リング スキャナを使用したバーコード データの収集	5-5
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り	5-7
DS3678 Bluetooth スキャナを使用したバーコード データの収集	5-8
RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング	5-9
Near Field Communication を使用してペアリングする	5-9
HID モードで Near Field Communication を使用してペアリングする	5-10
Simple Serial Interface を使用してペアリングする	5-11
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする	5-12
DS3678 デジタル スキャナをペアリングする	5-13
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする	5-13
DataWedge	5-14
DataWedge の有効化	5-14
DataWedge の無効化	5-14
第 6 章: 無線	
無線ワイド エリア ネットワーク	6-1
モバイル データ接続の共有	6-1
USB テザリング	6-2
Bluetooth テザリング	6-2

ポータブル Wi-Fi ホットスポット	6-2
携帯電話ネットワークの設定	6-4
ローミング中のデータの無効化	6-4
Preferred Network Type (優先されるネットワーク タイプ)	6-5
強化された 4G LTE モード	6-5
Search for MicroCell (マイクロセルの検索)	6-5
System Select (システム選択)	6-5
アクセス ポイント名の編集	6-6
SIM カードのロック	6-6
データ使用量	6-7
データ使用量の警告の設定	6-8
自動同期の設定	6-8
無線ローカル エリア ネットワーク	6-9
Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続	6-9
Wi-Fi ネットワークの削除	6-10
Bluetooth	6-11
適応型周波数ホッピング	6-11
セキュリティ	6-11
Bluetooth プロファイル	6-12
Bluetooth の電源の状態	6-13
Bluetooth 無線の電源	6-13
Bluetooth の有効化	6-13
Bluetooth の無効化	6-13
Bluetooth デバイスを検出する	6-13
Bluetooth の名前の変更	6-14
Bluetooth デバイスへの接続	6-14
Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択	6-14
Bluetooth デバイスのペアリング解除	6-15
Near Field Communication (NFC)	6-16
NFC カードの読み取り	6-16
NFC を使用した情報の共有	6-17

第 7 章: アクセサリ

アクセサリ	7-1
1 スロット USB 充電クレードル	7-5
デバイスの充電	7-5
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入	7-6
バッテリーの充電	7-7
充電温度	7-7
4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)	7-8
TC56 の充電	7-8
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入	7-10
バッテリーの充電	7-10
メインバッテリーの充電	7-10
予備バッテリーの充電	7-10
充電温度	7-11
5 スロット充電専用クレードル	7-12
TC56 の充電	7-12
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入	7-13

バッテリーの充電	7-14
充電温度	7-14
5 スロット イーサネット クレードル	7-15
TC56 の充電	7-15
高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入	7-16
バッテリーの充電	7-17
充電温度	7-17
イーサネット接続の確立	7-17
LED インジケータ	7-17
4 スロット バッテリー充電器	7-18
予備バッテリーの充電	7-18
バッテリーの充電	7-19
予備バッテリーの充電	7-19
充電温度	7-19
高耐久性ブーツ	7-20
取り付け	7-20
スタイラスの取り付け	7-21
クレードルを使用した充電	7-22
2.5mm オーディオ アダプタ	7-24
3.5mm オーディオ アダプタ	7-25
高耐久性充電/USB ケーブル	7-26
TC56 への接続	7-26
高耐久性ブーツ付きの TC56 への接続	7-27
USB 通信	7-28
デバイスの充電	7-28
高耐久性充電/USB ケーブルの接続の解除	7-29
バッテリーの充電	7-30
メインバッテリーの充電	7-30
充電温度	7-30
トリガ ハンドル	7-31
高耐久性ブーツの取り付け	7-31
ランヤードの取り付け (オプション)	7-33
トリガ ハンドルへのデバイスのセット	7-34
トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し	7-35
電源	7-37

第 8 章: メンテナンスとトラブルシューティング

TC56 の保守	8-1
ディスプレイのベスト プラクティス	8-2
画像の残留	8-2
バッテリーの安全に関するガイドライン	8-2
クリーニング方法	8-3
使用可能な洗剤の活性成分	8-3
有害成分	8-3
クリーニング方法	8-3
クリーニングの際の注意事項	8-4
必要なクリーニング材料	8-4
クリーニングの頻度	8-4
TC56 のクリーニング	8-4

筐体	8-4
ディスプレイ	8-4
カメラとスキャナ ウィンドウ	8-4
コネクタのクリーニング	8-4
クレードルのコネクタのクリーニング	8-6
トラブルシューティング	8-7
TC56	8-7

付録 A: 技術仕様

TC56	A-1
------------	-----

索引

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、TC56 モバイル コンピュータとアクセサリの使用方法について説明します。

✓ **注** このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

マニュアル セット

TC56 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。

- 『TC56 Touch Computer Quick Start Guide』 - TC56 の起動方法について説明しています。
- 『TC56 タッチ コンピュータ ユーザー ガイド (Android 向け) バージョン 6.0.1』 - TC56 の使用方法について説明しています。
- 『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』 - TC56 とアクセサリの設定方法について説明しています。

構成

このガイドは、以下の構成を対象としています。

構成	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム
TC56CJ	WLAN: 802.11 a/b/g/n/d/h/i/k/r WPAN: Bluetooth v4.1 Low Energy WWAN: HSPA+/LTE/CDMA	5.0 インチ高解像度 (1280 x 720) LCD	2GB RAM/16GB フラッシュまたは 4GB RAM/32GB フラッシュ	2D イメージャ (SE-4710) および内蔵 NFC	Android Open Source Project (AOSP) 6.0.1 または Google™ モバイル サービス (GMS) 6.0.1
TC56DJ	WLAN: 802.11 a/b/g/n/d/h/i/k/r WPAN: Bluetooth v4.1 Low Energy WWAN: HSPA+/LTE	5.0 インチ高解像度 (1280 x 720) LCD	2GB RAM/16GB フラッシュまたは 4GB RAM/32GB フラッシュ	2D イメージャ (SE-4710) および内蔵 NFC	Android Open Source Project (AOSP) 6.0.1 または Google™ モバイル サービス (GMS) 6.0.1

ソフトウェアバージョン

現在のソフトウェアのバージョンを確認するには、2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。

[About phone] (デバイス情報) () をタッチします。

- [Model number] (モデル番号) - モデル番号を表示します。
- [Android version] (Android バージョン) - オペレーティングシステムのバージョン番号を表示します。
- [Kernel version] (カーネルバージョン) - カーネルのバージョン番号を表示します。
- [Build number] (ビルド番号) - ソフトウェアのビルド番号を表示します。
- [Serial number] (シリアル番号) - シリアル番号を表示します。

デバイスのシリアル番号を確認するには、[About phone] (デバイス情報) () > [Status] (ステータス) の順にタッチします。

- [Serial number] (シリアル番号) - シリアル番号を表示します。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第1章「ご使用前に」** では、TC56 を初めて使用する際の手順について説明します。
- **第2章「TC56 の使用」** では、TC56 の操作手順について説明します。
- **第3章「通話」** では、音声通話の手順について説明します。
- **第4章「アプリケーション」** では、TC56 にインストールされているアプリケーションの使用方法について説明します。
- **第5章「データ収集」** では、イメージャを使用してバーコードデータを収集する手順について説明します。
- **第6章「無線」** では、さまざまな無線オプションについて説明します。

- **第7章「アクセサリ」**では、TC56用のアクセサリの使用方法について説明します。
- **第8章「メンテナンスとトラブルシューティング」**では、クリーニングの手順と、TC56の操作中に発生する問題に対するトラブルシューティングソリューションについて説明します。
- **付録A「技術仕様」**では、TC56の技術仕様について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- **斜体**は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - 画面上のアイコン
- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウンリスト名、リストボックス名
 - チェックボックス名、ラジオボタン名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (・) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (たとえば、順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

アイコンの表記規則

このマニュアルセットでは、読者にわかりやすいように、視覚的な工夫がなされています。マニュアルセット全体で、次のグラフィックアイコンが使用されています。使用されているアイコンと各アイコンの意味について、以下で説明します。



警告! 「警告」という言葉とそれに対応する安全アイコンは、従わなかった場合、死亡または重大な傷害を負う可能性、あるいは重大な製品の損傷が発生する可能性のある情報を意味します。



注意 「注意」という言葉とそれに対応する安全アイコンは、従わなかった場合、軽度または中程度の傷害を負う可能性、あるいは重大な製品の損傷が発生する可能性のある情報を意味します。



注 「注」には、例外や前提条件など、周囲のテキストより重要な情報が記載されています。また、「注」では、追加情報の参照先、操作の完了方法の確認 (たとえば、現在説明している手順に記載されていない場合)、または特定の要素が画面に表示される場所を説明します。「注」に対応する警告レベルはありません。

関連文書

- 『TC56 Touch Computer Quick Start Guide』 (p/n MN-002859-xx)
- 『TC56 Touch Computer Regulatory Guide』 (p/n MN002860-xx)
- 『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』 (p/n MN002869-xx)
- 『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』 (p/n 72E-12082-xx)
- 『DS36X8 Product Reference Guide』 (p/n MN-002689-xx)
- 『RS6000 User Guide』 (MN-002704-xx)

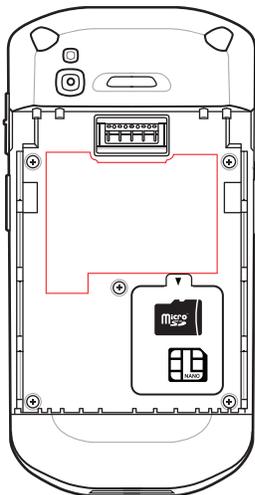
このガイドを含むすべてのガイドの最新版については、弊社 Web サイト <http://www.zebra.com/support> をご覧ください。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当のカスタマー サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号
- IMEI 番号



カスタマー サポートは、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、または電話にて回答を行います。

カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。弊社は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な形で搬送すると、保証が無効になる場合があります。修理のために発送する際には、事前に SIM カードおよび/または microSD カードをデバイスから取り外してください。

ご使用の製品をビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第 1 章 ご使用の前に

この章では、デバイスを初めて使用する際の手順について説明します。

パッケージの開梱

1. TC56 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
 - TC56 タッチ コンピュータ
 - ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh PowerPrecision+ リチウム イオン バッテリ
 - 規制ガイド
3. 機器に破損がないか確認してください。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
4. TC56 を初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

機能

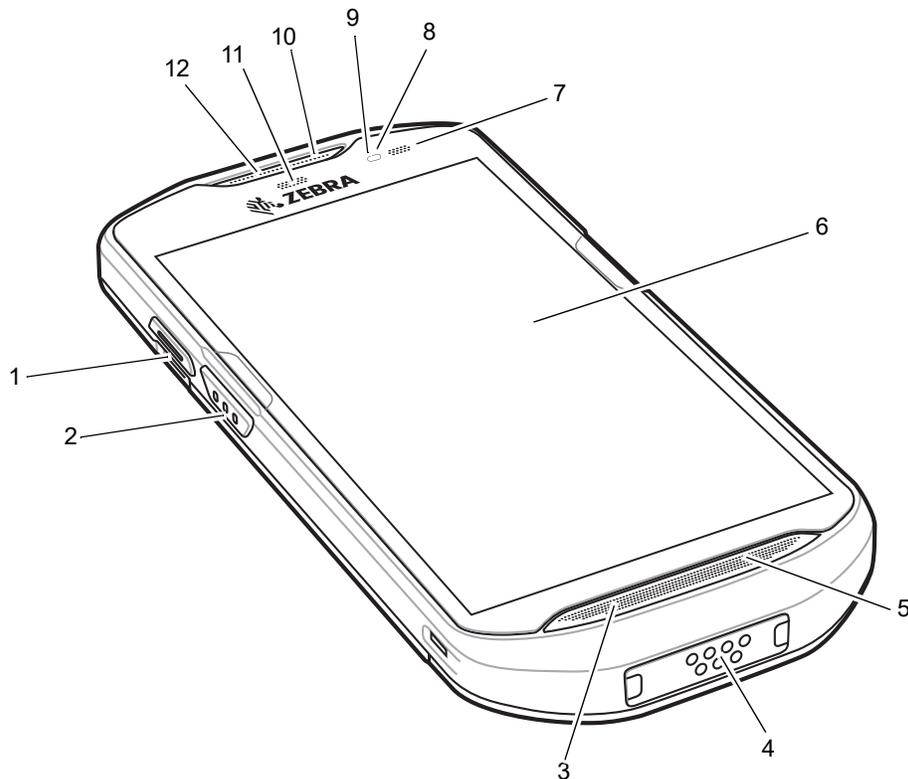


図 1-1 TC56 正面図

表 1-1 正面図に記載されている機能

番号	項目	機能
1	PTT ボタン	プッシュ トゥ トーク通信を開始します (プログラム可能)。
2	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。
3	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
4	インタフェース コネクタ	USB ホスト、クライアント通信、オーディオ、ケーブルおよびアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。 注意: 適切なデバイスの密閉状態が確保されるように、インタフェース コネクタを取り外さないでください。
5	スピーカ	ビデオおよび音楽を再生するための音声を出力します。スピーカフォン モードで音声を出力します。
6	タッチ スクリーン	TC56 の操作に必要なすべての情報が表示されます。
7	充電/通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションからの通知を示します。
8	光センサ	ディスプレイのバックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。

表 1-1 正面図に記載されている機能 (続き)

番号	項目	機能
9	近接センサ	ハンドセット モードでディスプレイをオフにする場合の近接状態を判別します。
10	マイク	スピーカフォン モードでの通信に使用します。
11	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。
12	レシーバ	ハンドセット モードでの音声の再生に使用します。

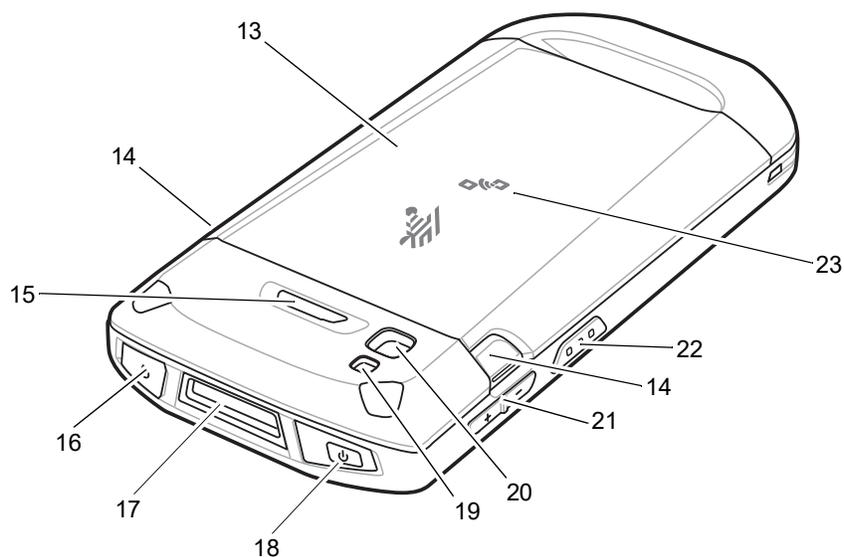


図 1-2 TC56 背面図

表 1-2 背面図に記載されている機能

番号	項目	機能
13	バッテリー	デバイスに電力を供給します。
14	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。
15	プログラム可能ボタン	機能をプログラムすることができます。
16	ヘッドセット ジャック	ヘッドセットへの音声の出力に使用します。
17	スキャナ ウィンドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
18	電源ボタン	ディスプレイのオン/オフを切り替えます。ボタンを押し続けると、デバイスのリセット、電源オフ、またはバッテリー交換を行うことができます。
19	カメラ	写真やビデオを撮影します。
20	カメラ フラッシュ	カメラの照明に使用します。
21	音量上/下ボタン	音声の音量を増減します (プログラム可能)。

表 1-2 背面図に記載されている機能 (続き)

番号	項目	機能
22	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。
23	NFC アンテナ	別の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。

セットアップ

この手順は、初めて TC56 を使用するときに行います。

1. micro Secure Digital (SD) カード (オプション) を取り付けます。
2. nano SIM カード (オプション) を取り付けます。
3. ハンドストラップ (オプション) を取り付けます。
4. バッテリーを取り付けます。
5. TC56 を充電します。
6. TC56 の電源をオンにします。

microSD カードの取り付け

microSD カードをスロットに挿入すると、不揮発性のセカンダリストレージとして使用できます。スロットはバッテリーパックの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

1. アクセス ドアを持ち上げます。

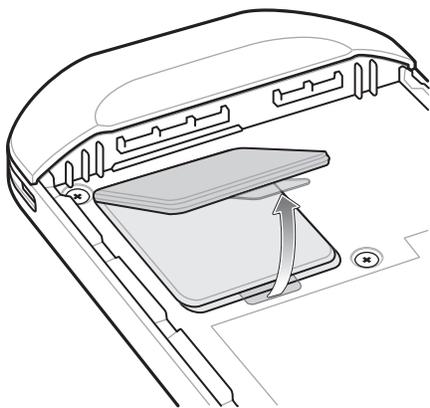


図 1-3 アクセス ドアの持ち上げ

2. microSD カードホルダーをスライドさせて開きます。

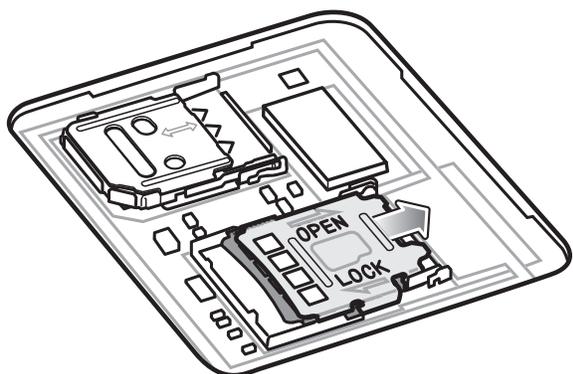


図 1-4 microSD カードホルダーを開く

3. microSD カードホルダーを持ち上げます。

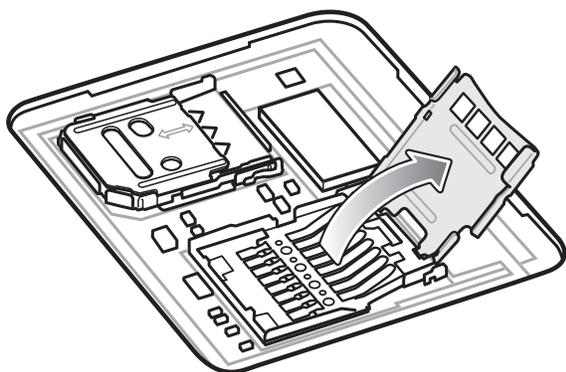


図 1-5 microSD カードホルダーを持ち上げる

4. microSD カードをカードホルダーのドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

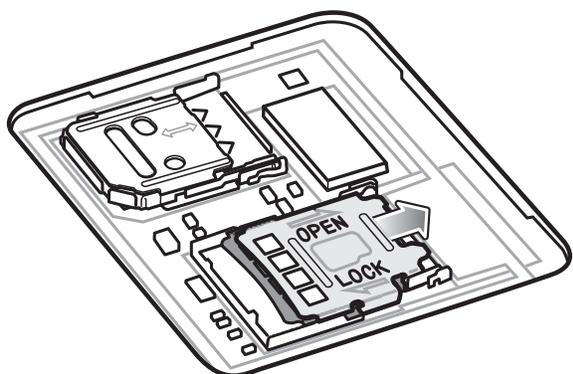


図 1-6 SIM カードホルダーを持ち上げる

5. microSD カードをカードホルダーのドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

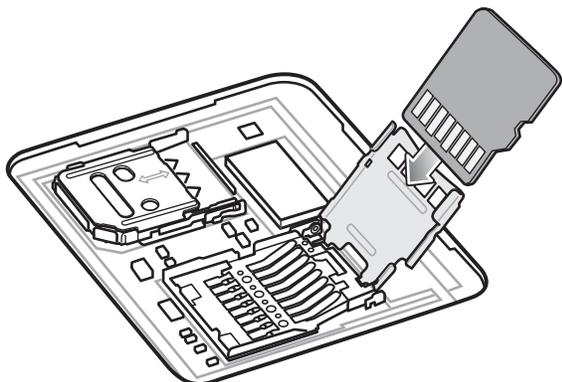


図 1-7 microSD カードをホルダーに挿入する

6. microSD カードホルダーのドアを閉じます。

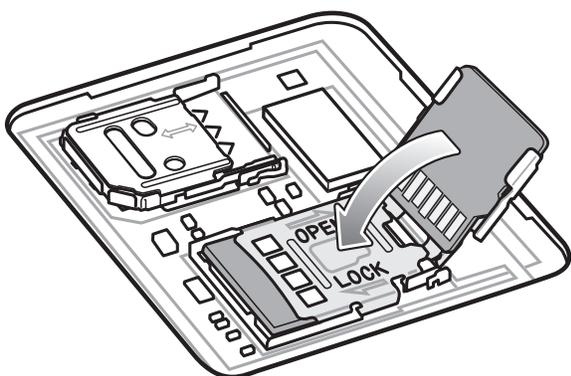


図 1-8 microSD カードをホルダーに挿入する

7. microSD カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。



注意 アクセスドアを交換し、しっかりと取り付けて適切なデバイスの密閉状態を確保する必要があります。

8. アクセスドアを再度取り付けます。

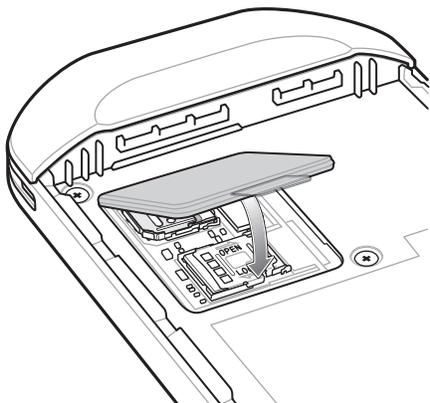


図 1-9 アクセスドアの取り付け

SIM カードの取り付け

✓ **注** nano SIM カードのみを使用してください。

⚠ **注意** SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することやユーザーを適切に接地することなどが含まれます。

1. アクセス カバーを取り外します。

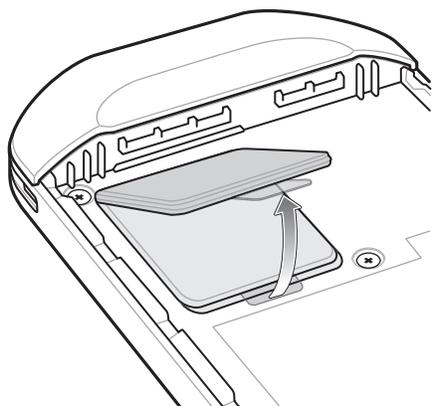


図 1-10 アクセス ドアの取り外し

2. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックを解除します。

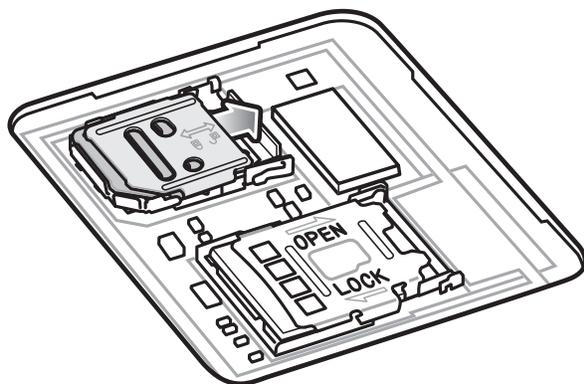


図 1-11 SIM カードホルダーのロック解除

3. SIM カードホルダーのドアを持ち上げます。

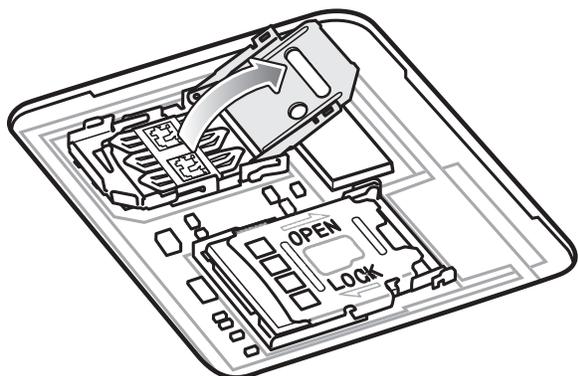


図 1-12 SIM カードホルダーを持ち上げる

4. カードホルダーに nano SIM カードを下向きに取り付けます。

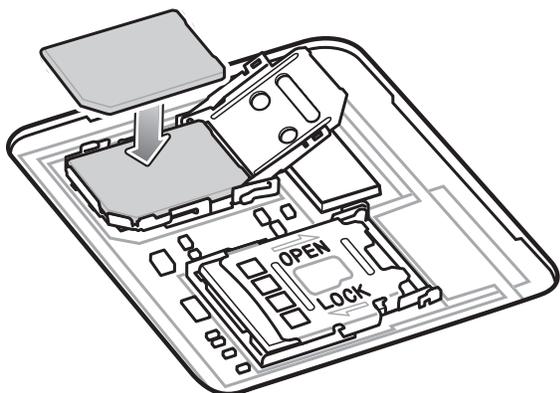


図 1-13 SIM カードをホルダーに挿入する

5. SIM カードホルダーのドアを閉じます。

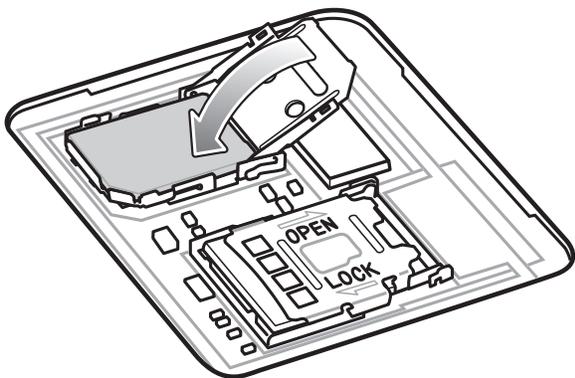


図 1-14 SIM カードホルダーのドアを閉じる

6. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。

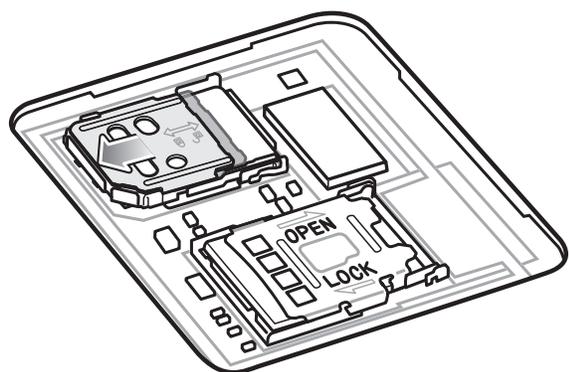


図 1-15 SIM カードホルダーのドアをロックする



注意 アクセスドアを交換し、しっかりと取り付けて適切なデバイスの密閉状態を確保する必要があります。

7. アクセスドアを再度取り付けます。

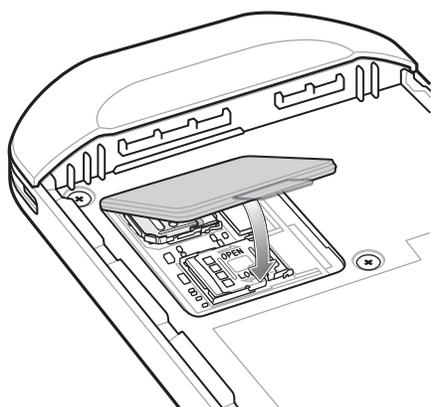


図 1-16 アクセスドアの交換

バッテリーの取り付け

1. TC56 の背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。

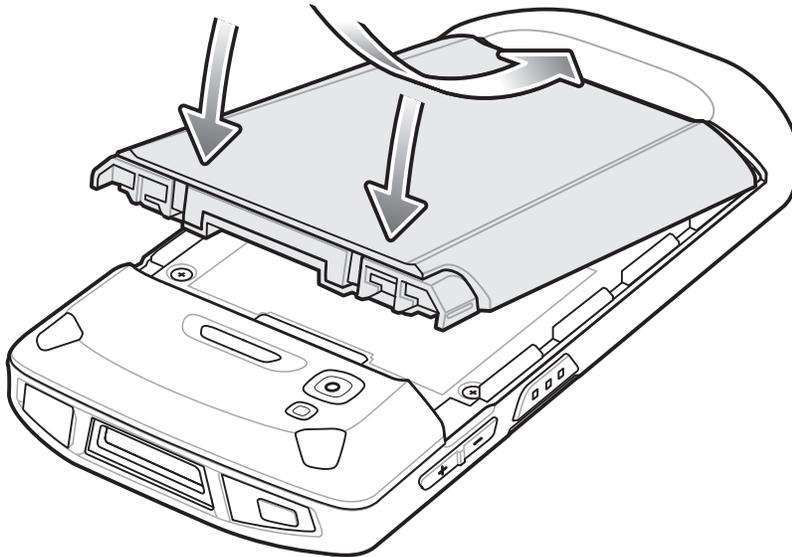


図 1-17 バッテリーの下側をバッテリー収納部に入れる

2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し込みます。

バッテリーの充電

TC56 を初めて使用する場合は、バッテリー充電/通知発光ダイオード (LED) が緑色に点灯するまで、メインバッテリーを充電します。TC56 を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。TC56 で使用可能なアクセサリの詳細については、[第 7 章「アクセサリ」](#)を参照してください。

≥15.48 ワット時 (一般) / ≥4,150 mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。

✓ **注** 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できません。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行ってください。TC56 やアクセサリのバッテリー充電は、常に安全かつ適切な方法で行ってください。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、TC56 やアクセサリは、バッテリー充電の有効と無効を短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、TC56 やアクセサリの LED にエラーが表示され、画面に通知が表示されます。

1. メインバッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. TC56 をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。TC56 の電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。

充電インジケータ

表 1-3 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	LED	意味
消灯		TC56 が充電されていません。TC56 が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		TC56 を充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		TC56 を充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色で点灯		充電が完了しました。
赤色で点灯		充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。

Google アカウント設定



注 Google アカウントを設定するには、TC56 がインターネットに接続されている必要があります。Google アカウントは、GMS ソフトウェアがインストールされているデバイスでのみ必要です。

TC56 を初めて起動すると、セットアップ ウィザードが表示されます。画面に表示される指示に従って Google アカウントの設定、Play ストアからアイテムを購入するための Google ウォレットの設定を行い、個人情報を入力して、バックアップ/リストア機能を有効にします。

バッテリーの交換



注意 バッテリーの交換中、microSD カードの挿入や取り出しを行わないでください。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Battery Swap] (バッテリー交換)** をタッチします。
3. 画面に表示される指示に従います。
4. LED がオフになるのを待ちます。

5. ハンドストラップが取り付けられている場合は、取り外します。
6. 2つのバッテリー ラッチを押します。

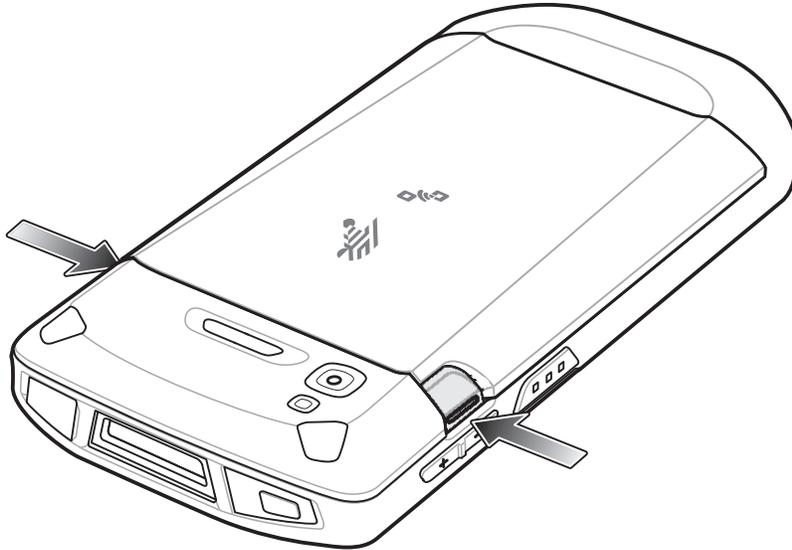


図 1-18 バッテリー ラッチを押す

7. バッテリーを TC56 から取り出します。

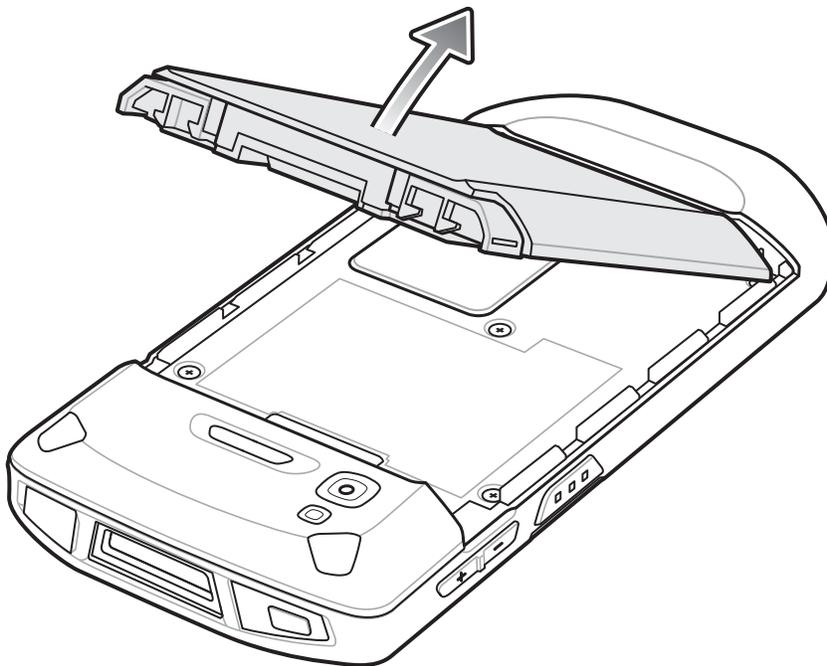


図 1-19 バッテリーの取り出し



注意 バッテリーを 90 秒以内に交換します。90 秒経過するとデバイスが再起動し、データが失われる可能性があります。

8. TC56 の背面のバッテリー収納部に、交換用のバッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。

9. バッテリ リリース ラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
10. 必要に応じて、ハンドストラップを交換します。
11. 電源ボタンを押して、TC56 の電源をオンにします。

microSD カードの交換

microSD カードを交換するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
3. **[OK]** をタッチします。
4. ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップクリップを TC56 の上部にスライドさせ、持ち上げます。
5. 2つのバッテリーラッチを押します。
6. バッテリーを TC56 から取り出します。
7. アクセスドアを持ち上げます。

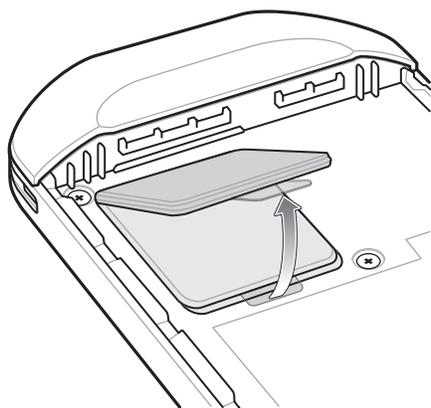


図 1-20 アクセスドアの取り外し

8. microSD カードホルダーをスライドさせて開きます。
9. microSD カードホルダーを持ち上げます。
10. microSD カードをホルダーから取り外します。
11. 交換用の microSD カードをカードホルダーのドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。
12. microSD カードホルダーのドアを閉じます。

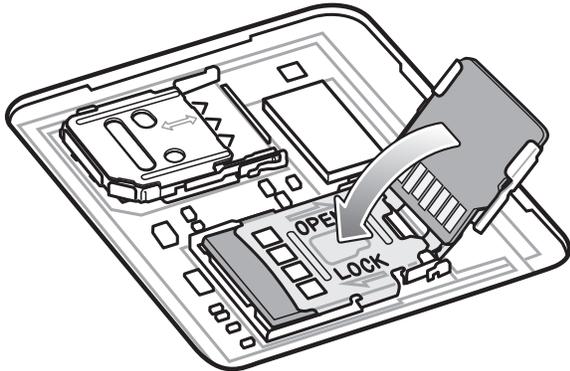


図 1-21 microSD カードをホルダーに挿入する

13. microSD カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。
14. アクセスドアを押し下げて、しっかりセットされていることを確認します。



注意 アクセスドアを交換し、しっかりと取り付けて適切なデバイスの密閉状態を確保する必要があります。

15. アクセスドアを再度取り付けます。

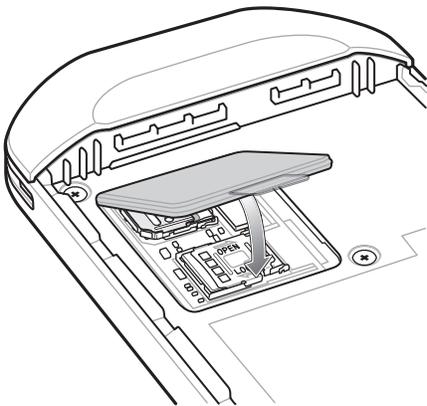


図 1-22 アクセスドアの取り付け

16. TC56 の背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。
17. バッテリーリリースラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
18. 必要に応じて、ハンドストラップを交換します。
19. 電源ボタンを押し続けて、TC56 の電源をオンにします。

SIM カードの交換

SIM カードを交換するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
3. **[OK]** をタッチします。
4. ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップクリップを TC56 の上部にスライドさせ、持ち上げます。
5. 2つのバッテリーラッチを押します。
6. バッテリーを TC56 から取り出します。
7. アクセスドアを持ち上げます。

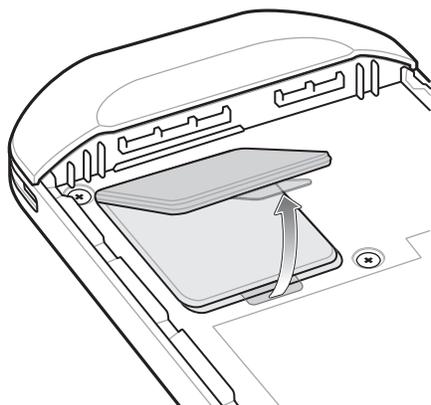


図 1-23 アクセスドアの取り外し

8. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックを解除します。

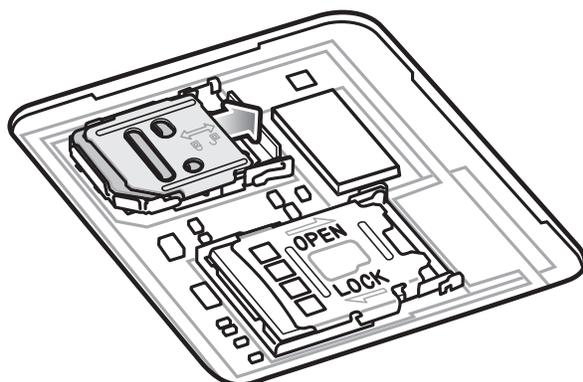


図 1-24 SIM カードホルダーのドアのロック解除

9. SIM カードホルダーのドアを持ち上げます。

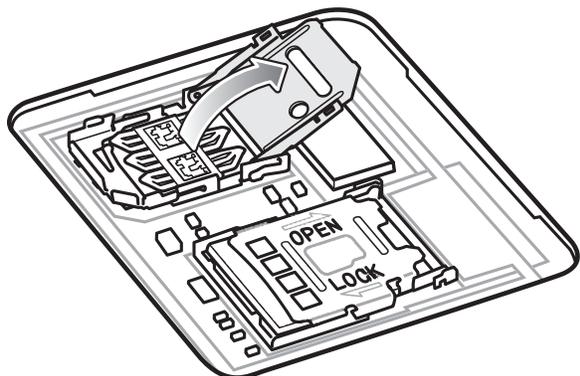
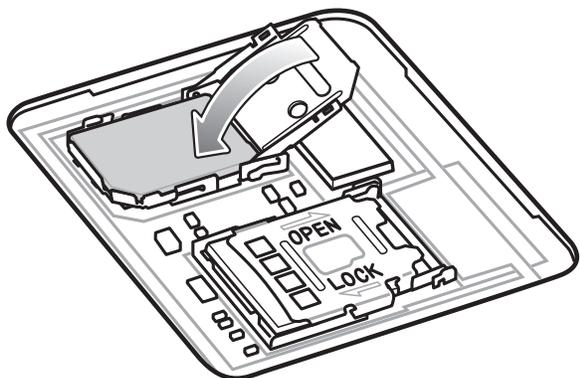


図 1-25 SIM カードホルダーのドアを持ち上げる

10. SIM カードを取り外します。
11. カードホルダーに新しいSIMカードを下向きに取り付けます。
12. SIMカードホルダーを閉じます。



13. SIMカードホルダーのドアをスライドさせてロックします。



注意 アクセスドアを交換し、しっかりと取り付けて適切なデバイスの密閉状態を確保する必要があります。

14. アクセスドアを再度取り付けます。

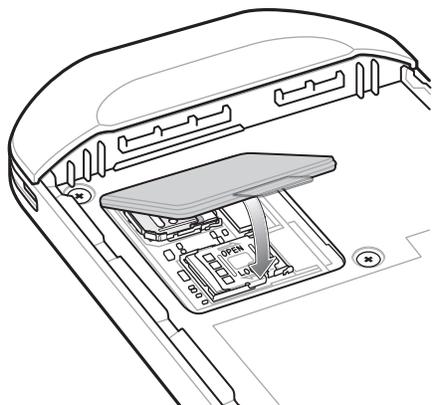


図 1-26 アクセスドアの取り付け

15. TC56 の背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。このとき、バッテリーの下側を先に入れます。
16. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
17. 必要に応じて、ハンドストラップを交換します。
18. 電源ボタンを押し続けて、TC56 の電源をオンにします。

デバイス設定へのアクセス

このガイド全体において、ユーザーは以下の方法でデバイスにアクセスできます。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. ホーム画面で  >  をタッチします。

バッテリー管理

 **注** バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) から TC56 を取り外します。

メインバッテリーの充電状態を確認するには、[Settings] (設定) を開いて、[About phone] (デバイス情報) () > [Battery information] (バッテリー情報) をタッチします。

[Battery status] (バッテリー状態) にはバッテリーの放電状況が示され、[Battery level] (バッテリーレベル) にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) が一覧表示されます。

バッテリー使用量の監視

[Battery] (バッテリー) 画面には、どのアプリケーションがバッテリー電力を最も消費しているかが一覧表示されます。またこの画面を使用して、ダウンロードしたアプリケーションの中で電力を消費しすぎているものをオフにすることもできます。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. [Battery] (バッテリー) () をタッチします。

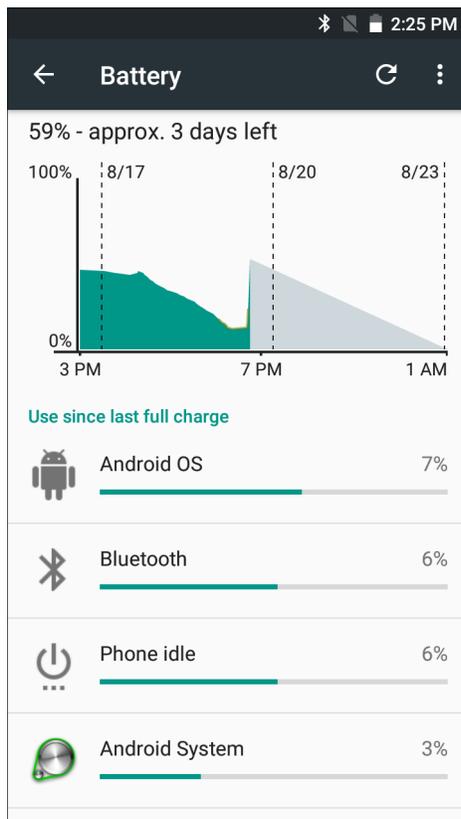


図 1-27 [Battery] (バッテリー) 画面

[Battery] (バッテリー) 画面には、バッテリーを使用しているアプリケーションが一覧表示されます。画面上部の放電状況グラフには、最後に充電されたときからのバッテリーの放電率と (充電器に接続された短期間は、図の下部に薄い緑色の線で示されます)、バッテリー電源で稼動している時間が表示されます。

[Battery] (バッテリー) 画面でアプリケーションにタッチすると、その電力消費についての詳細が表示されます。アプリケーションによって、表示される情報は異なります。アプリケーションの中には、電力使用を調整するための設定画面が開くボタンが含まれているものもあります。

低バッテリー通知

バッテリー充電残量が 18% 未満になると、TC56 を電源に接続するように指示する通知が表示されます。ユーザーは、充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

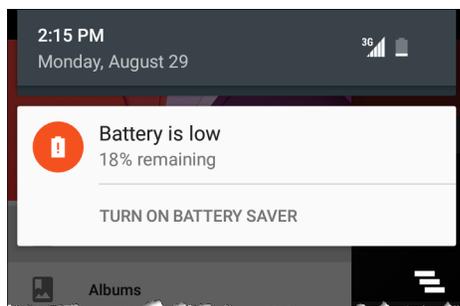


図 1-28 低バッテリー通知

バッテリー充電残量が 10% 未満になると、TC56 を電源に接続するように指示する通知が表示されます。ユーザーは、次の充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

バッテリー充電残量が 4% 未満になると、TC56 はオフになります。

ユーザーは充電アクセサリのいずれかを使用して TC56 を充電する必要があります。

バッテリーの最適な使用方法

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- DataWedge 起動プログラムのプロファイルを無効にします。手順については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android 6.0.1』を参照してください。
- アイドル状態で一定時間経過したら画面がオフになるように画面を設定します。[1-21 ページの画面のタイムアウトの設定](#)を参照してください。
- 画面の明るさを抑えます。[1-20 ページの画面の輝度の設定](#)を参照してください。
- 無線機能を使用していないときは、すべての無線機能をオフにします。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリケーションの自動同期機能をオフにします。
- 音楽やビデオ アプリケーションなどのアプリケーションの使用を最小限に抑えて、TC56 がサスペンド状態にならないようにします。

無線通信をオフにする方法

すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Airplane mode] (機内モード)** をタッチします。すべての無線がオフであることを示す飛行機のアイコン (✈) がステータス バーに表示されます。

日時の設定

日付と時刻は、TC56 が携帯電話ネットワークに接続されると、NITZ サーバーを使用して自動的に同期されます。携帯電話ネットワークに接続されていない場合、または無線 LAN でネットワーク タイム プロトコル (NTP) がサポートされていない場合、ユーザーはタイム ゾーンの設定または日時の設定のみ実行する必要があります。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Date & time] (日付と時刻)** () をタッチします。
3. **[Automatic date & time] (自動日付と時刻)** をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
4. **[Set date] (日付の設定)** をタッチします。
5. スライダを上下に移動し、月、日、年を選択します。
6. **[Done] (完了)** をタッチします。
7. **[Set time] (時刻の設定)** をタッチします。
8. スライダを上下に移動し、時、分、午前/午後を選択します。
9. **[Done] (完了)** をタッチします。
10. **[Select time zone] (タイムゾーンを選択)** をタッチします。

11. リストから現在のタイムゾーンを選択します。
12. をタッチします。

ディスプレイの設定

ディスプレイの設定を使用して、画面の輝度の変更、背景画像の変更、画面の回転の有効化、スリープ時間の設定、およびフォントサイズの変更を行います。

画面の輝度の設定

画面の輝度を手動で設定するには、次の手順に従います。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** () をタッチします。
3. **[Brightness Level] (輝度レベル)** をタッチします。



図 1-29 **[Brightness] (輝度) ダイアログボックス**

内蔵光センサを使用して、TC56 の画面の輝度を自動的に調整するには、次の手順に従います。

1. **[Adaptive brightness] (輝度の自動調整)** をタッチして、輝度が自動的に調整されるようにします。
2. をタッチします。

画面回転の設定

デフォルトでは、画面回転は無効になっています。画面回転を有効にするには、次の手順に従います。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** () をタッチします。
3. **[When device is rotated] (デバイスを回転させたとき)** をタッチして **[Rotate to contents of the screen] (画面のコンテンツを回転させる)** を選択し、TC56 を回転させたときに TC56 の向きが自動的に切り替わるように設定します。
4. をタッチします。

ホーム画面の回転の設定

デフォルトでは、ホーム画面の回転は無効になっています。ホーム画面の回転を有効にするには、次の手順に従います。

1. オプションが表示されるまで、ホーム画面の任意の場所をタッチし続けます。
2.  をタッチします。
3. **[Allow rotation] (回転を許可)** スイッチをタッチします。

4. ○ をタッチします。
5. デバイスを回転させます。

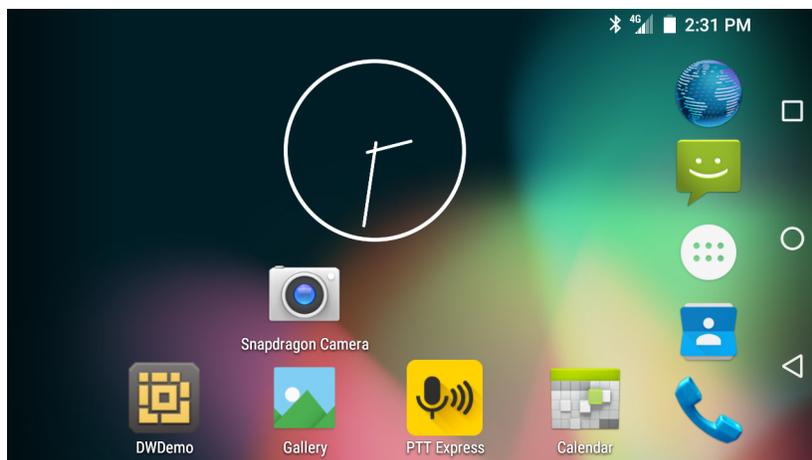


図 1-30 回転したホーム画面

画面のタイムアウトの設定

画面のスリープ時間を設定するには、次の手順に従います。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** () をタッチします。
3. **[Sleep] (スリープ)** をタッチします。
4. スリープ値を1つ選択します。
 - [15 seconds] (15 秒)
 - [30 seconds] (30 秒)
 - **[1 minute] (1 分)** (デフォルト)
 - [2 minutes] (2 分)
 - [5 minutes] (5 分)
 - [10 minutes] (10 分)
 - [30 minutes] (30 分)
5. ○ をタッチします。

フォントサイズの設定

システムアプリケーションのフォントサイズを設定するには、次の手順に従います。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** () をタッチします。
3. **[Font size] (フォントサイズ)** をタッチします。

4. フォント サイズ値を 1 つ選択します。
 - 小
 - **[Normal] (標準)** (デフォルト)
 - 大
 - [Huge] (特大)
5. ○ をタッチします。

Touch Panel Mode (タッチ パネル モード)

TC56 では、スクリーン保護シートの有無に関係なく、指、導電性チップのスタイラス、または手袋をはめた指によるタッチを検出できます。



注 医療用のラテックス、皮革、綿または羊毛製の手袋を使用できます。
最適なパフォーマンスを得るためには、Zebra 認定スタイラスをご使用ください。

1. 2 本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** () をタッチします。
3. **[Touch panel mode] (タッチ パネル モード)** をタッチします。

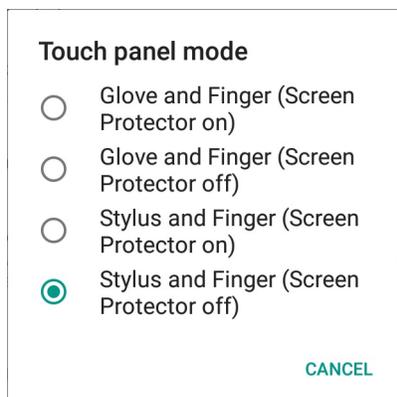


図 1-31 [Touch Panel Mode] (タッチ パネル モード) ダイアログ ボックス

4. 以下の中から選択します。
 - a. **[Glove and Finger (Screen Protector on)] (手袋および指 (スクリーン保護シートあり))**: スクリーン保護シートが貼られた画面で、指および手袋をはめた指を使用できます。
 - b. **[Glove and Finger (Screen Protector off)] (手袋および指 (スクリーン保護シートなし))**: スクリーン保護シートが貼られていない画面で、指および手袋をはめた指を使用できます。
 - c. **[Stylus and Finger (Screen Protector on)] (スタイラスおよび指 (スクリーン保護シートあり))**: スクリーン保護シートが貼られた画面で、指およびスタイラスを使用できます。
 - d. **[Stylus and Finger (Screen Protector off)] (スタイラスおよび指 (スクリーン保護シートなし))**: スクリーン保護シートが貼られていない画面で、指およびスタイラスを使用できます。
5. ○ をタッチします。

通知 LED の設定

充電/通知 LED は、電子メールや VoIP などのアプリケーションでプログラム可能な通知が生成された場合、または TC56 が Bluetooth デバイスに接続されたことを示す場合に青色に点灯します。デフォルトでは、LED 通知は有効になっています。通知設定を変更するには、次を実行します。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Sounds & notifications] (サウンドと通知)** () をタッチします。
3. **[Pulse notification light] (パルス通知ライト)** をタッチして、通知をオンまたはオフに切り替えます
4.  をタッチします。

一般的なサウンド設定

[Sounds] (サウンド) 設定を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Sounds & notifications] (サウンドと通知)** () をタッチします。

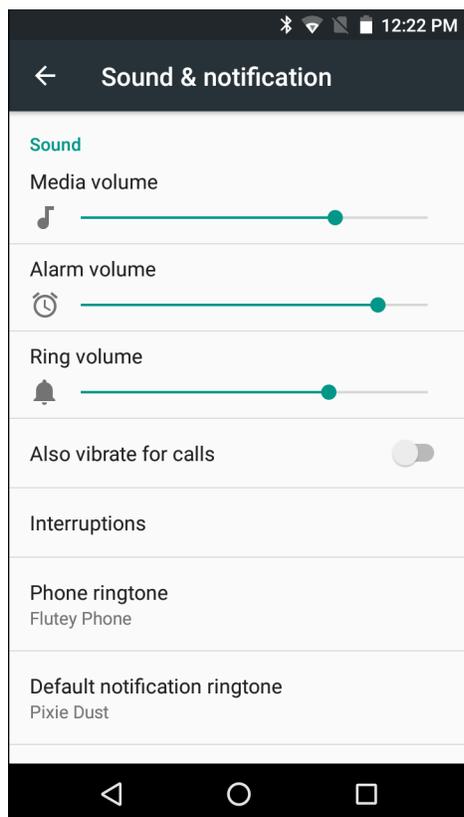


図 1-32 [Sounds & notifications] (サウンドと通知) 画面

- **Sound (サウンド)**

- **[Media volume] (メディア音量)** - 音楽、ゲーム、メディアの音量を制御します。
- **[Alarm volume] (アラーム音量)** - アラーム時計の音量を制御します。
- **[Ring volume] (着信音音量)** - 着信音の音量を制御します。
- **[Also vibrate for calls] (着信時に振動)** - スイッチをオンにすると、電話を受けた時にデバイスが振動します (デフォルト - 無効)。
- **[Interruptions] (中断)** - サウンド通知に優先順位を設定する際に使用します。設定をタッチして、通話とメッセージの中断をオン/オフにします。
メッセージの通知をオンにしている場合は、**[Calls/messages from] (通話/メッセージの相手先)** をタッチして、通知を受け取る通話/メッセージの相手先を **[Anyone] (全員)**、**[Starred contacts only] (星付きの連絡先のみ)**、または **[Contacts Only] (連絡先のみ)** から指定します。
[Downtime] (ダウタイム) セクションで、サウンド通知を許可する日と時間を選択します。
- **[Phone ringtone] (着信音)** - タッチして、着信したときに鳴るサウンドを選択します。
- **[Default notification ringtone] (デフォルトの通知着信音)** - タッチして、すべてのシステム通知の受信時に再生されるサウンドを選択します。
- **Other sounds (その他のサウンド)**
 - **[Dial pad tones] (ダイヤルパッド操作音)** - ダイヤルパッドのキーを押したときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
 - **[Screen locking sounds] (画面ロックサウンド)** - 画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
 - **[Charging sounds] (充電開始サウンド)** - デバイスの充電が開始されたときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
 - **[Touch sounds] (タッチサウンド)** - 画面上で選択を行ったときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
 - **[Vibrate on touch] (タッチバイブ)** - 画面上で選択を行ったときに、デバイスが振動します (デフォルト - 有効)。
- **[Cast screen] (キャスト画面) - [Cast screen] (キャスト画面)** ウィンドウが開きます。

- **通知**

- **[Pulse notification light] (パルス通知ライト)** - 通知があるときに LED が点滅します (デフォルト - 有効)。
- **[When device is locked] (デバイスのロック時)** - TC56 がロックされているときに、通知を表示するかどうかを制御します。以下のオプションを選択できます。**[Show all notification content] (すべての通知コンテンツを表示)** (デフォルト) または **[Don't show notifications at all] (通知を表示しない)**。
- **[App notification] (アプリケーション通知)** - アプリケーションごとに、通知設定を変更します。**[When device is locked] (デバイスのロック時)** の設定が、各アプリケーションの設定よりも常に優先されます。

- **詳細**

- **[Notification access] (通知へのアクセス)** - 通知にアクセス可能なアプリケーションを表示します。
通知を受信すると、そのアイコンが画面の上部に表示されます。保留中の通知のアイコンは左側に、システムアイコンは右側に表示されます。
- **[Do Not Disturb access] (着信拒否へのアクセス)** - DO Not Disturb (着信拒否) 機能にアクセス可能なアプリケーションを表示します。

ウェイクアップ ソース

デフォルトでは、TC56 は、ユーザーが電源ボタンを押すとサスペンドモードからウェイクアップします。TC56 は、ユーザーがデバイスの左側にある PPT ボタンまたはスキャン ボタンを押すとウェイクアップするように設定できます。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. **[Wake-Up Sources] (ウェイクアップソース)** () をタッチします。
3. **[Keypad] (キーパッド)** チェックボックスをタッチします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。

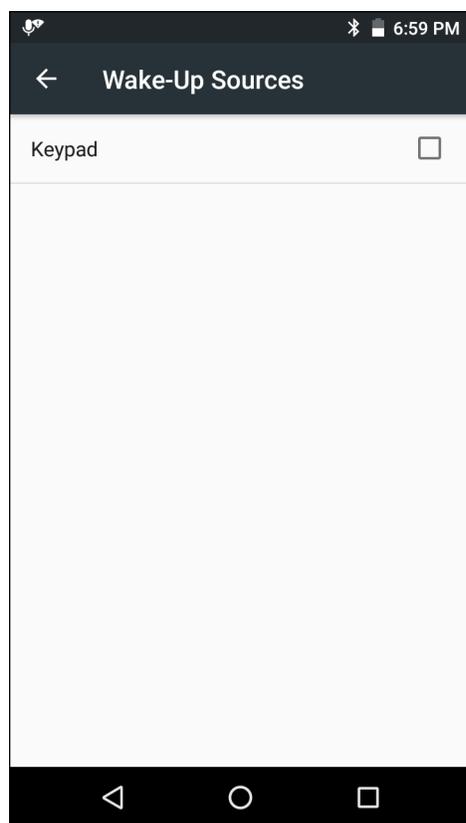


図 1-33 ウェイクアップソース

4.  をタッチします。

第 2 章 TC56 の使用

はじめに

ここでは、TC56 のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、TC56 のリセット方法、データの入力方法など、TC56 の基本的な使用方法についても説明します。

Google モバイル サービス



注 このセクションは、Google モバイル サービス (GMS) ソフトウェアが搭載された TC56 デバイスにのみ適用されます。

GMS が搭載された TC56 には、TC56 に機能を追加するアプリケーションとサービスが含まれています。

GMS には次のコンポーネントが含まれています。

- **アプリケーション** - GMS は、Chrome、Gmail、ドライブ、マップなどのさまざまな Google アプリケーションおよび関連ウィジェットを追加します。
- **サービス**:
 - **音声入力** - 接続されたネットワークと切断されたネットワークの両方で多くの言語で自由な形式のテキストを音声入力できます。キーボードのマイクのアイコンをタッチして起動します。
 - **TalkBack サービス** - ユーザー インタフェースのさまざまな部分で音声によるフィードバックを提供します。有効にするには、**[Settings] (設定) > [Accessibility] (ユーザー補助)** を選択します。
 - **ネットワーク位置情報プロバイダ** - モバイル ネットワーク タワー情報および Wi-Fi アクセス ポイント情報を使用し、GPS を使用せずに位置情報を提供する位置情報プロバイダを追加します。有効にするには、**[Settings] (設定) > [Location access] (位置情報アクセス)** を選択します。
 - **Widevine DRM** - 保護されたコンテンツの再生を可能にするデジタル著作権管理を有効にします。Play Store からの DRM 情報を使用して有効にします。
 - **Google Cloud Messaging** - サーバーから TC56 にデータを送信できるようにし、同時に同じ接続上でデバイスからメッセージを受信できるようにします。
 - **バックアップと復元** - ユーザー設定とアプリケーションを Google サーバーにバックアップし、工場出荷時の設定にリセットした後でそのサーバーから設定を復元できます。

2 - 2 TC56 ユーザー ガイド (Android 向け) バージョン 6.0.1

- **Google アカウント** - Google アカウントを作成し、そのアカウントを使用して、メール、ファイル、音楽、写真、連絡先、カレンダー イベントを同期できます。

ホーム画面

ホーム画面は、TC56 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。画面をタッチして上にスライドし、ロックを解除します。画面のロックの詳細については、[2-19 ページの画面のロック解除](#)を参照してください。



GMS が搭載されていない場合



GMS が搭載されている場合

図 2-1 ホーム画面

表 2-1 ホーム画面の項目

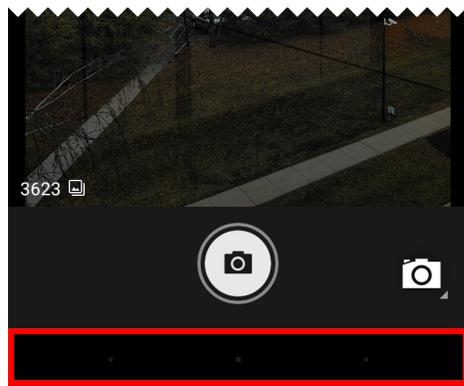
項目	説明
1 - [Recent] (履歴) ボタン	最近使用したアプリケーションが表示されます。
2 - [All Apps] (すべてのアプリケーション) アイコン	[APPS] (アプリ) ウィンドウを開きます。

表 2-1 ホーム画面の項目 (続き)

項目	説明
3 - [Home] (ホーム)	ホーム画面を表示します。
4 - [Back] (戻る)	前の画面を表示します。
5 - ショートカットアイコン	TC56 にインストールされているアプリケーションを開きます。詳細については、 2-8 ページのアプリケーション ショートカットとウィジェット を参照してください。
6 - ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロン型のアプリケーションを起動します。詳細については、 2-8 ページのアプリケーション ショートカットとウィジェット を参照してください。
7 - ステータス バー	時間、ステータス アイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、 2-3 ページのステータス バー および 2-6 ページの通知の管理 を参照してください。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットを配置するための 4 つの追加画面があります。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。

カメラやギャラリーなどの一部のアプリでは全画面が使用されるため、画面の下部にある 3 つのソフト ボタンが非表示になることがあります。



ここをタッチしてボタンを表示する

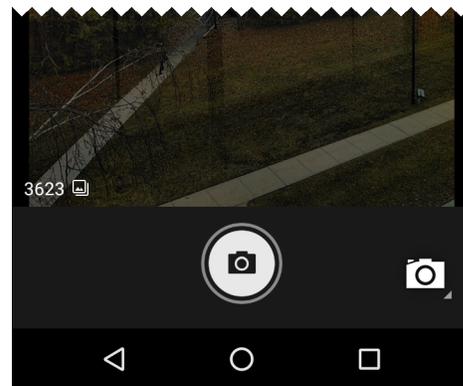


図 2-2 非表示のソフト ボタン

ボタン アイコンを表示するには、ソフト ボタンの領域をタッチします。

ステータス バー

ステータス バーには、時間、通知アイコン (左側)、およびステータス アイコン (右側) が表示されます。

✓ **注** 表示するアイコンが多すぎる場合、一部のステータス アイコンがステータス バーに表示されないことがあります。



図 2-3 通知アイコンおよびステータス アイコン

ステータス バーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す  が表示されます。[Notifications] (通知) パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。

ステータス アイコン

表 2-2 ステータス アイコン

アイコン	説明
	アラームが有効であることを示します。
	メインバッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	メインバッテリーの一部が消費された状態であることを示します。
	メインバッテリーの充電が少ないことを示します。
	メインバッテリーの充電が非常に少ないことを示します。
	メインバッテリーが充電中であることを示します。
	メディアとアラーム以外のすべてのサウンドがサイレンスに設定され、バイブ モードが有効になっていることを示します。
	機内モードが有効になっていることを示します。すべての無線がオフになります。
	Bluetooth がオンになっていることを示します。
	TC56 が Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続していないか、Wi-Fi 信号が検知されていないことを示します。
	イーサネット ネットワークに接続されていることを示します。
	ポータブル Wi-Fi ホットスポットが有効であることを示します。

注 1: 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社/ネットワークにより異なります。

表 2-2 ステータス アイコン (続き)

アイコン	説明
	モバイル ネットワーク 信号の強度を示します。
	モバイル ネットワーク 信号がないことを示します。
	4G LTE/LTE-CA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	DC -HSPA、HSDPA、HSPA+、HSUPA、LTE/LTE-CA、または WCDMA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	1x-RTT (Sprint)、EGDGE、EVDO、EVDV、または WCDMA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	DC - HSPA、HSDPA、HSPA+、または HSUPA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	EDGE ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	GPRS ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	GPRS ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	1x-RTT (Verizon) ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	ネットワークからローミングしていることを示します。
	SIM カードが取り付けられていないことを示します。

注 1: 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社/ネットワークにより異なります。

通知アイコン

表 2-3 通知アイコン

アイコン	説明
	メイン バッテリーの残量が少ないことを示します。
	表示可能な通知が他にもあることを示します。
	データを同期していることを示します。
	間近に迫ったイベントを示します。
	オープン Wi-Fi ネットワークを使用できることを示します。
	音楽が再生されていることを示します。

表 2-3 通知アイコン (続き)

アイコン	説明
	サインインまたは同期に関する問題が発生したことを示します。
	TC56 がデータをアップロードしていることを示します。
	動画表示の場合は TC56 がデータのダウンロード中であることを示し、静止画表示の場合はダウンロードが完了したことを示します。
	USB テザリングが有効であることを示します。
	TC56 が仮想プライベート ネットワーク (VPN) を介して接続または切断されていることを示します。
	内部ストレージを準備しています。
	TC56 で USB デバッグが有効になっていることを示します。
	ヘッドセットがデバイスに接続されていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントのステータスを示します。PTT Express 通知アイコンの一覧については、「通知アイコン」を参照してください。
	RxLogger アプリケーションが実行中であることを示します。
	RS507 または RS6000 が TC56 に接続されていることを示します。

通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される可能性のある通知アイコンとその説明のリストについては、[2-5 ページの通知アイコン](#)を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、[Notifications] (通知) パネルを開きます。

[Notifications] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。

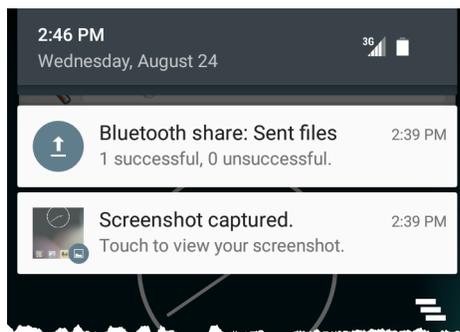


図 2-4 [Notification] (通知) パネル

通知に応答するには、[Notifications] (通知) パネルを開いて、通知をタッチします。[Notifications] (通知) パネルが閉じます。この後の操作は、通知によって異なります。

すべての通知をクリアするには、[Notifications] (通知) パネルを開き、 をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。

進行中の通知はそのままリストに残ります。

[Notification] (通知) パネルを閉じるには、[Notification] (通知) パネルを上にはスワイプします。

クイック アクセス パネルを使用して、使用頻度の高い設定 (機内モードをオンにするなど) にアクセスします。クイック アクセス パネルを開くには、2 本の指で画面の上部から下にスワイプするか、1 本の指で 2 回スワイプします。

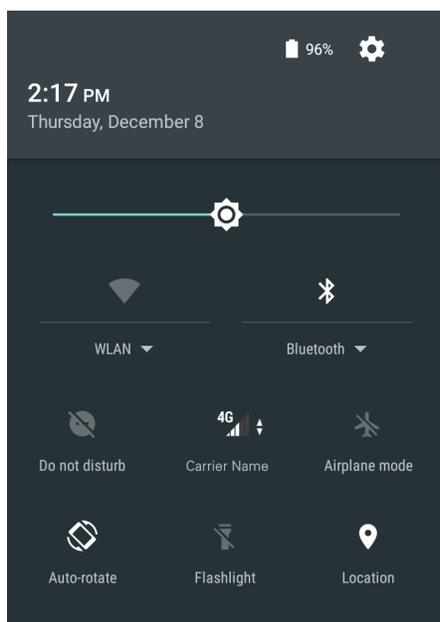


図 2-5 [Quick Settings] (クイック設定)

設定を変更するには、それぞれのアイコンをタッチします。

- ディスプレイの輝度: スライドして、画面の輝度を調整します。
- Wi-Fi ネットワーク: Wi-Fi をオンまたはオフにします。Wi-Fi 設定を開くには、Wi-Fi ネットワーク名をタッチします。
- Bluetooth の設定: Bluetooth をオンまたはオフにします。Bluetooth の設定を開くには、**[Bluetooth] (Bluetooth)** をタッチします。
- [Do not disturb] (着信拒否): 通知を受け取るときとその方法を制御します。
- 携帯電話ネットワーク: 携帯電話会社の名前と信号に関する情報が表示されます。**[No SIM card] (SIM カードなし)** と表示される場合は、SIM カードが取り付けられていないか、有効になっていません。
- [Airplane mode] (機内モード): 機内モードをオンまたはオフにします。機内モードをオンにすると、デバイスは Wi-Fi または Bluetooth に接続しません。
- [Auto-rotate] (自動回転): デバイスの向きを縦向きモードまたは横向きモードにロックするか、デバイスの向きが自動的に回転するように設定します。
- [Flashlight] (フラッシュライト): カメラのフラッシュをオンまたはオフにします。
- [Location] (位置): 位置機能を有効または無効にします。

アプリケーション ショートカットとウィジェット

アプリケーション ショートカットはホーム画面に置かれており、アプリケーションにすばやく簡単にアクセスできます。アプリケーションウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

アプリケーションをホーム画面に追加する

1. 希望するホーム画面に移動します。
2.  をタッチします。
3. リストをスクロールして、アプリケーション アイコンを探します。
4. ホーム画面が表示されるまで、アイコンをタッチしてホールドします。
5. アイコンを画面に配置したら、指を離します。

ホーム画面にウィジェットを追加する

ホーム画面にウィジェットを追加するには、次の手順に従います。

1. 希望するホーム画面に移動します。
2. メニューが表示されるまで、画面をタッチしてホールドします。
3. **[WIDGETS]** (ウィジェット) をタッチします。
4. リストをスクロールして、ウィジェットを探します。
5. ホーム画面が表示されるまで、ウィジェットをタッチしてホールドします。
6. ウィジェットを画面に配置したら、指を離します。

ホーム画面での項目の移動

1. 画面でフローティングするまで項目をタッチしてホールドします。
2. 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で一時停止し、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。
3. 指を離し、項目をホーム画面に配置します。

アプリケーション ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する

1. 希望するホーム画面に移動します。
2. アプリケーションのショートカット アイコンまたはウィジェット アイコンを、画面でフローティングするまでタッチしてホールドします。
3. 画面上部の  **Remove** までアイコンをドラッグし、放します。

フォルダ

フォルダを使用して、類似のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開き、表示します。

フォルダの作成

フォルダを作成するには、ホーム画面に 2 つ以上のアプリのアイコンが必要です。

1. 希望するホーム画面に移動します。
2. 1 つのアプリケーション アイコンをタッチし、ホールドします。

3. アイコンをドラッグし、別のアイコン上に重ねます。
4. 指を離します。

フォルダの名前付け

フォルダに名前を付けるには、次の手順に従います。

1. フォルダをタッチします。

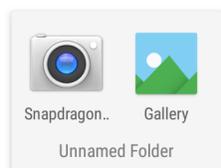


図 2-6 フォルダを開く

2. タイトルのエリアをタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
3. キーボードの **[Done]** (完了) をタッチします。
4. ホーム画面の任意の場所をタッチし、フォルダを閉じます。フォルダ名がフォルダの下に表示されます。



図 2-7 名前が変更されたフォルダ

フォルダの削除

フォルダを削除するには、次の手順に従います。

1. 拡大表示されるまでフォルダ アイコンをタッチして、ホールドします。
2. フォルダを **✕ Remove** までドラッグして放します。

ホーム画面の壁紙

ホーム画面の壁紙を変更するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、画面をタッチしてホールドします。
2. **[WALLPAPERS]** (壁紙) をタッチします。
3. **[My photos]** (マイフォト) をタッチしてギャラリーから写真を選択するか、あらかじめインストールされている写真の 1 つを選択します。
4. **[Save wallpaper]** (壁紙の保存) をタッチします。

タッチスクリーンの使用方法

高感度のマルチタップ スクリーンを使用して、デバイスを操作します。

- **タップ** - タップして次の操作を行います。
 - 画面上の項目を選択します。
 - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
 - 画面ボタンを押します。
- **タップしてホールド** - 次の項目をタップしてホールドし、以下を行います。
 - ホーム画面の項目をタッチして、それを新しい場所かゴミ箱に移動します。
 - [Apps] (アプリ) の項目をタッチして、ホーム画面にショートカットを作成します。
 - ホーム画面をタッチして、ホーム画面をカスタマイズするためのメニューを開きます。
 - ホーム画面の何も表示されていないエリアをタッチし続けると、メニューが表示されます。
- **ドラッグ** - 項目をタップしてしばらくの間ホールドした後、画面上の新しい位置まで指を移動します。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
 - 画面のロックを解除します。
 - 別のホーム画面を表示します。
 - [Launcher] (起動プログラム) ウィンドウに追加のアプリケーション アイコンを表示します。
 - アプリケーションの画面についての詳細情報を表示します。
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
- **ピンチ** - 一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、離したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトを行えます。

キーボード

TC56 には、次の 2 つのタイプのキーボードが用意されています。

- Android キーボード (デフォルト)
- エンタープライズ キーボード



注 デフォルトでは、エンタープライズ キーボードは無効になっています。エンタープライズ キーボードを有効にする方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

キーボードを切り替えるには、次の手順に従います。

1. テキスト ボックス内をタッチして、現在のキーボードを表示します。
2. エンタープライズ キーボードで  をタッチするか、Android キーボードで  をタッチします。

キーボードの設定

キーボードを設定する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』の「Keyboard Settings (キーボードの設定)」セクションを参照してください。

エンタープライズ キーボードの使用法

エンタープライズ キーボードには、次のキーボードが含まれています。

- 数字
- 英字
- 特殊文字
- データ収集

数字タブ

数字キーボードにアクセスするには、[123] (123) タブをタッチします。

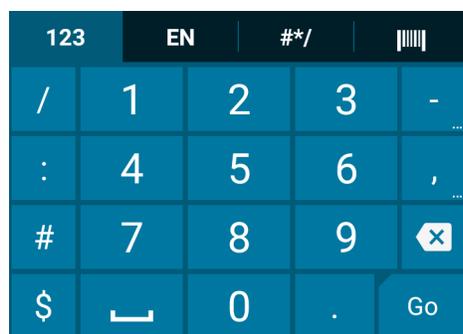


図 2-8 数字キーボード

英字タブ

英字キーボードにアクセスするには、[EN] (EN) タブをタッチします。

✓ **注** エンタープライズ キーボードでは、英語 (US)、英語 (UK)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、およびイタリア語がサポートされています。[Settings] (設定) でキーボード言語を選択すると、対応するキーボード言語が表示されます。



図 2-9 英字キーボード

😊 をタッチすると、テキストメッセージに絵文字アイコンを入力できます。



図 2-10 絵文字キーボード

英字キーボードに戻るには、[ABC] (ABC) をタッチします。

追加文字タブ

追加文字にアクセスするには、[#*/] (#*/) タブをタッチします。



図 2-11 記号キーボード

スキャンタブ

スキャンタブには、バーコードをスキャンするための、簡単なデータ収集機能があります。



図 2-12 スキャン キーボード

Android キーボードの使用方法

テキスト フィールドにテキストを入力するには、画面キーボードを使用します。キーボード設定を行うには、 (カンマ)> をタッチしてホールドしてから、**[Android keyboard settings] (Android キーボード設定)** を選択します。

テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を提供しているものもあります。

数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの 1 つをタッチしてホールドし、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。
- Shift キーを 1 本の指でタッチしてホールドしながら、1 つまたは複数の大文字または記号をタッチして入力し、両方の指を放して小文字のキーボードに戻ります。
-  にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで  キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

特殊文字を入力するには、数字または記号のキーをタッチして、その他の記号のメニューが開くまでホールドします。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

アプリケーション

[APPS] (アプリ) 画面には、インストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。次の表は、TC56 にインストールされているアプリケーションの一覧です。**アプリケーションのインストールおよびアンインストールの詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。**

表 2-4 アプリケーション

アイコン	説明
	[AppGallery] (アプリ ギャラリー) - TC56 にインストールできるユーティリティとデモンストラーション アプリケーションへのリンクが表示されます。
	[Battery Management] (バッテリー管理) - 充電残量、状態、健全性、消耗レベルなどのバッテリー情報が表示されます。
	[Battery Swap] (バッテリー交換) - バッテリーの交換中にデバイスをバッテリー交換モードにするために使用します。
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) - バーコードをスキャンして TC56 と RS507 ハンズフリー イメージャをペアリングするために使用します。
	[Browser] (ブラウザ) - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。
	[Calculator] (電卓) - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Chrome] (Chrome) - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Clock] (時計) - 予定のアラームをスケジュール設定するために使用したり、目覚ましとして使用したりします。
	[連絡先] - 連絡先の情報を管理するために使用します。詳細については、 4-7 ページの連絡先 を参照してください。

表 2-4 アプリケーション (続き)

アイコン	説明
	[DataWedge] (DataWedge) - イメージャを使用したデータ収集を有効にします。
	[Downloads] (ダウンロード) - すべてのダウンロード ファイルをリストします。
	[Drive] (ドライブ) - 写真、ビデオ、ドキュメント、およびその他のファイルを個人用ストレージサイトにアップロードします。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Duo] (Duo) - 1 対 1 のビデオ通話が可能なアプリケーションです。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[DWDemo] (DWDemo) - イメージャを使用したデータ収集機能をデモンストレーションする手段を提供します。詳細については、 4-20 ページの DataWedge のデモンストレーション を参照してください。
	[elemez] (elemez) - 診断情報を提供するために使用します。詳細については、 4-28 ページの Elemez を参照してください。
	[Email] (電子メール) - 電子メールを送受信するために使用します。
	[File Browser] (ファイル ブラウザ) - TC56 上のファイルを整理および管理します。詳細については、 4-4 ページの ファイル ブラウザ を参照してください。
	[Gallery] (ギャラリー) - microSD カードに保存されている写真を表示するために使用します。詳細については、 4-13 ページの ギャラリー を参照してください。
	[Gmail] (Gmail) - Google メール アカウントを使用して電子メールを送受信するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Google] (Google) - Google 検索アプリケーションを起動します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Google+] (Google+) - Google ソーシャル ネットワーク上のユーザーと接続します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Hangouts] (ハンガアウト) - テキスト メッセージと写真を使用して友人と通信するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。

表 2-4 アプリケーション (続き)

アイコン	説明
	[Maps] (マップ) - 地図上で自分がいる場所を表示するために使用します (公共の乗り継ぎ、交通、または衛星オーバーレイを使用します)。目的の会社や場所を検索します。車、自転車、徒歩、公共の交通機関で移動するユーザーのために、音声ガイド付きのナビゲーションを提供し、渋滞回避情報や迂回ルートも表示します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Messaging] (メッセージング) - SMS および MMS メッセージを送信します。詳細については、 4-5 ページの Messaging (メッセージング) を参照してください。
	[Mobi Control Stage] (Mobi コントロール ステージ) – [Mobi Control Stage] (Mobi コントロール ステージ) アプリケーションを開いて、デバイスのステージングを行います。
	[Music] (音楽) - microSD カードに保存されている音楽を再生します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[News & Weather] (ニュースと天気) - ニュースと天気情報を提供します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Notes] (メモ) - メモを取って保存する際に使用します。
	[Phone] (電話) - 一部の Voice Over IP (VoIP) クライアントとの使用時に、携帯電話で電話をかける、または電話番号をダイヤルするために使用します。
	[Photos] (写真) - 写真を Google アカウントと同期するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Books] (Play ブックス) - 書籍を読むために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Games] (Play ゲーム) - ゲームをプレイするために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Movies & TV] (Play ムービー & TV) - デバイスでムービーとビデオを表示します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Music] (Play ミュージック) - 音楽を聴くために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。

表 2-4 アプリケーション (続き)

アイコン	説明
	[Play Newsstand] (Play ニューススタンド) - 最新のニュースを表示します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[Play Store] (Play ストア) - 音楽、ムービー、書籍、Android アプリ、ゲームを Google Play ストアからダウンロードします。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[PTT Express] (PTT Express) - VoIP 通信のための PTT Express クライアントを起動するのに使用します。
	[Rapid Deployment] (高速導入) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初めての使用に向けて TC56 がデバイスをステージングできるようにします。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	[RxLogger] (RxLogger) - デバイスおよびアプリケーションに関する問題を診断するために使用します。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。
	[Search] (検索) - GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[Settings] (設定) - TC56 を設定するために使用します。
	[Snapdragon Camera] (Snapdragon カメラ) - 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。詳細については、 4-8 ページのカメラ を参照してください。
	[Sound Recorder] (サウンド レコーダ) - 音声を録音するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。
	[StageNow] (StageNow) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初めての使用に向けて TC56 がデバイスをステージングできるようにします。
	[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) - テザリングと Wi-Fi ホットスポットを設定するために使用します。
	[Videos] (ビデオ) - デバイスでビデオを再生します。GMS ソフトウェアが搭載されていないデバイスでのみ使用できます。

表 2-4 アプリケーション (続き)

アイコン	説明
	[Voice Search] (音声検索) - 質問することで検索を実行するために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。
	[YouTube] (YouTube) - YouTube Web サイトでビデオを観るために使用します。GMS ソフトウェアが搭載されているデバイスでのみ使用できます。

アプリケーションへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリケーションには、[APPS] (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

1. ホーム画面で  をタッチします。

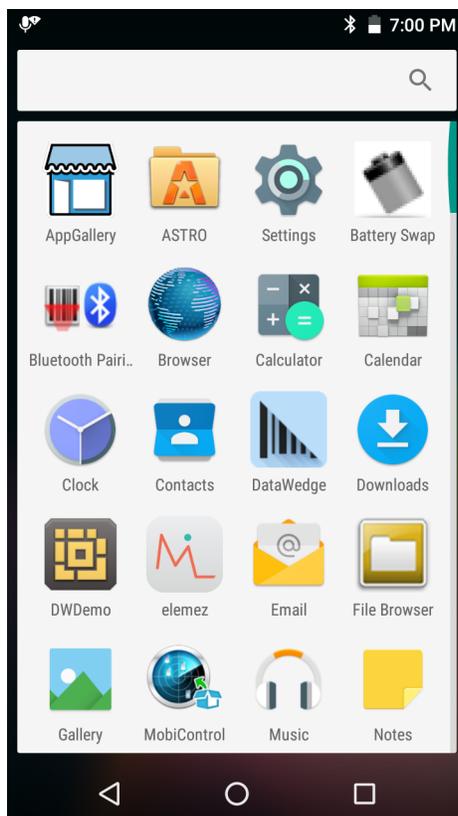


図 2-13 [APPS] (アプリ) ウィンドウの例

2. [APPS] (アプリ) ウィンドウを左右にスライドすると、その他のアプリケーションアイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。
ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[2-8 ページのアプリケーション ショートカットとウィジェット](#)を参照してください。

現在使用されているアプリケーションの切り替え

1.  をタッチし、ホールドします。現在使用されているアプリケーションのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。

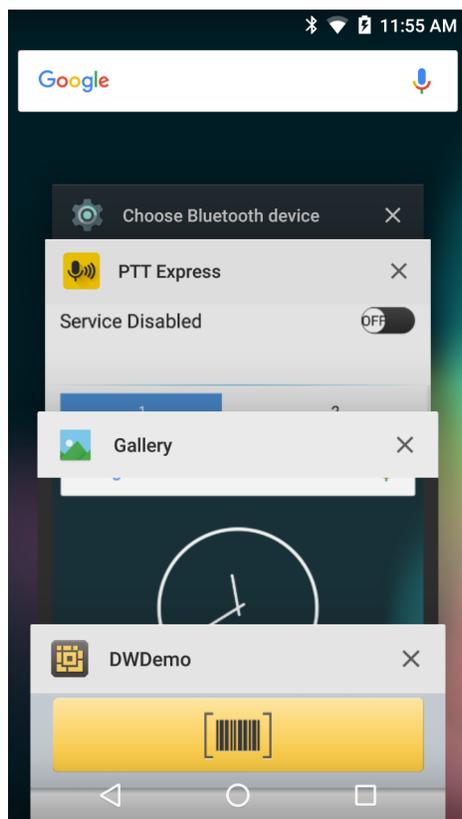


図 2-14 現在使用されているアプリケーション

2. ウィンドウを上下にスライドすると、現在使用されているすべてのアプリケーションを表示できます。
3. 左右にスワイプしてリストからアプリケーションを削除し、強制的にアプリケーションを終了します。
4. アイコンをタッチして開くか、 をタッチして現在の画面に戻ります。

画面のロック解除

[Lock] (ロック) 画面 を使用して、TC56 上のデータへのアクセスを保護します。電子メール アカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。ロック機能は、単一ユーザー モードとマルチユーザー モードで動作が異なります。

画面がロックされた場合にデバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要です。電源ボタンを押して、画面をロックします。定義済みのタイムアウト時間が経過した場合もデバイスはロックされます。

デバイスをウェイクアップするには、電源ボタンを押して放します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。 を  の方へ右にスライドして、画面のロックを解除します。

[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。

[PIN] 画面または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。



図 2-15 [Lock] (ロック) 画面

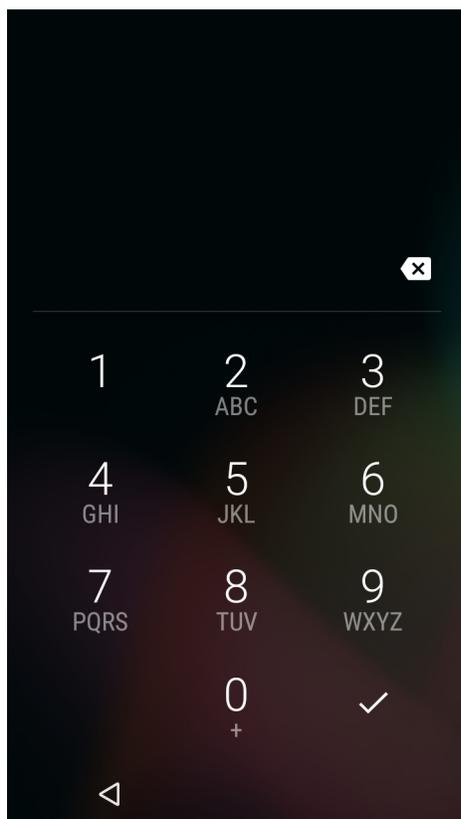


図 2-16 [PIN] 画面

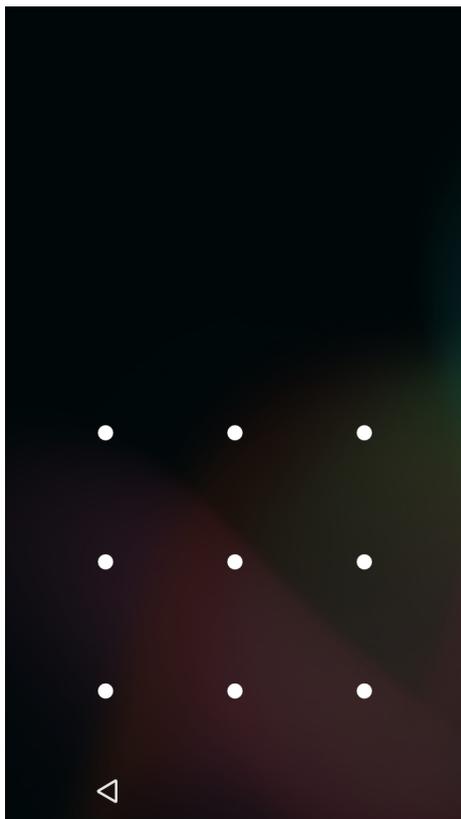


図 2-17 [Pattern] (パターン) 画面

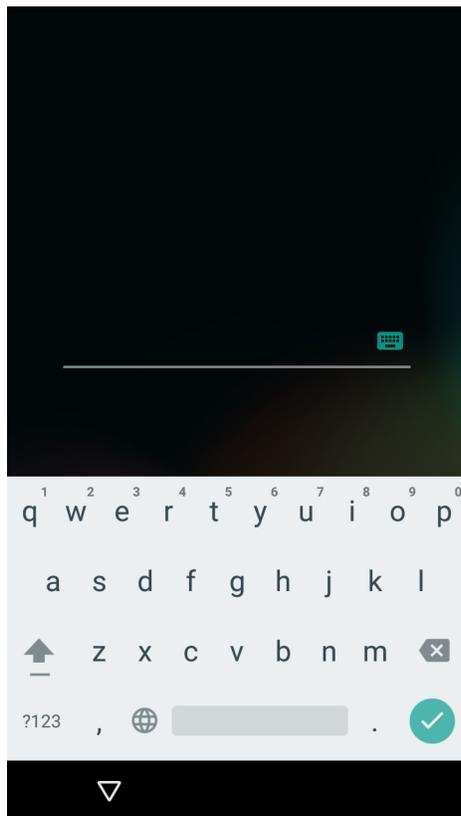


図 2-18 [Password] (パスワード) 画面

デバイスのリセット

ソフトリセットとハードリセットの2つのリセット機能があります。

ソフトリセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合は、ソフトリセットを実行します。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Reset]** (リセット) をタッチします。
3. デバイスが再起動します。

ハードリセットの実行



注意 TC56 に microSD カードが取り付けられている状態でハードリセットを実行すると、microSD カードの損傷やデータ破損が発生する可能性があります。

TC56 が応答を停止した場合は、ハードリセットを実行します。

1. 電源ボタン、PTT ボタン、および音量アップ ボタンを 4 秒以上同時に押します。
2. 画面がオフになったら、ボタンを放します。
3. TC56 が再起動します。

サスペンド モード

ユーザーが電源ボタンを押したときや、([Display settings] (ディスプレイの設定) ウィンドウで設定した) 一定の期間にわたって非アクティブな状態が続いた場合に、TC56 はサスペンド モードになります。

TC56 をサスペンド モードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。🔒 を 🔓 の方へ右にスライドして、画面のロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。2-19 ページの [画面のロック解除](#) を参照してください。



注 正しくない PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 分待たなければならなくなります。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

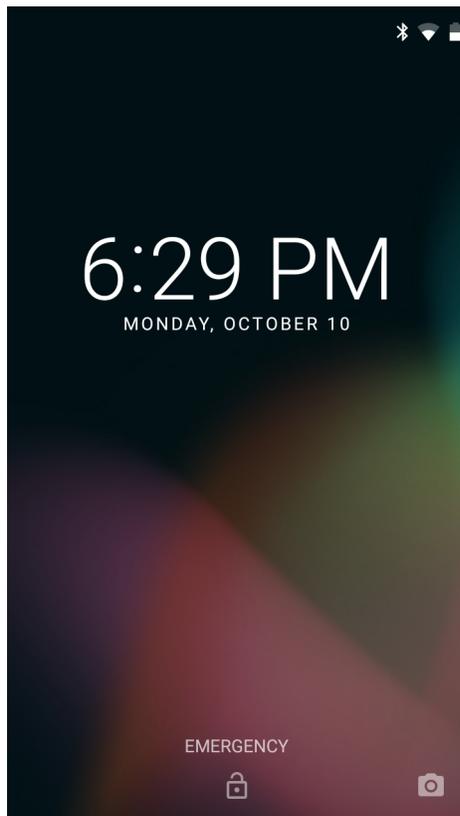


図 2-19 [Lock] (ロック) 画面

USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する

USB 充電ケーブルまたは 1 スロット USB クレードルを使用して TC56 をホスト コンピュータに接続し、TC56 とホスト コンピュータ間でファイルを転送します。詳細については、[第 7 章「アクセサリ」](#)を参照してください。

TC56 をホスト コンピュータに接続する際には、ファイルに損傷を与えないようにするために、ホスト コンピュータのマニュアルに従って USB デバイスを接続/接続解除してください。

メディア転送プロトコルを使用してファイルを転送する

✓ **注** メディア転送プロトコル (MTP) を使用して、TC56 (内部メモリまたは microSD カード) とホスト コンピュータ間でファイルをコピーします。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続するか、TC56 を 1 スロット USB/充電専用クレードルに置きます。セットアップ情報については、[第 7 章「アクセサリ」](#)を参照してください。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[Use USB for] (USB の使用目的) に [Charging] (充電) を選択します。

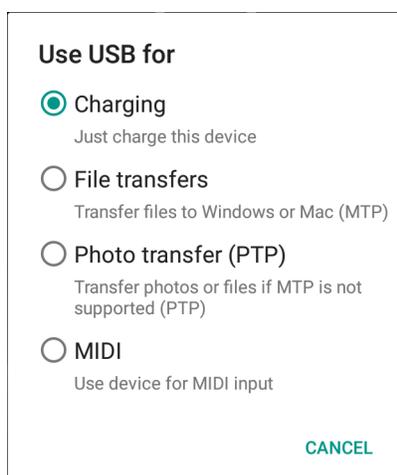


図 2-20 [Use USB for] (USB の使用目的) ダイアログ ボックス

3. [File transfers] (ファイル転送) をタッチします。
4. ホスト コンピュータで、エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. ポータブル デバイスとして TC56 を指定します。
6. SD カードまたは 内部ストレージ フォルダを開きます。
7. 必要に応じて、TC56 との間でファイルをコピーしたり、ファイルを削除したりします。

画像転送プロトコルを使用してファイルを転送する

✓ **注** 画像転送プロトコル (PTP) を使用して、microSD カードまたは内部メモリのいずれかから写真をホスト コンピュータにコピーします。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続するか、TC56 を 1 スロット USB/充電専用クレードルに置きます。セットアップ情報については、[第 7 章「アクセサリ」](#)を参照してください。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[Use USB for] (USB の使用目的) に [Charging] (充電) を選択します。

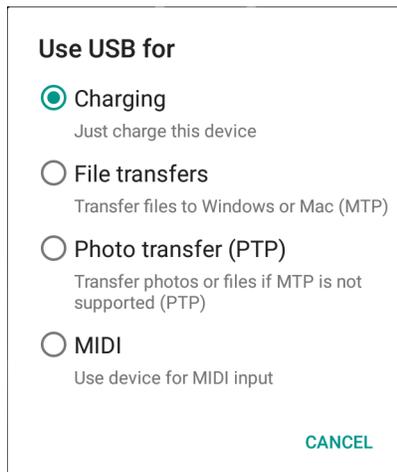


図 2-21 [Use USB for] (USB の使用目的) ダイアログ ボックス

3. **[Photo transfer (PTP)] (画像転送 (PTP))** をタッチします。
4. ホストコンピュータで、エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. **SD カード**または **内部ストレージ** フォルダを開きます。
6. 必要に応じて、写真をコピーまたは削除します。

ホスト コンピュータからの切断



注意 情報の損失を防ぐため、ホストコンピュータのマニュアルの手順を注意深く実行して、microSD カードのマウントを解除し、USB デバイスの接続を正しく解除します。

1. ホストコンピュータで、デバイスのマウントを解除します。
2. デバイスから USB 充電ケーブルを取り外すか、デバイスをクレードルから取り外します。

第 3 章 通話

[Phone] (電話) アプリケーション、[Contacts] (連絡先) アプリケーションまたはその他のアプリケーション、あるいは連絡先情報を表示するウィジェットから電話をかけます。

緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (110 や 119 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードにプログラムすることができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、デバイスに SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。



注 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

音声モード

デバイスは、3 つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセット モード:** デバイスの前面上部にあるレシーバから音声が出力され、デバイスをハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカ モード:** デバイスをスピーカ フォンのように使用できます。
- **ヘッドセット モード:** Bluetooth ヘッドセットまたは有線ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットをデバイスに接続する方法については、[6-11 ページの Bluetooth](#) を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカ フォンはミュートになります。

有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、有線ヘッドセットとオーディオ アダプタを使用して音声通信を行うことができます。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。有線ヘッドセットを接続すると、スピーカフォンはミュートになります。

有線ヘッドセットによる通話を終了するには、通話が終了するまでヘッドセット ボタンを押し続けます。



図 3-1 3.5mm ヘッドセット アダプタ

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、音量ボタンを使用します。



注 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

ダイヤラを使用して電話をかける

ダイヤラ タブを使用して電話番号をダイヤルします。

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。

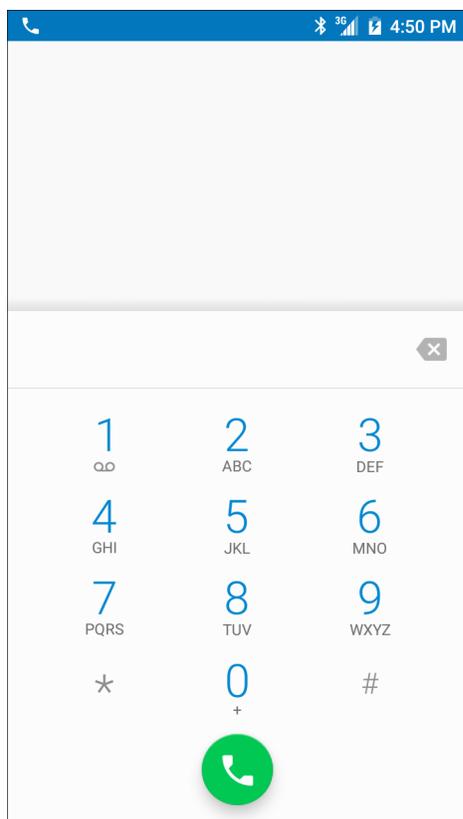


図 3-2 ダイヤラ画面

3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。

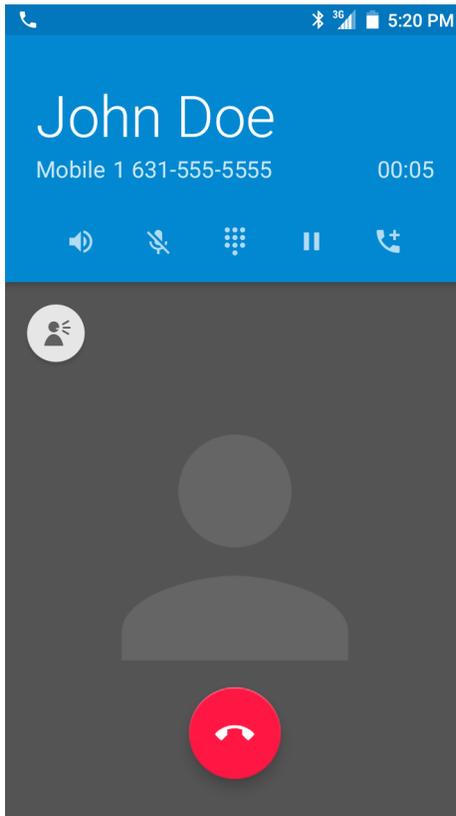


図 3-3 通話中

-  - タッチして、スピーカフォンに音声を送ります。
-  - タッチして、通話をミュートします。
-  - タッチして、ダイヤルパッドを表示します。
-  - タッチして、通話を保留にします (一部のサービスでは利用できません)。
-  - タッチして、会議通話を作成します。
-  - タッチして音声のボリュームを上げます。

5. 通話を終了するには、 をタッチします。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、追加の音声オプションを利用できます。音声アイコンをタッチして、音声メニューを開きます。

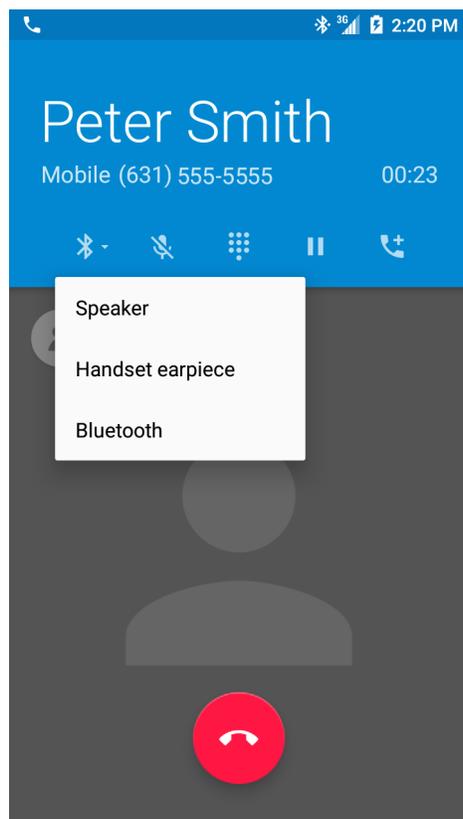


図 3-4 Bluetooth 音声オプション

-  - 音声 Bluetooth ヘッドセットにルーティングされていることを示します。
-  - 音声スピーカーフォンにルーティングされていることを示します。
-  - 音声イヤホンにルーティングされていることを示します。

ダイヤラのダイヤルオプション

ダイヤラでは、ダイヤルした連絡先番号を保存するオプション、ダイヤル文字列に一時停止と待機を挿入するオプション、また通話設定を行うオプションを利用できます。これらのオプションにアクセスするには、少なくとも 1 桁を入力します。以下のオプションにアクセスするには、 をタッチします。

- **[Add 2-sec pause] (2 秒間の一時停止を追加)** - 2 秒間一時停止してから次の数字をダイヤルします。連続して複数の一時停止を追加できます。
- **[Add wait] (待機を追加)** - 残りの桁の送信の確認を待機します。

連絡先を使用して電話をかける

連絡先を使用して電話をかける方法は 2 つあります。

- ダイアラの使用
- 連絡先アプリケーションの使用

ダイアラの使用

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

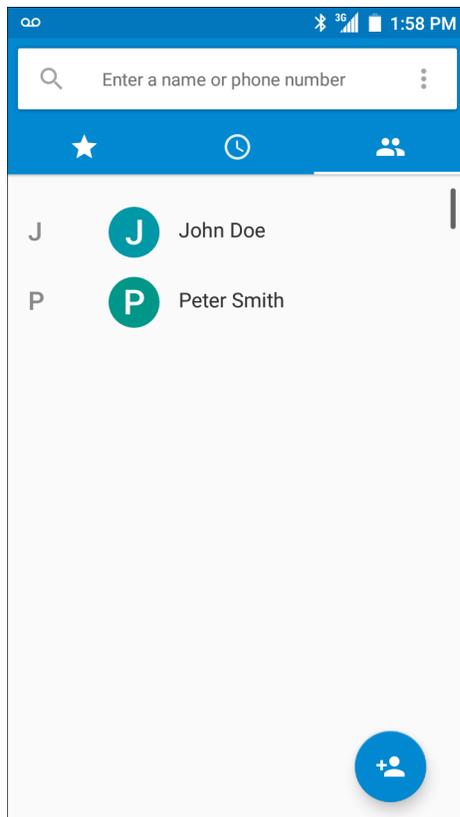


図 3-5 [Dialer Contacts] (ダイアラの連絡先) タブ

3. 連絡先をタッチします。
4. 通話を開始するには、 をタッチします。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

連絡先アプリケーションの使用

連絡先アプリケーションを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。

1.  をタッチします。

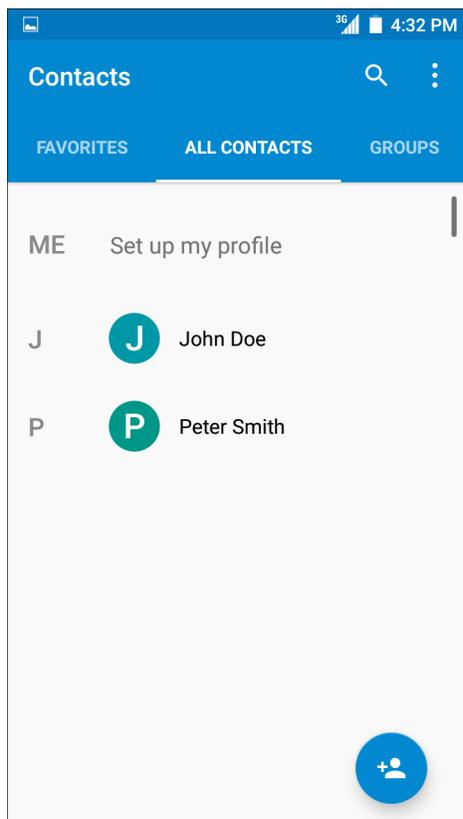


図 3-6 連絡先アプリケーション

2. 連絡先の名前をタッチします。

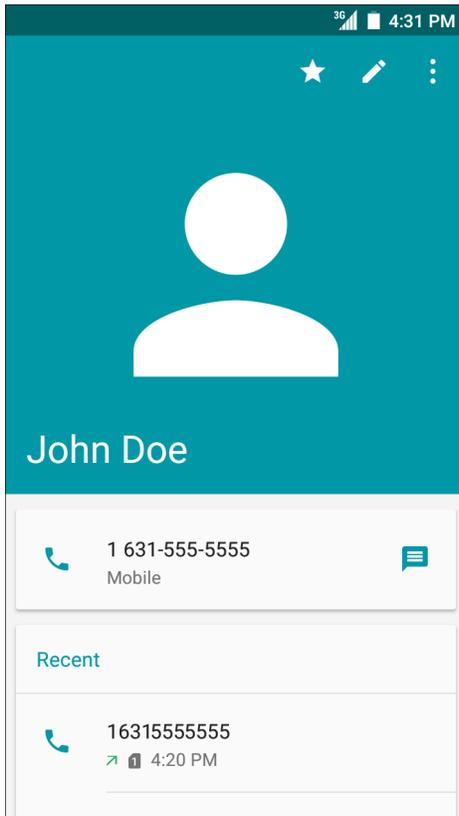


図 3-7 連絡先情報

3. タッチして通話を開始します。

通話履歴を使用して電話をかける

通話履歴は、発信、着信、または不在着信したすべての通話のリストです。通話履歴は、番号のリダイヤル、電話の折り返し、または連絡先に番号を追加するのに便利です。

通話の横にある矢印アイコンが通話のタイプを示します。複数の矢印は複数の通話を示しています。

-  - 不在着信
-  - 受信した着信
-  - 発信。

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

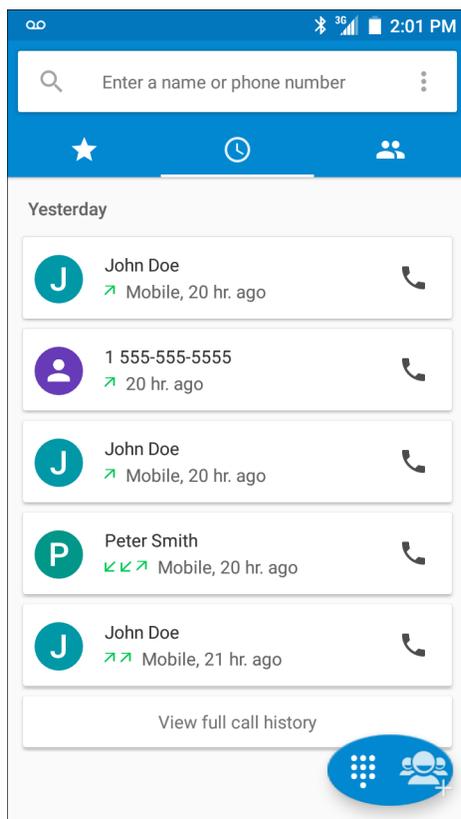


図 3-8 [Call History] (通話履歴) タブ

3. 連絡先の横にある  をタッチして、通話を開始します。
4. 連絡先をタッチして、他の機能を実行します。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

GSM で会議通話セッションを確立する

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

 **注** 一部のサービスでは、会議通話機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。会議通話機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイアログの下にある  をタッチし、通話を開始します。
5. 電話が接続された時点で、 をタッチします。
最初の通話が保留になります。

3 - 10 TC56 ユーザー ガイド (Android 向け) バージョン 6.0.1

6. キーをタッチし、2 番目の電話番号を入力します。
7. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
8. 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2 番目の通話が有効になります。

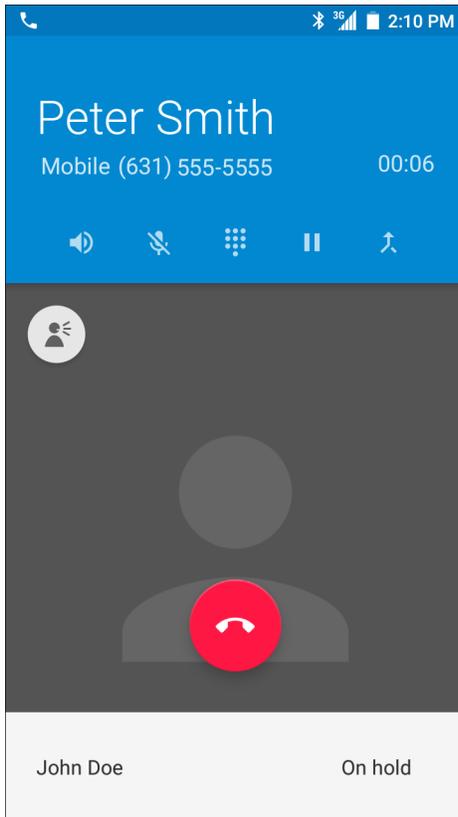


図 3-9 2つの通話

9.  アイコンをタッチし、3 者による会議通話を作成します。

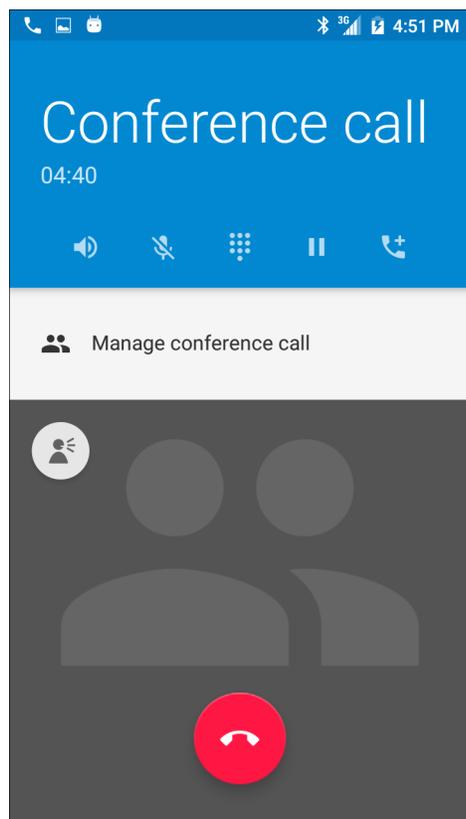


図 3-10 通話の結合

10. 別の通話を追加するには、 をタッチします。
会議が保留になります。
11. キーをタッチし、別の電話番号を入力します。
12. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
13. 3 番目の通話を会議に追加するには、 アイコンをタッチします。
14. **[Manage Conference call] (会議通話の管理)** をタッチし、すべての通話者を表示します。

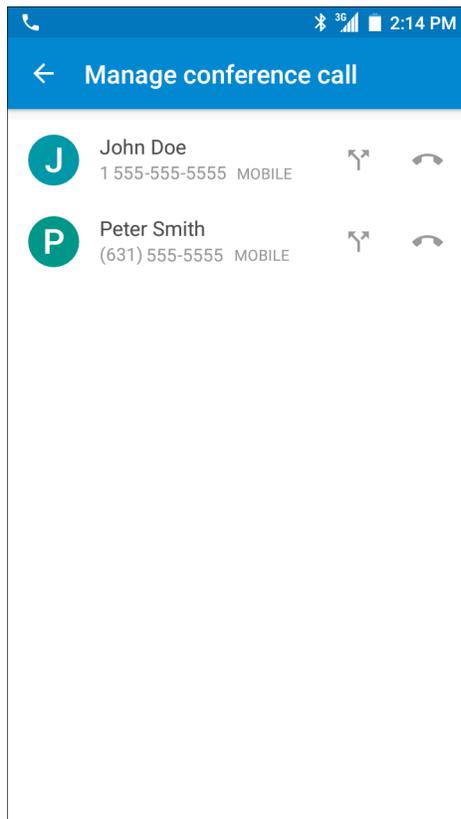


図 3-11 通話の結合解除

15. 会議から 1 人の通話者を除外するには、その通話者の隣にある  をタッチします。

会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 をタッチします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 をタッチします。

三者通話 (CDMA)

2 人の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

✓ **注** 三者通話は、一部のサービスでは利用できない場合があります。利用できるかどうかについては、サービスプロバイダに確認してください。

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイアログの下にある  をタッチし、通話を開始します。
5. 電話が接続された時点で、 をタッチします。
最初の通話が保留になります。
6. キーをタッチし、2 番目の電話番号を入力します。

7. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
8. 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2番目の通話が有効になります。

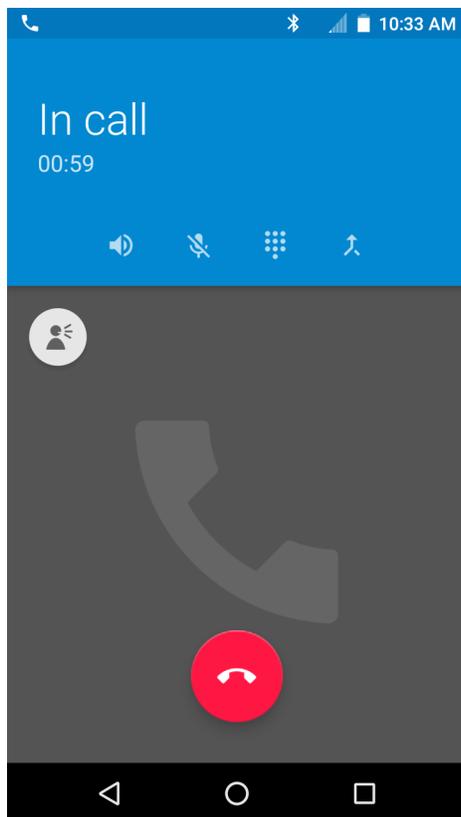


図 3-12 2つの通話

9.  アイコンをタッチし、3者による会議通話を作成します。

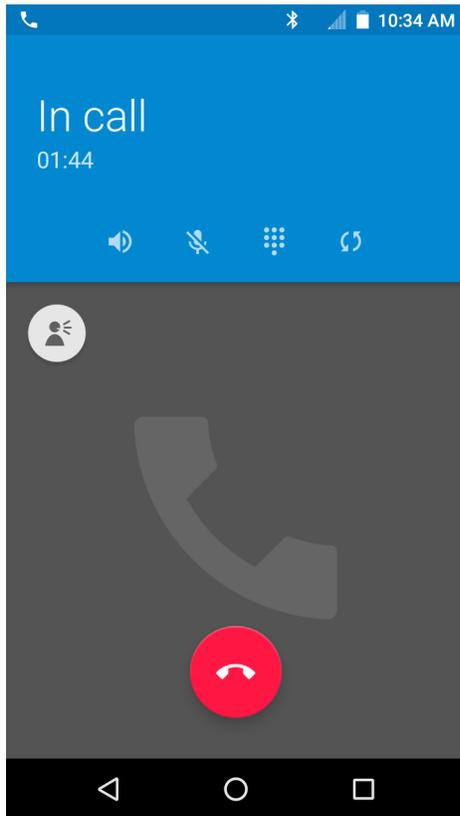


図 3-13 三者通話中

10.  をタッチして、直前の通話を終了します。
11.  をタッチして、最初の通話者との通話を終了します。

通話への応答

電話がかかってきたとき、**[Incoming Call] (着信)** 画面が開き、発信者 ID と **[Contacts] (連絡先)** アプリケーション内にある発信者に関する追加情報が表示されます。

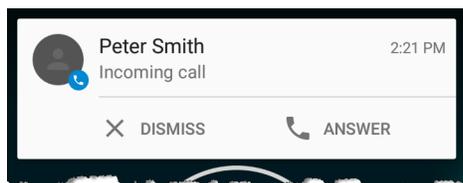


図 3-14 [Incoming Call] (着信) 画面

[Answer] (応答) をタッチして応答するか、**[Dismiss] (終了)** をタッチして通話者に音声メールを送信します。画面ロックが有効な場合、デバイスをロック解除せずに通話に応答できます。

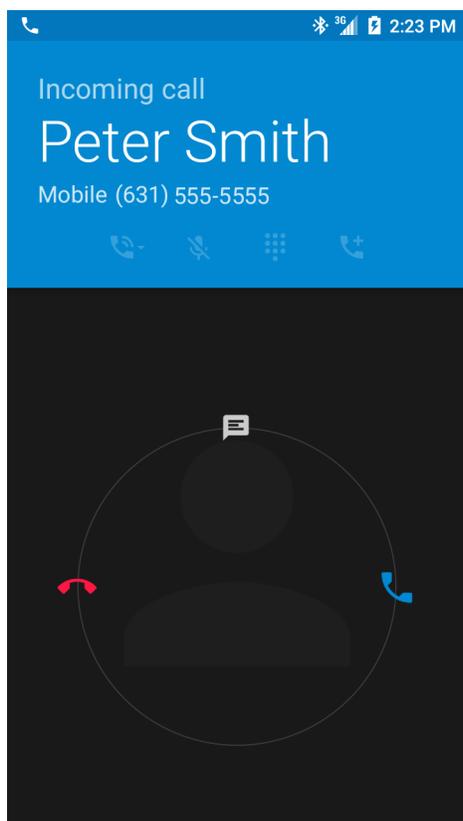


図 3-15 着信ロック画面

着信したときは、白い電話アイコンをタッチし、次のいずれかのアイコンまでスライドします。

-  **[Answer call] (通話に応答)** - 発信者との通話を開始します。
-  **[Send to voice mail] (音声メールに転送)** - 音声メールメッセージを残すように発信者に依頼します。
-  **[Send a message] (メッセージを送信)** - クイックテキスト応答のリストを開きます。いずれかをタッチし、発信者にただちに送信します。

通話が終了したとき、デバイスはロックされたままです。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、着信したときは、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押して応答します。通話を終了するには、ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

すべての着信は、[Phone] (電話) アプリケーションの [Call log] (コール ログ) タブで記録されます。電話に出られない場合、通知を受信します。電話に応答する前に着信音を無音にするには、デバイスの横にある音量を下げるボタンを押します。

通話設定



注 すべての構成ですべてのオプションが使用できるわけではありません。

[Call Settings] (通話設定) を使用して、通話機能に関連したオプションを変更します。

- **表示オプション**
 - [Sort by] (並び替え) - オプション: [First name] (名) または [Last name] (姓) 順に並び替えます。
 - [Name format] (名前の形式) - オプション: [First name first] (名姓順) または [Last name first] (姓名順) の形式にします。
- **着信音とバイブレーション**
 - [Phone ringtone] (着信音) - タッチして、着信したときに鳴る着信音を選択します。
 - [Also vibrate for calls] (着信時にバイブ) - チェックして、着信時にデバイスが振動するようにします (デフォルト - 無効)。
 - [Dialpad tones] (ダイヤルパッド操作音) - オンにすると、電話キーにタッチしたときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
- [Quick responses] (クイック レスポンス) - タッチして、通話に応答する代わりに使用するクイック レスポンスを編集します。
- [Speed dial settings] (短縮ダイヤルの設定) - 連絡先の短縮ダイヤルのショートカットを設定します。
- **通話**
 - **通話アカウント**
 - [SIP Accounts] (SIP アカウント) - デバイ스에追加されたアカウントのインターネット通話を受信する、SIP アカウントを表示または変更する、またはインターネット通話アカウントを追加する場合に選択します。
 - [Use SIP calling] (SIP 通話の使用) - オプション: [For all calls] (すべての通話) または [Only for SIP calls] (SIP 通話のみ) です (デフォルト)。
 - [Receive incoming calls] (着信を受信) - 有効にすると、着信を許可します (デフォルト - 無効)。
 - [Display duration] (通話時間を表示) - 有効にすると、通話時間を表示します (デフォルト - 有効)。
 - [Vibrating after connected] (接続後にバイブレーション) 有効にすると、SIP 通話に接続後、デバイスが振動します (デフォルト - 有効)。
 - [Turn on proximity sensor] (近接センサをオン) - 有効にすると、画面をオフにしてバッテリーを節約します (デフォルト - 有効)。

- **[Voicemail] (ボイスメール)** - タッチして、ボイスメール設定を行います。
 - **[Service] (サービス)** - ボイスメール サービスにサービス プロバイダまたはその他のプロバイダを設定します。
 - **[Setup] (設定)** - タッチして、ボイスメールにアクセスするために使用する電話番号を更新します。
 - **[Sound] (サウンド)** - タッチして、ボイスメールの受信時に再生されるサウンドを選択します。
 - **[Vibrate] (振動)** - 振動オプションを設定します。(デフォルト - 無効)。
- **[Fixed Dialing Numbers] (発信先固定)** - [Fixed Dialing] (発信先固定) では、[Fixed Dialing] (発信先固定) リストに指定された電話番号または市外局番以外をダイヤルできないようにデバイスを制限できます。
- **GSM 通話設定**
 - **[Call forwarding] (自動転送)** - 自動転送を使用して、着信を別の電話番号に転送します。



注 自動転送は、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダに確認してください。

- **追加設定**
 - **[Caller ID] (発信者 ID)** - 発信者 ID により発信しているのが誰なのかを特定できます。次のオプションを選択できます。**[Network default] (ネットワークのデフォルト)** (デフォルト)、**[Hide number] (番号を非表示にする)**、**[Show number] (番号の表示)**。
 - **[Call waiting] (割込通話)** - 設定して、通話中に着信を通知します。
 - **[Call barring] (発着信制限)** - 発着信制限を使用して、特定のタイプの着信および発信をブロックします。ブロックする着信および発信のタイプを選択します。
- **ユーザー補助**
 - **[TTY mode] (TTY モード)** - タッチして、TTY 設定を行います。TC56 に付属するオプションのテレタイプ プライタ (TTY) デバイスを使用して、通話の送受信を行います。TTY デバイスのプラグを TC56 のヘッドセット ジャックに接続して、TC56 がいずれかの TTY モードで動作するように設定します。



注 TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY デバイスを TC56 に接続します。

正しく動作させるためには、TC56 の音量を中間レベルに設定します。誤った文字の数が多い場合は、エラー率を最小限にするために音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、TC56 は TTY デバイスから 30cm (12 インチ) 以上離れている必要があります。TC56 と TTY デバイスの距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

- **[TTY off] (TTY オフ)** - TTY をオフにします (デフォルト)。
- **[TTY Full] (TTY フル)** - TTY 文字を送受信します。
- **[TTY HCO]** - TTY 文字を送信しますが、受信はイヤホンで聞くことによって行います。
- **[TTY VCO]** - TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。

第 4 章 アプリケーション

このセクションでは、デバイスにインストールされているアプリケーションについて説明します。

バッテリー マネージャ

バッテリー マネージャ には、バッテリーに関する詳細情報が表示されます。

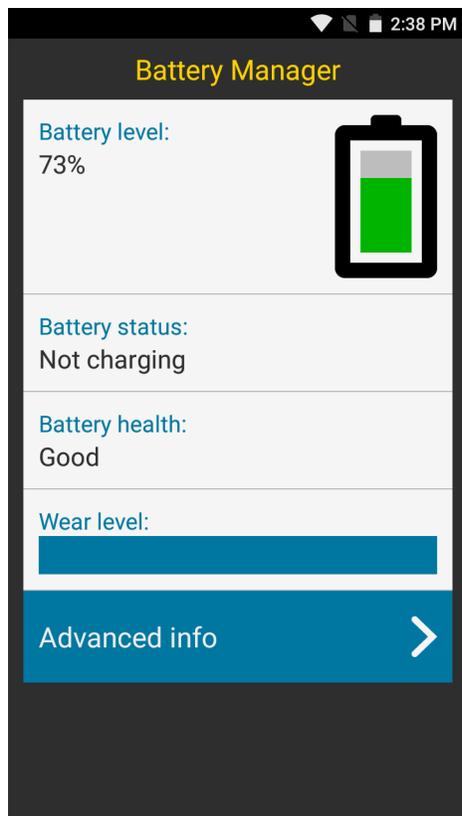


図 4-1 [Battery Manager] (バッテリー マネージャ) 画面

表 4-1 バッテリー アイコンの説明

バッテリー アイコン	説明
	バッテリーの充電レベルを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。
	バッテリーの充電レベルが 20% 未満であることを示します。

- **[Battery level] (バッテリー レベル)** - 現在のバッテリー充電レベルをパーセントで示します。充電レベルが不明な場合は、「-%」と表示されます。
- **[Battery status] (バッテリー状態)**
 - **[Not charging] (充電していません)** - デバイスが AC 電源に接続されていないことを示します。
 - **[Charging over AC] (AC で充電中)** - デバイスが AC 電源に接続され、充電中であることを示します。
 - **[Charging over USB] (USB で充電中)** - デバイスが USB ケーブルでホスト コンピュータに接続され、充電中であることを示します。
 - **[Discharging] (放電中)** - バッテリーが放電中であることを示します。
 - **[Full] (満杯)** - バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
 - **[Unknown] (不明)** - バッテリー状態が不明であることを示します。
- **[Battery health] (バッテリー健全性)** - バッテリーの健全性を示します。重大なエラーが発生した場合は、 が表示されます。エラーの詳細を見るには、このアイコンをタッチしてください。
 - **[Decommission] (廃棄)** - 寿命を過ぎているため、バッテリーを交換する必要があります。システム管理者にお問い合わせください。
 - **[Good] (良)** - バッテリーは良好な状態です。
 - **[Charge error] (充電エラー)** - 充電中にエラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
 - **[Over Current] (過電流)** - 過電流の状態が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
 - **Dead (使用不可)** - バッテリーを充電できません。バッテリーを交換します。
 - **[Over Voltage] (過電圧)** - 過電圧の状態が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
 - **[Below Temperature] (温度低下)** - バッテリーの温度が動作温度未満です。
 - **[Failure Detected] (障害検出)** - バッテリーに障害が検出されました。システム管理者にお問い合わせください。
 - **[Unknown] (不明)** - システム管理者にお問い合わせください。
- **[Wear level] (消耗レベル)** - バッテリーの健全性をグラフの形式で示します。消耗レベルが 80% を超えると、バーの色が赤に変わります。

- **[Advanced info] (詳細情報)** - バッテリーに関する詳しい情報を見る際にタッチします。
- **[Battery present status] (バッテリーの現在の状態)** - バッテリーが完全に充電されている場合、現在の放電状態でバッテリーから得ることができる最大充電量 (mAh 単位) を示します。
- **[Battery level] (バッテリー レベル)** - バッテリーの充電レベルをパーセントのスケールで示します。
- **[Battery scale] (バッテリー スケール)** - バッテリー レベルを判断するために使用されるバッテリーのスケールレベル (100) です。
- **[Battery voltage] (バッテリー電圧)** - 現在のバッテリー電圧をミリボルト単位で示します。
- **[Battery temperature] (バッテリー温度)** - 現在のバッテリー温度を摂氏単位で示します。
- **[Battery technology] (バッテリー テクノロジー)** - バッテリーのタイプが表示されます。
- **[Battery manufacture date] (バッテリー製造日)** - 製造日が表示されます。
- **[Battery serial number] (バッテリー シリアル番号)** - バッテリー シリアル番号が表示されます。この番号は、バッテリーのラベルに印刷されているシリアル番号に一致します。
- **[Battery part number] (バッテリー部品番号)** - バッテリーの部品番号が表示されます。
- **[Battery rated capacity] (バッテリー定格容量)** - バッテリーの容量が mAh 単位で表示されます。
- **[App version] (アプリケーションのバージョン)** - アプリケーションのバージョン番号が表示されます。

ファイル ブラウザ

File Browser (ファイル ブラウザ) アプリケーションを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。
 ファイル ブラウザを開くには、 >  をタッチします。

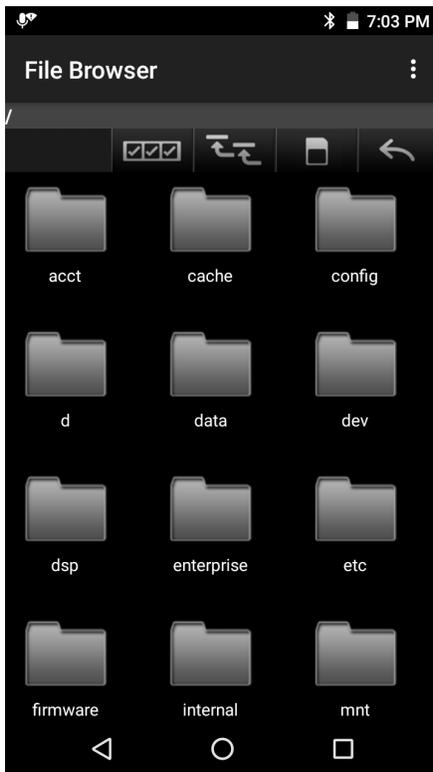


図 4-2 ファイル ブラウザの画面

アドレス バーに、現在のフォルダのパスが表示されます。パスとフォルダ名を手動で入力するには、現在のフォルダのパスをタッチします。

複数のファイル/フォルダを選択するには、 を使用します。

内部ストレージのルート フォルダを表示するには、 を使用します。

microSD カードのルート フォルダを表示するには、 を使用します。

前のフォルダを表示するか、アプリケーションを終了するには、 を使用します。

項目に何らかの操作を行うには、その項目をタッチしてホールドします。**[File Operations] (ファイル操作)** メニューの次のオプションから 1 つを選択します。

- **[Information] (情報)** - ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示します。
- **[Move] (移動)** - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
- **[Copy] (コピー)** - 選択したファイルをコピーします。
- **[Delete] (削除)** - 選択したファイルを削除します。
- **[Rename] (名前変更)** - 選択したファイルの名前を変更します。
- **[Open as] (次のタイプとして開く)** - 選択したファイルを特定のファイル タイプとして開きます。
- **[Share] (共有)** - ファイルを他のデバイスと共有します。

Messaging (メッセージング)

SMS と MMS の各メッセージを送受信するには、[Messaging] (メッセージング) を使用します。ホーム画面または [All Apps] (すべてのアプリケーション) 画面で、 をタッチします。

テキストメッセージの送信

1. メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。

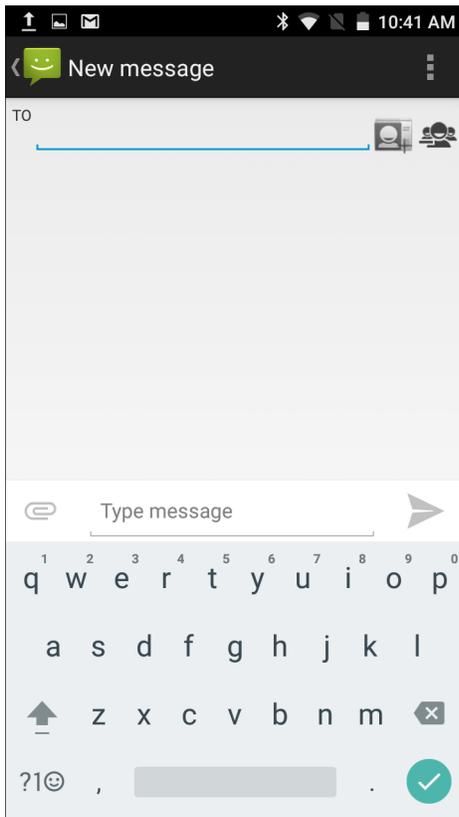


図 4-3 [New Text Message] (新しいテキストメッセージ) 画面

2. [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
3. [Type message] (メッセージを入力) フィールドにテキストメッセージを入力します。
160 文字制限カウンタに残りの文字数が表示されます。その制限を超えると、新しいメッセージが作成されます。このメッセージは、受信側で前のメッセージと結合されます。
メッセージの作成中に [Back] (戻る) ボタンを押すと、メッセージが下書きとして [Messaging] (メッセージング) 画面に保存されます。メッセージの作成を再開するには、会話をタッチします。
4.  をタッチして、メッセージを送信します。

マルチメディア メッセージの送信

1. メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。
2. [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
3.  をタッチして、選択したメディア ファイルを添付します。

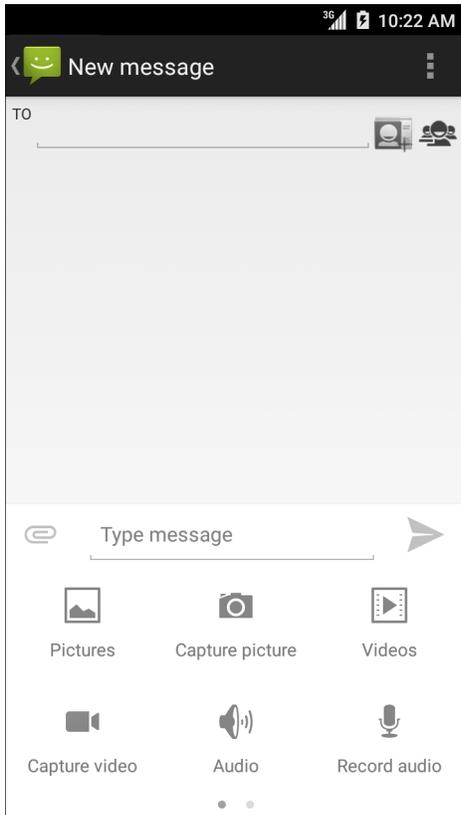


図 4-4 [New Multimedia Message] (新しいマルチメディア メッセージ) 画面

- [Pictures] (画像)。添付する画像を選択します。
 - [Capture picture] (画像の撮影)。カメラが開き、画像を撮影して添付します。
 - [Videos] (ビデオ)。添付するビデオを選択します。
 - [Capture video] (ビデオの撮影)。ビデオカメラが開き、ビデオを録画して、メッセージに添付します。
 - [Audio] (音声)。添付するサウンド ファイルを選択します。
 - [Record audio] (音声の録音)。サウンド レコーダが開き、話されたメッセージを録音して、メッセージに添付します。
 - [Slideshow] (スライドショー)。画面を開き、テキスト、画像、ビデオ、および音声録音を最大 10 枚のスライドのスライドショーにまとめてメッセージに添付します。
 - 連絡先情報を挿入します。
 - [Contact vCard] (連絡先 vCard)。連絡先の情報を送信します。
4.  をタッチして、メッセージを送信します。

連絡先

連絡先 アプリケーションを使用して、連絡先を管理します。

ホーム画面または [Apps] (アプリ) 画面で、 をタッチします。[People] (連絡先一覧) が開き、連絡先のメインリストが表示されます。連絡先は、画面の上部に、[Groups] (グループ)、[All contacts] (すべての連絡先)、[Favorites] (お気に入り) という3つの方法で表示できます。タブをタッチすると、連絡先の表示方法が変化します。上下にスワイプして、リストをスクロールします。

連絡先の追加

1. **連絡先** アプリケーションで、 をタッチします。
2. 複数の連絡先をもつ複数のアカウントがある場合は、使用するアカウントをタッチします。
3. 連絡先の名前とその他の情報を入力します。フィールドをタッチして入力を開始し、下にスワイプしてすべてのカテゴリを表示します。
4. 電子メールアドレスの [Home] (ホーム) または [Work] (仕事) など、事前に設定されたラベルが付けられたメニューを開くには、連絡先の項目の右にあるラベルをタッチします。または、独自のラベルを作成するには、メニューで [Custom] (カスタム) をタッチします。
5. [**<- Add New Contact**] (<- 新しい連絡先の追加) をタッチします。

連絡先の編集

1. **連絡先** アプリケーションで、連絡先名をタッチして編集します。
2.  をタッチします。
3. 連絡先情報を編集します。
4. [**<- Edit contact**] (<- 連絡先の編集) をタッチします。

連絡先の削除

1. **連絡先** アプリケーションで、連絡先名をタッチして削除します。
2.  をタッチします。
3. [**Delete**] (削除) をタッチします。
4. [**OK**] をタッチして確定します。

カメラ

このセクションでは、内蔵デジタル カメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。

- ✓ **注** microSD カードが取り付けられている場合、TC56 では、microSD カードに写真とビデオが保存されます。microSD カードが取り付けられていない場合、TC56 では、内部ストレージに写真とビデオが保存されます。

写真の撮影

- ✓ **注** カメラ設定の説明については、[4-11 ページの写真設定](#) を参照してください。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。



図 4-5 カメラ モード

3. 必要に応じて、[Camera Mode] (カメラ モード) アイコンをタッチして、 をタッチします。
4. 被写体を画面のフレームに合わせます。

5. ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するコントロールが画面に表示されます。
6. フォーカスする画面の領域をタッチします。フォーカス用の円が画面に表示されます。フォーカスが合うと、2本のバーが緑色に変わります。
7.  をタッチします。
カメラで写真が撮影され、シャッター音が鳴ります。
撮影した写真は短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

パノラマ写真の撮影

パノラマモードでは、被写体全体をゆっくりパンすることにより、1つの幅広い画像を撮影できます。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。



図 4-6 パノラマモード

3. [Camera Mode] (カメラモード) アイコンをタッチして、 をタッチします。
4. 撮影する被写体の片側をフレームに合わせます。
5.  をタッチして、撮影する領域全体をゆっくりパンします。撮影中は、小さな白い正方形がボタン内に表示されます。
パンの速度が速すぎると、「Too fast」(速すぎます) というメッセージが表示されます。

6.  をタッチして撮影を終了します。ただちにパノラマが表示され、画像の保存中は進捗状況インジケータが表示されます。

ビデオの録画

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. オプションバーをタッチし、 をタッチします。



図 4-7 ビデオ モード

4. カメラとフレームを被写体に向けます。
5. ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するコントロールが画面に表示されます。
6.  をタッチして、録画を開始します。
デバイスがビデオの録画を開始します。ビデオの残り時間が画面の左上に表示されます。
7.  をタッチして、録画を終了します。
撮影したビデオは短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

写真設定

写真モードの場合は、写真設定が画面に表示されます。 をタッチして、写真設定のオプションを表示します。

- **[Flash] (フラッシュ)** - タッチして、カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします。
 -  **[Auto] (自動)** - 露出計に従って、カメラが自動的にフラッシュを調整します (デフォルト)。
 -  **[On] (オン)** - 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
 -  **[Torch] (トーチ)** - 継続的にフラッシュをオンにします。
- **[Picture size] (写真サイズ)** - タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。次のオプションを選択できます。[13M pixels] (13M ピクセル) (デフォルト)、[12M pixels] (12M ピクセル)、[8M pixels] (8M ピクセル)、[Square (1:1)] (スクエア (1:1))、[5M pixels] (5M ピクセル)、[4M pixels (16:9)] (4M ピクセル (16:9))、[3M pixels] (3M ピクセル)、[HD 1080] (HD 1080)、[2M pixels] (2M ピクセル)、[1.5M pixels] (1.5M ピクセル)、[1.3M pixels] (1.3M ピクセル)、[WXGA] (WXGA)、[HD 720] (HD 720)、[1M pixels] (1M ピクセル)、[SVGA] (SVGA)、[WVGA] (WVGA)、[720 x 480] (720 x 480)、[VGA] (VGA)、[CIF] (CIF)、[QVGA] (QVGA)、[QCIF] (QCIF)
- **[Picture quality] (写真画質)** - タッチして、写真画質の設定を選択します。次のオプションを選択できます。[Low] (低)、[Standard] (標準) (デフォルト)、[High] (高)
- **[Countdown timer] (カウントダウンタイマー)** - オプション: [Off] (オフ) (デフォルト)、[2 seconds] (2 秒)、[5 seconds] (5 秒)、[10 seconds] (10 秒)
- **[Storage] (ストレージ)** - タッチして、写真を保存する場所を選択します。次のオプションを選択できます。[Phone] (電話)、[SD Card] (SD カード)
- **[Face Detection] (顔検出)** - 選択すると、顔検出が有効になります。以下のオプションを選択できます。[Off] (オフ) (デフォルト)、[On] (オン)
- **[ISO] (ISO)** - カメラの感光性を設定します。次のオプションを選択できます。[Auto] (自動) (デフォルト)、[ISO Auto (HJR)] (ISO 自動 (HJR))、[ISO100] (ISO100)、[ISO200] (ISO200)、[ISO400] (ISO400)、[ISO800] (ISO800)、[ISO1600] (ISO1600)
- **[Exposure] (露出)** - タッチして、露出設定を調整します。次のオプションを選択できます。[+2]、[+1]、[0] (デフォルト)、[-1]、[-2]
- **[White balance] (ホワイトバランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  **[Auto] (自動)** - ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。
- **[Focus Mode] (フォーカスモード)** - タッチして、カメラのフォーカス設定を選択します。次のオプションを選択できます。[Auto] (自動)、[Infinity] (無限遠)、[Macro] (接写)、[CAF] (CAF) (連続オートフォーカス) (デフォルト)

- **[ZSL] (ZSL)** - ボタンが押されたときに、カメラがただちに写真を撮影するように設定します (デフォルトでは有効)。

ビデオの設定

ビデオ モードの場合は、ビデオ設定が画面に表示されます。 をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

- **[Flash] (フラッシュ)** - タッチして、背面カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします (デフォルト)。
 -  **[Torch] (トーチ)** - 継続的にフラッシュをオンにします。
- **[Video quality] (ビデオ画質)** - タッチして、ビデオ画質を選択します。次のオプションを選択できます。[4k UHD] (4k UHD)、[HD 1080p] (HD 1080p) (デフォルト)、[HD 720p] (HD 720p)、[SD 480p] (SD 480p)、[VGA] (VGA)、[CIF] (CIF)、[QVGA] (QVGA)、[QCIF] (QCIF)
- **[Video duration] (ビデオ持続時間)** - オプション: [30 seconds (MMS)] (30 秒 (MMS))、[10 minutes] (10 分)、[30 minutes] (30 分) (デフォルト)、[no limit] (制限なし)
- **[Storage] (ストレージ)** - タッチして、写真を保存する場所を選択します。次のオプションを選択できます。[Phone] (電話) (デフォルト)、[SD Card] (SD カード)
- **[White balance] (ホワイトバランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  **[Auto] (自動)** - ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。

ギャラリー

- ✓ **注** デバイスでは、jpeg、gif、png、および bmp の画像形式がサポートされています。
デバイスでは、H.263、H.264、および MPEG4 シンプル プロファイルのビデオ形式がサポートされています。
GMS が搭載されている TC56 でのみ使用できます。

ギャラリーを使用して、次を行えます。

- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

ギャラリーには、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

Gallery (ギャラリー) アプリケーションを開くには、 >  の順にタッチするか、Camera (カメラ) アプリケーションで左下のサムネイル画像をタッチします。

デフォルトでは、Gallery (ギャラリー) は [Timeline] (タイムライン) ビューで開きます。

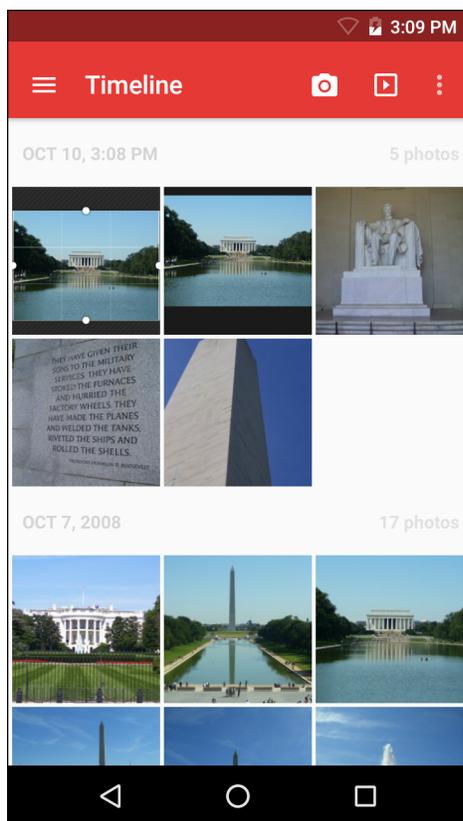


図 4-8 Gallery (ギャラリー) - Timeline (タイムライン) ビュー

☰ > [Albums] (アルバム) の順にタッチして写真をアルバムごとに表示するか、☰ > [Videos] (ビデオ) の順にタッチしてビデオのみを表示します。

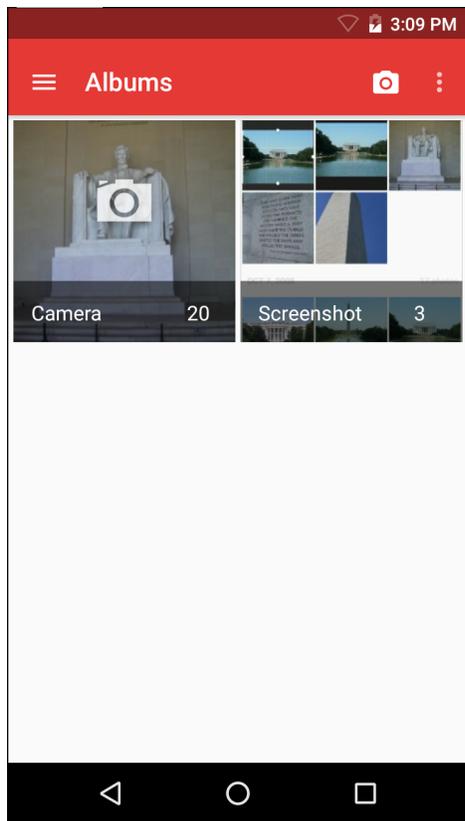


図 4-9 ギャラリー - アルバム

- アルバムにタッチすると、アルバムが開き、コンテンツが表示されます。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真かビデオにタッチすると、それが表示されます。
- ↶ アイコンをタッチすると、メインの [Gallery] (ギャラリー) 画面に戻ります。

アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示で一覧表示されます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。



図 4-10 アルバム内の写真

左右にスワイプすると、画面間で画像をスクロールできます。

アルバムの共有

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてホールドします。
3. 必要に応じて、他のアルバムをタッチします。
4.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。選択したアルバムを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。
5. 選択したアプリケーションの指示に従います。

アルバム情報の取得

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてホールドします。
3.  をタッチします。
4. [Details] (詳細情報) をタッチします。

アルバムの削除

アルバムとその内容を削除するには、次の手順を実行します。

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてホールドします。
3. 削除するその他のアルバムにチェックマークを付けます。その他のアルバムが選択されていることを確認します。
4.  をタッチします。
5. [Delete selected item?] (選択した項目を削除しますか?) メニューで [OK] (OK) をタッチすると、アルバムが削除されます。

写真の処理

ギャラリー を使用して、microSD カード内の写真を表示し、写真の編集および共有を行います。

写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. 写真をタッチします。

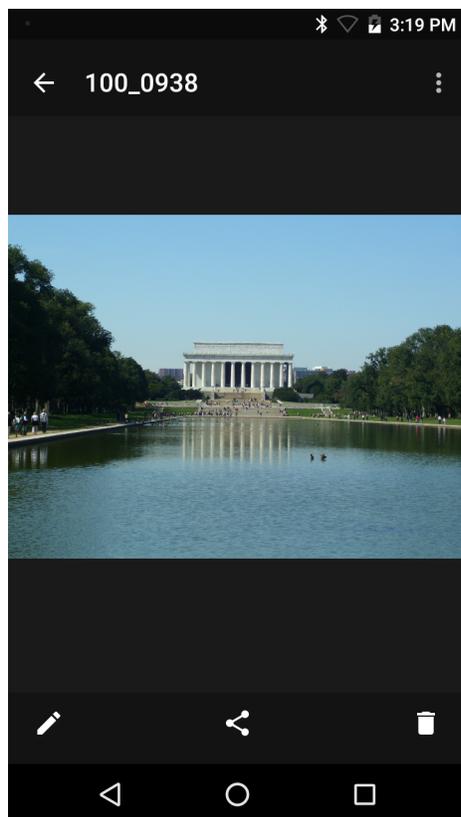


図 4-11 写真の例

4. アルバム内の次の写真または前の写真を表示するには、左または右にスワイプします。
5. デバイスを回転させると、写真が縦向き (ポートレート) または横向き (風景) で表示されます。写真は新しい向きで表示されます (保存は行われません)。
6. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
7. 画面をダブルタップしてズームインするか、2本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。
8. 写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

写真のトリミング

1. ギャラリーで、写真をタッチしてコントロールを表示します。
2.  > **[Crop]** (トリミング) の順にタッチします。トリミング ツールが表示されます。
3. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
 - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。

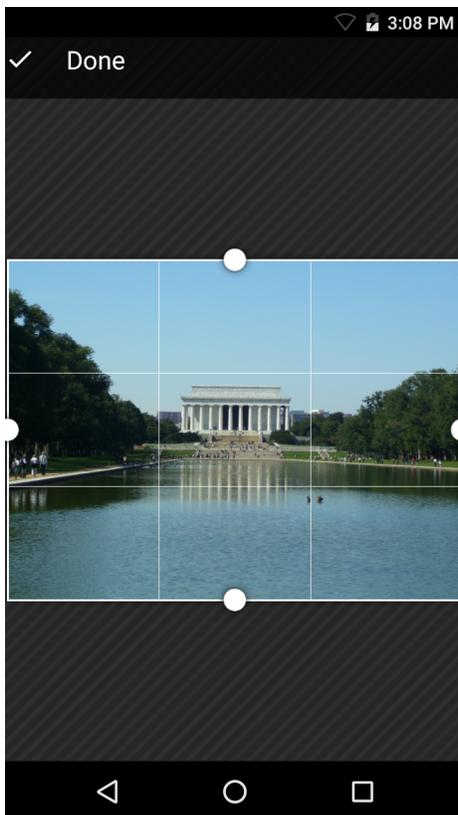


図 4-12 トリミング ツール

4. **[Done]** (完了) をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

連絡先アイコンとしての写真の設定

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. 写真にタッチして、開きます。
4.  をタッチします。
5. **[Set picture as] (写真の設定)** をタッチします。
6. **[Contact photo] (連絡先用の写真)** をタッチします。
7. **[People] (連絡先一覧)** アプリケーションで、連絡先をタッチします。
8. 白いボックスにタッチし、写真を適切にトリミングします。
9. **[Done] (完了)** をタッチします。

写真の共有

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. 写真にタッチして、開きます。
4.  をタッチします。
5. 選択した写真を共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。

写真の削除

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. 写真にタッチして、開きます。
4.  をタッチします。
5. **[Delete] (削除)** をタッチします。
6. **[OK]** をタッチして、写真を削除します。

ビデオの処理

ギャラリーを使用して、ビデオの表示と共有を行います。

ビデオの再生

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. ビデオにタッチします。
4.  をタッチします。ビデオの再生が開始されます。
5. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

ビデオの共有

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. ビデオにタッチして、開きます。
4.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
5. 選択したビデオを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

ビデオの削除

1.  >  の順にタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. ビデオにタッチして、開きます。
4.  をタッチします。
5. [Delete] (削除) をタッチします。
6. [OK] をタッチします。

DataWedge のデモンストレーション

✓ **注** ホーム画面が表示されると DataWedge は有効になっています。この機能を無効にするには、DataWedge 設定画面に移動して、[Launcher] (起動プログラム) プロファイルを無効にします。

データ収集機能のデモンストレーションを実行するには、[DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) を使用します。

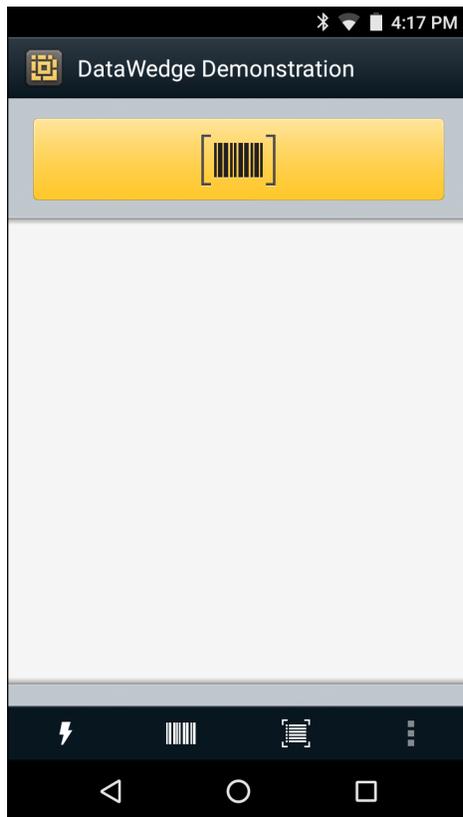


図 4-13 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) ウィンドウ

表 4-2 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン

アイコン	説明
	イメージャを使用してバーコード データを読み取るときに、照明のオンとオフを切り替えます。
	データ収集機能を内部イメージャ、RS507 ハンズフリー Bluetooth イメージャまたは RS6000 リング スキャナ間で切り替えます (接続されている場合)。
	イメージャを使用してバーコード データを収集するとき、通常のスキャン モードとピックリスト モード間で切り替えます。
	アプリケーション情報を表示するため、アプリケーションの DataWedge プロファイルを設定するためのメニューを開きます。

✓ **注** DataWedge 設定の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

データ収集を有効にするには、プログラム可能ボタンを押すか、黄色のスキャン ボタンをタッチします。収集したデータは、黄色のボタンの下にあるテキスト フィールドに表示されます。

サウンド レコーダ

サウンドレコーダを使用して、音声メッセージを録音します。

録音は microSD カード (取り付けられている場合) または内蔵ストレージに保存され、Music (音楽) アプリケーション内の「My Recordings (マイ録音)」というタイトルの再生リストで使用できます。

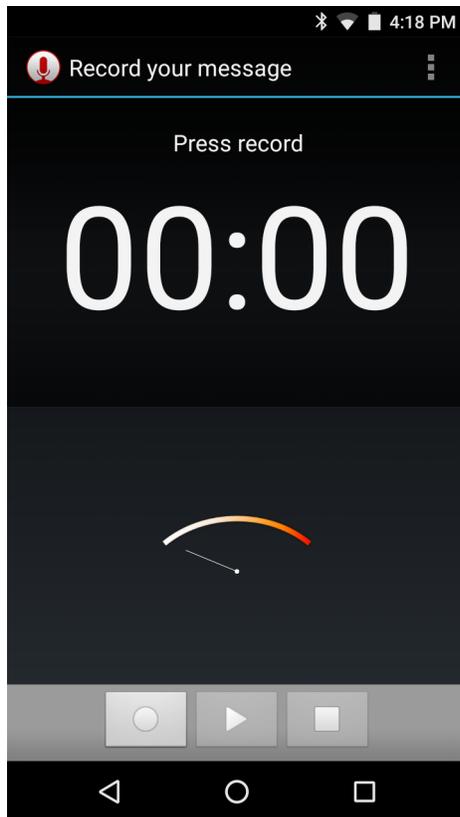


図 4-14 サウンドレコーダアプリケーション

PTT Express Voice Client

✓ **注** PTT Express Voice Client には、個別のエンタープライズ デバイス間でプッシュトゥトーク (PTT) 通信を行う機能があります。PTT Express は、既存の無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしでシンプルな PTT 通信機能を提供します。

- **グループ通話**: 他の音声クライアント ユーザーとの通信を開始するには、PTT ボタンを押してホールドします。
- **プライベート応答**: 直前のブロードキャストの発信元に応答したり、プライベート応答を行ったりするには、PTT ボタンを 2 回押します。

PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン**: 2 回鳴ります。[Talk] (送信) ボタンを押すと再生されます。これは、通話の開始をユーザーに要求します。
- **アクセス トーン**: 1 回のビーブ音です。別のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了したときに再生されます。これで、ユーザーはグループ ブロードキャストまたはプライベート応答を開始できるようになります。
- **ビジー トーン**: 連続的に鳴ります。[Talk] (送信) ボタンを押すと再生され、同じトークグループで別のユーザーがすでに通信を開始しています。許容される最大送信時間 (60 秒) の経過後に再生されます。
- **ネットワーク トーン**:
 - 徐々に高くなるビーブ音が 3 回鳴ります。PTT Express が WLAN 接続を取得し、サービスが有効になると、再生されます。
 - 徐々に低くなるビーブ音が 3 回鳴ります。PTT Express の WLAN 接続が切断されるか、サービスが無効になると、再生されます。



図 4-15 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェース

表 4-3 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

項目	説明
通知アイコン	PTT Express クライアントの現在の状態を示します。
サービス状態の表示	PTT Express クライアントのステータスを示します。次のオプションを選択できます。 [Service Enabled] (サービスが有効)、[Service Disabled] (サービスが無効)、 [Service Unavailable] (サービスが利用不可)
トーク グループ	PTT 通信で利用可能な 32 のトーク グループすべてのリストを表示します。
設定	[PTT Express Settings] (PTT Express 設定) 画面を開きます。
有効化/無効化スイッチ	PTT サービスをオンまたはオフにします。

通知アイコン

PTT Express Voice クライアントの現在の状態を示します。

表 4-4 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

ステータス アイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントが無効であることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、WLAN に接続されていないことを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループをリスンしていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループと通信を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、プライベート応答を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、ミュートになっていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、VoIP テレフォニー コールが進行中であるため通信できないことを示します。

PTT 通信の有効化

-  をタッチします。
-  をタッチします。
- [Enable/Disable Switch] (スイッチの有効/無効)** を **[ON] (オン)** の位置にスライドします。ボタンが **[ON] (オン)** ボタンに変わります。

トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、デバイスで一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。32 のトーク グループのいずれか 1 つをタッチします。選択したトーク グループが強調表示されます。

PTT 通信

 **注** このセクションでは、デフォルトの PTT Express クライアント設定について説明します。クライアントの使用に関する詳細については、『PTT Express V1.2 User Guide』を参照してください。

PTT 通信は、グループ通話として確立されます。PTT Express が有効になると、デバイスの左側の PTT ボタンが PTT 通信に割り当てられます。有線ヘッドセットを使用する場合は、ヘッドセットの [Talk] (送信) ボタンを押して、グループ通話を開始することもできます。

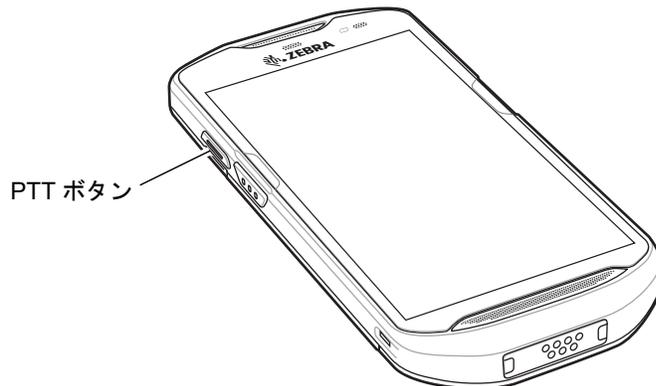


図 4-16 PTT ボタン

グループ通話の作成

1. PTT ボタン (またはヘッドセットの [Talk] (送信) ボタン) を押したままにすると、トーク トーンが再生されます。ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
2. トーク トーンが再生されたら、通話を開始します。

✓ **注** ボタンを 60 秒 (デフォルト) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ通話を開始できるようになります。通話が終わったら、ユーザーはボタンを放して他のユーザーが通話を開始できるようにする必要があります。

3. 通話が終わったら、ボタンを放します。

プライベート応答での応答

プライベート応答を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。最初のプライベート応答は、グループ通話の発信元に対して実行されます。

1. アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
2. 10 秒以内に PTT ボタンを 2 回押して、トーク トーンを聞きます。
3. ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
4. トーク トーンが再生されたら、通話を開始します。
5. 通話が終わったら、ボタンを放します。

PTT Express Voice Client 通信の無効化

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. 有効化/無効化スイッチを [OFF] (オフ) の位置にスライドします。ボタンが [OFF] (オフ) に変わります。
4.  をタッチします。

RxLogger

RxLogger は総合的な診断ツールであり、アプリケーションとシステムの測定値を示します。このツールを使用してカスタム プラグインを作成し、シームレスに作業を進めることができます。デバイスとアプリケーションの問題を診断するには、RxLogger を使用します。情報追跡には、CPU 負荷、メモリ負荷、メモリのスナップショット、バッテリー消費、電源の状態、無線ロギング、セルラ ロギング、TCP ダンプ、Bluetooth ロギング、GPS ロギング、LogCat、FTP プッシュ/プル、ANR ダンプなどが含まれます。作成されたログやファイルはすべて、デバイスのフラッシュストレージ (内部または外部) に保存されます。

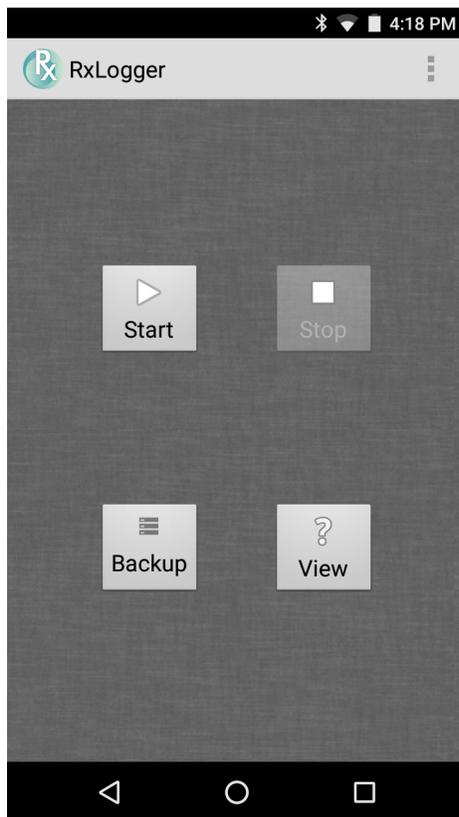


図 4-17 RxLogger

Elemez

✓ **注** Elemez は、バックグラウンドで特定のデバイス情報を収集し、製品機能の向上に役立てる目的でその情報を Zebra に送信します。この機能は無効にできます。[4-28 ページの Elemez データ収集の無効化](#)を参照してください。

Elemez を使用して、診断情報を Zebra に送信します。**[Submit Diagnostics] (診断の送信)** ボタンをタッチしてデータを送信します。

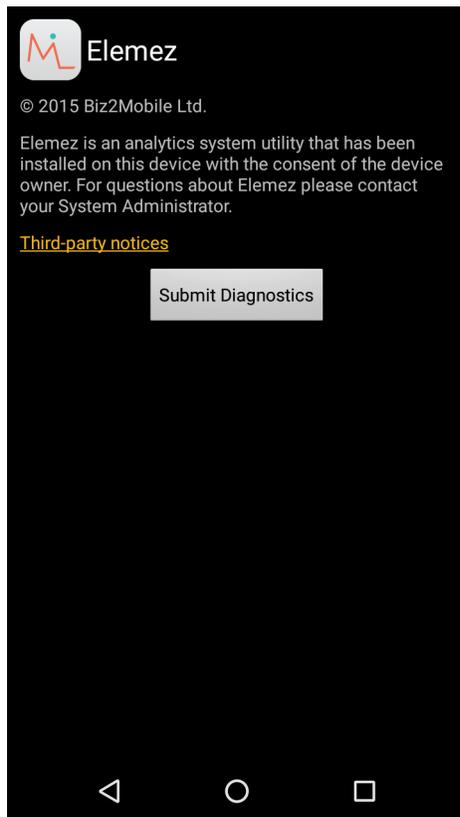


図 4-18 Elemez アプリケーション

Elemez データ収集の無効化

バックグラウンドで特定のデータを収集して Zebra Technologies に送信する **Elemez** アプリケーションは、無効化することができます。

1. ホーム画面で、 をタッチします。
2. **[Apps] (アプリ)** をタッチします。
3. リストをスクロールし、**[Elemez]** をタッチします。
4. **[FORCE STOP] (強制終了)** をタッチします。
5. **[OK]** をタッチします。
6. **[Disable] (無効化)** をタッチします。

7. **[DISABLE APP] (アプリを無効化)** をタッチします。
8. **[OK]** をタッチします。
9.  をタッチします。

Elemez データ収集の有効化

Elemez アプリケーションを再び有効化して、バックグラウンドで特定のデータを収集し、Zebra Technologies に送信するように設定できます。

1. ホーム画面で、 をタッチします。
2. **[Apps] (アプリ)** をタッチします。
3. リストをスクロールし、**[Elemez]** をタッチします。
4. **[有効化]** をタッチします。
5.  をタッチします。
6.  をタッチします。
7.  をタッチします。
8. **[Enable Elemez] (Elemez の有効化)** をタッチします。

第 5 章 データ収集

TC56 は以下を使用するデータ収集をサポートしています。

- 内蔵イメージャ
- RS507 ハンズフリー イメージャ
- RS6000 Bluetooth リング スキャナ
- DS3678 デジタル スキャナ

イメージング

2D イメージャ搭載の TC56 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボル体系の無指向読み取り
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザー照準機能

イメージャは、イメージングの技術を使用してバーコードの画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からバーコード データを抽出します。

動作モード

内蔵イメージャ搭載の TC56 は、次の 2 つの動作モードをサポートしています。各モードは、[Scan] (スキャン) ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード:** このモードでは、TC56 は読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。



注 ピック リスト モードを有効にするには、DataWedge で構成するか、API コマンドを使用してアプリケーション内で設定します。

- **ピック リスト モード:** このモードでは、TC56 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取れます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字またはドットを合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。

RS507 ハンズフリー イメージャ

RS507 ハンズフリー イメージャは、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。



図 5-1 RS507 ハンズフリー イメージャ

詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

RS6000 Bluetooth リング スキャナ

RS6000 Bluetooth リング スキャナは、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。

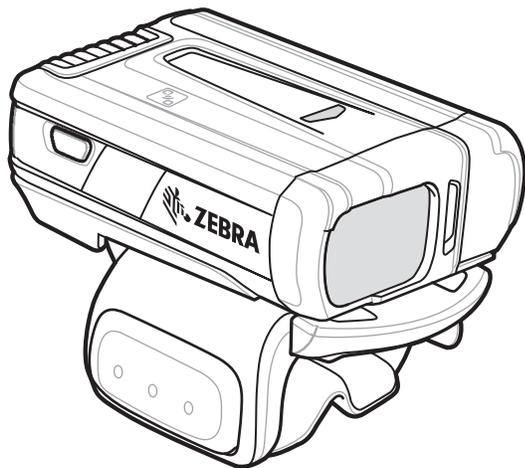


図 5-2 RS6000 Bluetooth リング スキャナ

詳細については、『RS6000 Bluetooth Ring Scanner Product Reference Guide』を参照してください。

DS3678 デジタル スキャナ

コードレス DS3678 は、一次元と二次元のバーコードの高度なオムニ スキャン パフォーマンスを備え、軽量設計のうえ高度な人間工学に基づいています。

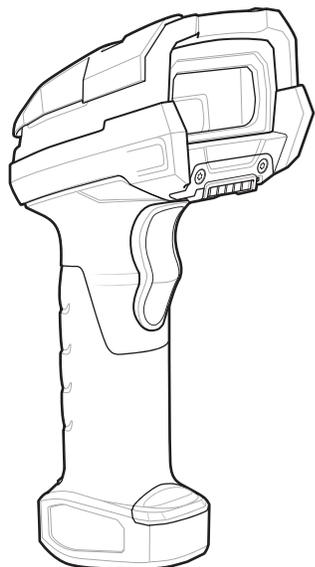


図 5-3 DS3678 デジタル スキャナ

詳細については、『DS36X8 Digital Scanner Product Reference Guide』を参照してください。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- **範囲:** スキャン デバイスは、特定の読み取り範囲 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲) 内にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- **角度:** スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できるようになります。
- 大きなシンボルの場合は、TC56 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、TC56 を近づけてください。

✓ **注** スキャン手順は、アプリケーションと TC56 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

内部イメージャを使用したバーコードのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC56 には、ユーザーがイメージャでバーコード データをデコードしたり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションがあります。

1. アプリケーションが TC56 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. TC56 の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。

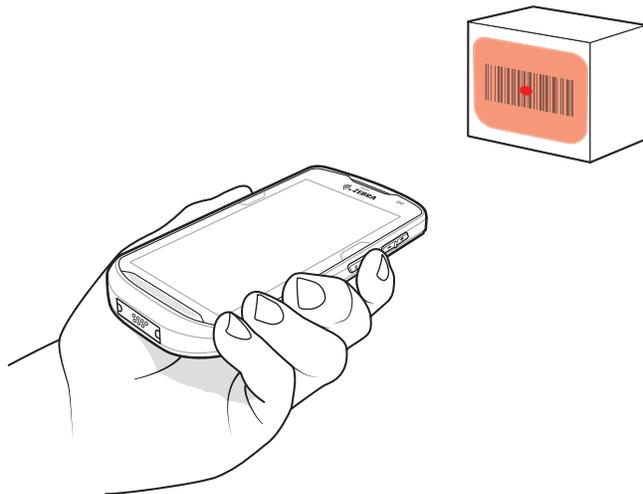


図 5-4 イメージャ スキャン

3. スキャン ボタンを押し続けます。
照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。

✓ **注** TC56 がピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性を向上するために使用されます。

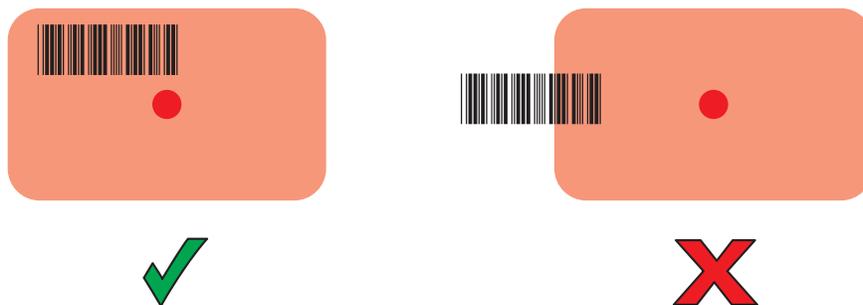


図 5-5 照準パターン

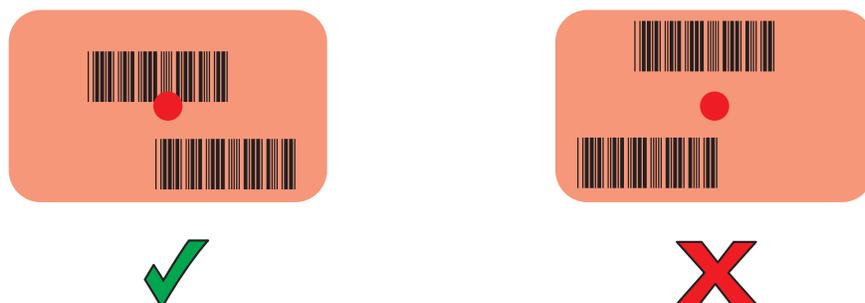


図 5-6 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを放します。

✓ **注** イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、TC56 がデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

RS6000 Bluetooth リング スキャナを使用したバーコード データの収集

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC56 に含まれている **DataWedge** アプリケーションを使用して、スキャナでバーコード データをデコードしたり、バーコード コンテンツを表示したりできます。DataWedge の起動方法の詳細については、[4-20 ページの DataWedge のデモンストレーション](#)を参照してください。

RS6000 を TC56 とペアリングします。詳細については、[5-11 ページの Simple Serial Interface を使用してペアリングする](#)または[5-12 ページの Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする](#)を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. RS6000 をバーコードに向けます。

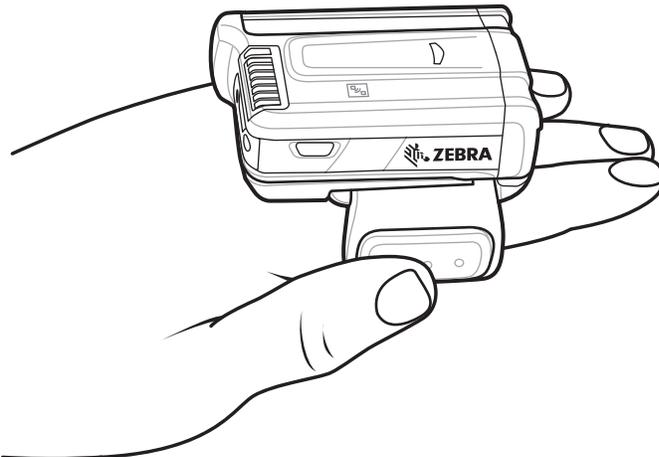


図 5-7 RS6000 を使用したバーコードのスキャン

3. トリガを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

RS6000 LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS6000 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS6000 はバーコードを読み取りません。

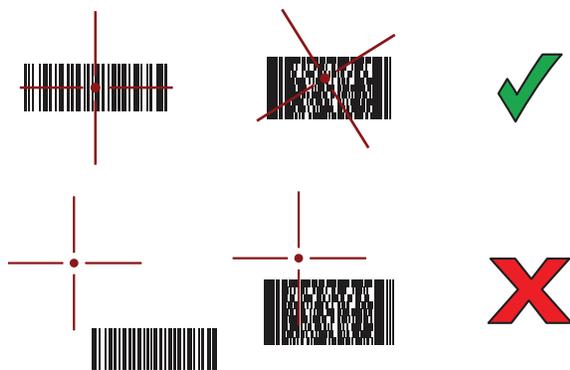


図 5-8 照準パターン



図 5-9 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

4. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り

RS507 を TC56 とペアリングします。詳細については、[5-9 ページの RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング](#) を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. RS507 をバーコードに向けます。

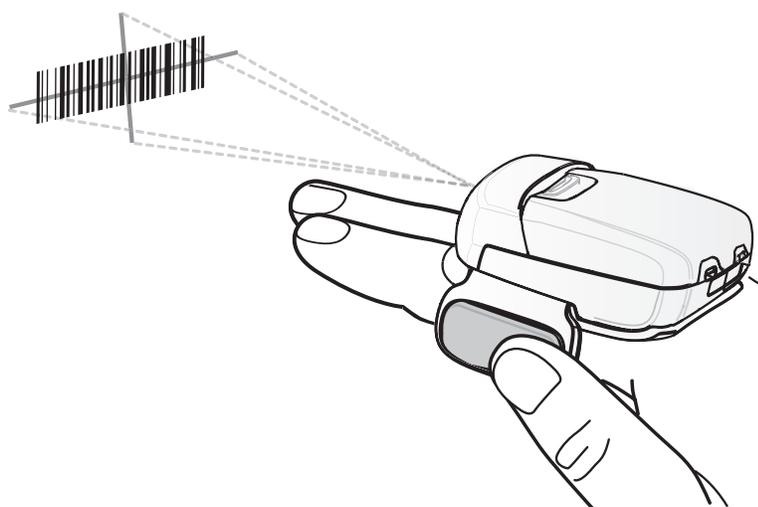


図 5-10 RS507 を使用したバーコードのスキャン

3. トリガを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。RS507 LED が緑色に点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS507 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS507 はバーコードを読み取りません。

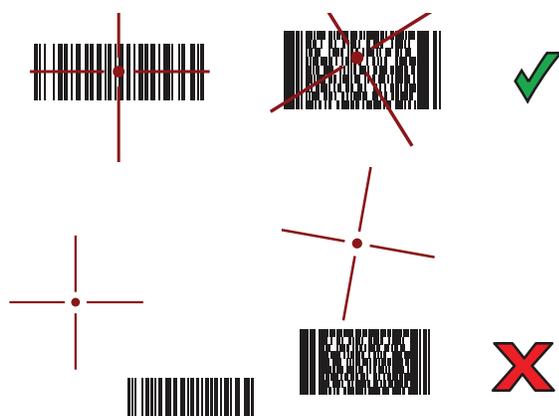


図 5-11 照準パターン



図 5-12 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

4. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

DS3678 Bluetooth スキャナを使用したバーコード データの収集

DS3678 を TC56 とペアリングします。詳細については、[5-13 ページの DS3678 デジタル スキャナをペアリングする](#)を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. DS3678 をバーコードに向けます。

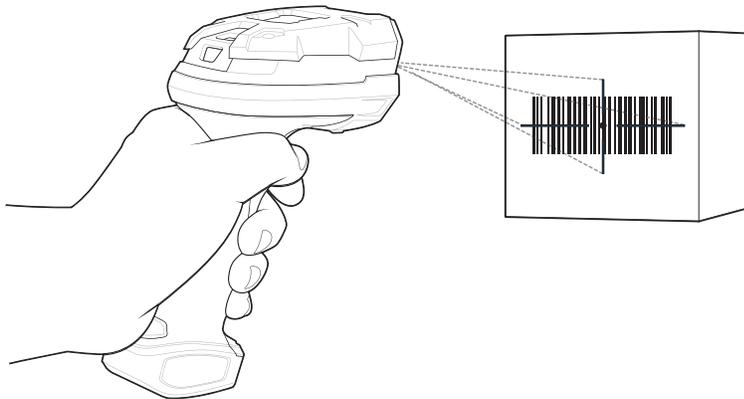


図 5-13 DS3678-HP を使用したバーコードのスキャン

3. トリガを押し続けます。

読み取りが成功すると、スキャナはビープ音を鳴らし、LED が 1 回緑色に点滅します。

DS3678 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまでスキャナはバーコードを読み取りません。

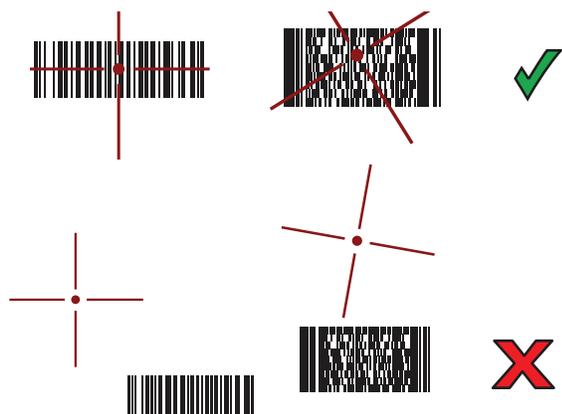


図 5-14 照準パターン



図 5-15 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

4. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング

以下のいずれかの方法により、RS507/RS6000 イメージャを TC56 に接続します。

- Near Field Communication (NFC) (RS6000 のみ)
- Simple Serial Interface (SSI)
- Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モード

Near Field Communication を使用してペアリングする

TC56 は、NFC を使用して RS6000 をペアリングする機能を提供します。

✓ **注** RS6000 のみ。

1. RS6000 が SSI モードになっていることを確認します。詳細については、『RS6000 User Guide』を参照してください。
2. NFC が TC56 で有効になっていることを確認します。
3. RS6000 の NFC アイコンと TC56 のバッテリーの NFC アイコンを合わせます。

RS6000 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

TC56 の画面に通知が表示されます。

 アイコンがステータス バーに表示されます。

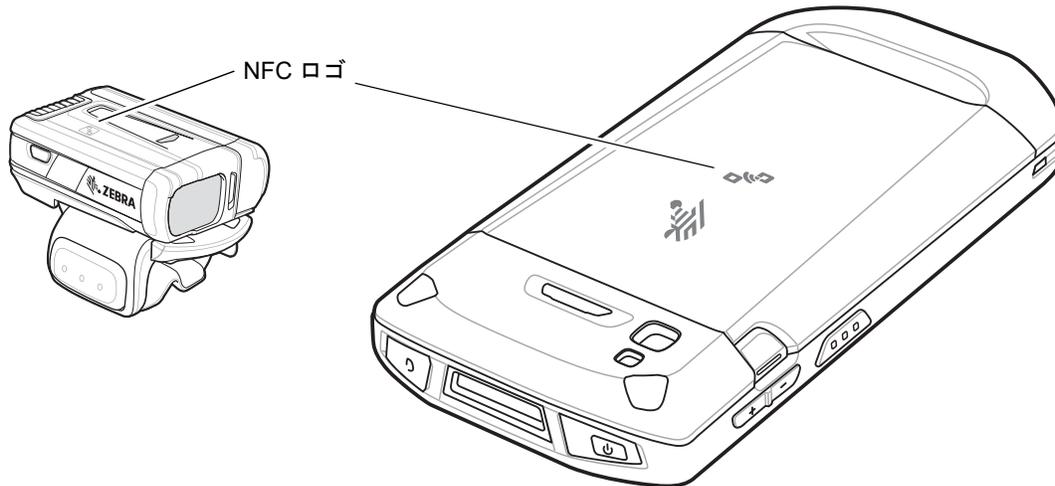


図 5-16 NFC アンテナを合わせる

ステータス バーに、RS6000 とペアリングした TC56 と  が表示されます。

✓ **注** すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

HID モードで Near Field Communication を使用してペアリングする

TC56 は、HID モードで NFC を使用して RS6000 をペアリングする機能を提供します。

✓ **注** RS6000 のみ。

1. NFC が TC56 で有効になっていることを確認します。
2. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
3. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
4. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
5. RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS6000 がすでに HID モードである場合は、手順 5 に進みます。
 - a. バッテリーを RS6000 から取り出します。
 - b. [Restore] (復元) キーを押し続けます。
 - c. バッテリーを RS6000 に取り付けます。
 - d. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。

- e. 以下のバーコードをスキャンして、RS6000 を HID モードに設定します。



図 5-17 Bluetooth HID バーコード

6. バッテリーを RS6000 から取り出します。
7. バッテリーを RS6000 に再度取り付けます。
8. RS6000 の NFC アイコンと TC56 の NFC アイコンを合わせます。

RS6000 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

TC56 の画面に通知が表示されます。

 アイコンがステータス バーに表示されます。

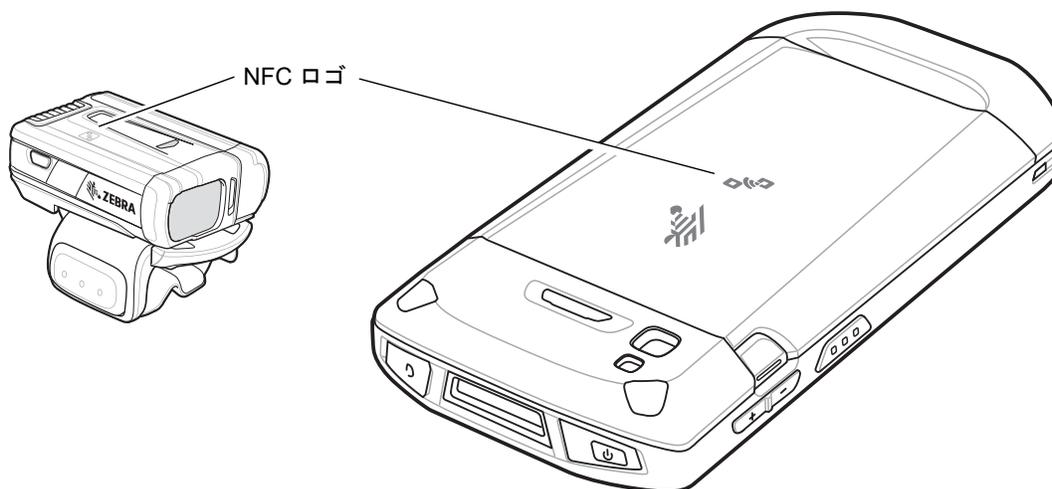


図 5-18 NFC アンテナを合わせる

ステータス バーに、RS6000 とペアリングした TC56 と  が表示されます。

✓ **注** すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

Simple Serial Interface を使用してペアリングする

SSI を使用して RS507/RS6000 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
2. RS507/RS6000 にバッテリーを取り付けます。
3. TC56 で  >  の順にタッチします。



図 5-19 Bluetooth Pairing Utility (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)

4. RS507/RS6000 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS507/RS6000 で、高いビープ音と低いビープ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507/RS6000 が TC56 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507/RS6000 で、低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

5. TC56 で、○ をタッチします。

Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする

HID を使用して RS507/RS6000 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. RS507/RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507/RS6000 がすでに HID モードである場合は、手順 5 に進みます。
 - a. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
 - b. [Restore] (復元) キーを押し続けます。
 - c. バッテリーを RS507/RS6000 に取り付けます。

- d. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
- e. 以下のバーコードをスキャンして、RS507/RS6000 を HID モードに設定します。



図 5-20 Bluetooth HID バーコード

5. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
6. バッテリーを RS507/RS6000 に再度取り付けます。
7. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
8.  [Bluetooth] をタッチします。
9. [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスがあるか検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
10. リストをスクロールし、RS507/RS6000 を選択します。

デバイスは RS507/RS6000 に接続し、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

DS3678 デジタル スキャナをペアリングする

Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードを使用して、DS3678 デジタル スキャナを TC56 に接続します。

Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする

HID を使用して DS3678 を TC56 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. バッテリーを DS3678 スキャナから取り出します。
2. バッテリーを交換します。
3. DS3678 を再起動後、以下のバーコードをスキャンして、DS3678 を HID モードに設定します。



図 5-21 HID Bluetooth クラシック バーコード

4. TC56 では、ステータス バーから 2本の指で下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
5.  [Bluetooth] (Bluetooth) をタッチします。

6. **[SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン)** をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスがあるか検索が開始され、**[Available devices] (使用可能なデバイス)** にデバイスのリストが表示されます。
7. リストをスクロールして DS3678 xxxxxx (xxxxxx はシリアル番号) を選択します。
デバイスは DS3678 に接続され、DS3678 が ビープ音を 1 回鳴らし、デバイス名の下に **[Connected] (接続済み)** が表示されます。Bluetooth デバイスが **[Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス)** リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

DataWedge

DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。これはバックグラウンドで実行され、組み込み型のバーコード スキャナへのインターフェースを処理します。収集されたバーコード データはキーストロークに変換され、キーパッドで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge を設定するには、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

DataWedge の有効化

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3.  をタッチします。
4. **[Settings] (設定)** をタッチします。
5. **[DataWedge enabled] (DataWedge の有効化)** チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。これは、DataWedge が有効になったことを示します。
6.  をタッチします。

DataWedge の無効化

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3.  をタッチします。
4. **[Settings] (設定)** をタッチします。
5. **[DataWedge enabled] (DataWedge の有効化)** チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消えます。これは、DataWedge が無効になったことを示します。
6.  をタッチします。

第 6 章 無線

このセクションでは、次の無線機能について説明します。

- 無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN)
- 無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN)
- Bluetooth
- Near Field Communications (NFC)

無線ワイド エリア ネットワーク

携帯電話ネットワーク経由でデータにアクセスするには、無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN) を使用します。このセクションでは、次について説明します。

- データ接続の共有
- 携帯電話ネットワーク設定の変更
- SIM カードのロック
- データ使用量の監視

モバイル データ 接続の共有

[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) 設定を使用すると、データ接続を共有できます。TC56 のモバイル データ接続を USB のテザリングまたは Bluetooth のテザリング経由で 1 台のコンピュータと共有できます。ポータブル Wi-Fi ホットスポットにすることにより、最大 8 台のデバイスと同時にデータ接続を共有できます。TC56 がデータ接続を共有している間、画面の上部にアイコンが表示され、通知リストに関連メッセージが表示されます。

USB テザリング

✓ **注** USB テザリングは、Mac OS を実行するコンピュータではサポートされていません。使用中のコンピュータで Windows 7 または最近のバージョンの Linux (Ubuntu など) を実行している場合は、特別な準備は必要なく、次の手順に従ってください。Windows 7 より前のバージョンの Windows や、他のオペレーティング システムを使用している場合は、USB 経由でネットワーク接続を確立できるようにコンピュータを準備する必要が生じることがあります。

1. USB ケーブルを使用し、TC56 をホスト コンピュータに接続します。
画面の上部に USB アイコンが表示され、**[Connected as a media device] (メディア デバイスとして接続されました)** または **[Connected as a camera] (カメラとして接続されました)** という通知が画面の上部に表示されます。
2. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
3. **[More ...] (詳細)** をタッチします。
4. **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。
5. **[USB tethering] (USB テザリング)** スイッチをタッチして有効にします。

これで、ホスト コンピュータは TC56 のデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、**[USB tethering] (USB テザリング)** スイッチをもう一度タッチするか、USB ケーブルを取り外します。

Bluetooth テザリング

Bluetooth テザリングを使用して、ホスト コンピュータとデータ接続を共有します。

Bluetooth を使用してネットワーク接続を取得するようにホスト コンピュータを設定します。詳細については、ホスト コンピュータのマニュアルを参照してください。

1. TC56 をホスト コンピュータとペアリングします。
2. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
3. **[More ...] (詳細)** をタッチします。
4. **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。
5. **[Bluetooth tethering] (Bluetooth テザリング)** スイッチをタッチして有効にします。

これで、ホスト コンピュータは TC56 のデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、**[Bluetooth tethering] (Bluetooth テザリング)** スイッチをもう一度タッチします。

ポータブル Wi-Fi ホットスポット

Wi-Fi ホットスポットを設定します。

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...] (詳細)** をタッチします。
3. **[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット)** をタッチします。
4. **[Portable Wi-Fi hotspot] (ポータブル Wi-Fi ホットスポット)** スイッチをタッチして有効にします。

しばらくすると、TC56 が Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを開始し、最大 8 台のコンピュータまたはその他のデバイスに接続できます。[Hotspot] (ホットスポット) (📶) アイコンがステータス バーに表示されます。

データ接続の共有を停止するには、[Portable Wi-Fi hotspot] (ポータブル Wi-Fi ホットスポット) スイッチをもう一度タッチします。

Wi-Fi ホットスポットの設定

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. [More ...] (詳細) をタッチします。
3. [Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブルホットスポット) をタッチします。
4. [Set up Wi-Fi hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定) をタッチします。

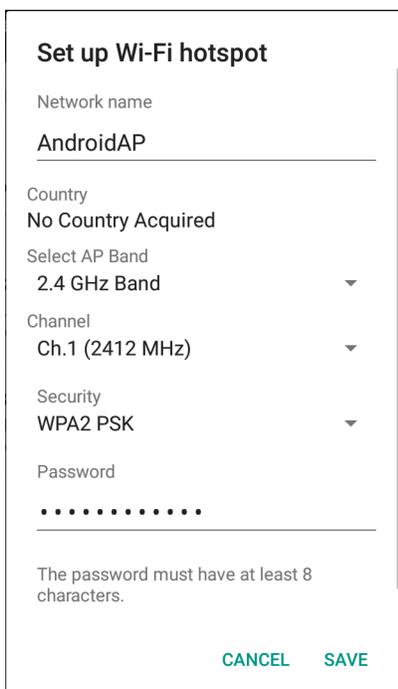


図 6-1 [Setup Wi-Fi Hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定) ダイアログボックス

5. [Network name] (ネットワーク名) テキスト フィールドで、ホットスポットの名前を編集します。
6. [Select AP Band] (AP 帯域幅を選択) ドロップダウン リストから、[2.4GHz Band] (2.4Ghz 帯) を選択します。
7. [Channel] (チャンネル) オプションをタッチして、ドロップダウン リストからチャンネル番号を選択します。
8. [Security] (セキュリティ) オプションをタッチして、ドロップダウン リストからセキュリティの方法を選択します。
 - [None] (なし)
 - [WPA2 PSK] (WPA2 PSK)
9. [Password] (パスワード) テキスト フィールドに、パスワードを入力します。

✓ 注 [Security] (セキュリティ) オプションで [None] (なし) を選択した場合、パスワードは要求されません。

10. [Save] (保存) をタッチします。

携帯電話ネットワークの設定

ローミング中のデータの無効化

キャリアのネットワークがカバーするエリアを離れたとき、デバイスが他のキャリアのモバイル ネットワーク経由でデータを転送しないようにするには、次の手順に従います。サービス プランにデータ ローミングが含まれていない場合に経費を制御するのに役立ちます。

CDMA デバイス

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...] (詳細)** をタッチします。
3. **[Cellular networks] (携帯電話ネットワーク)** をタッチします。
4. **[Data roaming access] (データ ローミング アクセス)** をタッチします。

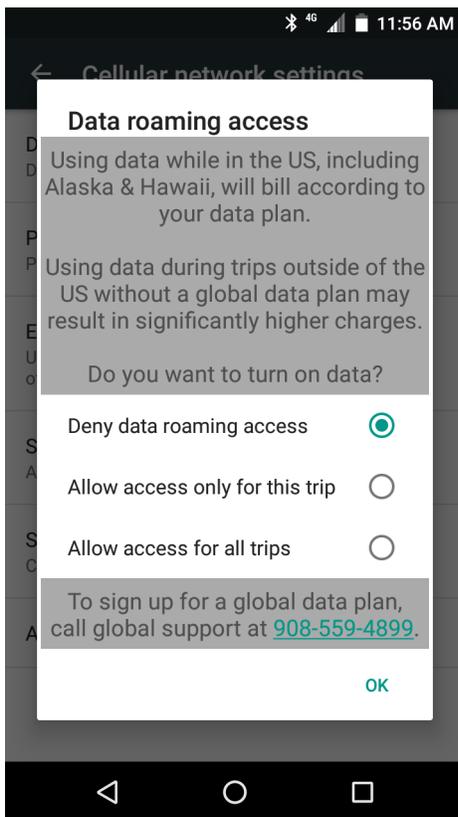


図 6-2 [Data Roaming Access] (データ ローミング アクセス) ダイアログ ボックス

5. ローミング オプションを選択して、**[OK]** をタッチします。

GSM デバイス

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Data roaming access]** (データ ローミング アクセス) をタッチします。
5. **[Data roaming]** (データ ローミング) スイッチをオフの位置にスライドさせます。

Preferred Network Type (優先されるネットワーク タイプ)

ネットワーク動作モードを変更するために使用します。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular Networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Preferred Network Type]** (優先されるネットワーク タイプ) をタッチします。
5. **[Preferred network type]** (優先されるネットワーク タイプ) ダイアログ ボックスで、デフォルトとして設定するモードを選択します。次のオプションを選択できます。**[LTE only]** (LTE のみ)、**[Automatic]** (自動)、または **[CDMA only]** (CDMA のみ)。
6. をタッチします。

強化された 4G LTE モード

音声通信または他の通信の性能を向上させるには、LTE サービスを使用します。このサービスは、デフォルトでは無効になっています。

Search for MicroCell (マイクロセルの検索)

マイクロセルは、建物や住宅内で小さな携帯電話基地局のように動作し、既存のブロードバンド インターネット サービスに接続します。マイクロセルを使用すると、音声通話、テキスト、携帯電話のデータアプリケーション (画像メッセージ、Web サーフィンなど) 使用時の携帯電話信号のパフォーマンスが向上します。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular Networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Search for MicroCell]** (マイクロセルの検索) をタッチします。

System Select (システム選択)

[System select] (システム選択) を使用して、CDMA ローミング モードを変更します。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular Networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[System select]** (システム選択) をタッチします。

5. **[System select] (システム選択)** ダイアログ ボックスで、モードを選択します。以下のオプションがあります。
 - **[Home only] (ホームのみ)** - ホーム ネットワークからローミングしません。
 - **[Automatic] (自動)** - 自動ローミングを許可します。
6. をタッチします。

アクセス ポイント名の編集

- ✓ **注** 多数のサービス プロバイダのアクセス ポイント名 (APN) データが事前にデバイスで設定されています。その他すべてのサービス プロバイダの APN 情報は、ワイヤレス サービス プロバイダから取得する必要があります。

ネットワークでデータを使用するには、APN 情報を設定する必要があります。

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[More ...] (詳細)** をタッチします。
3. **[Cellular networks] (携帯電話ネットワーク)** をタッチします。
4. **[Access Point Names] (アクセス ポイント名)** をタッチします。
5. リストの APN 名をタッチして既存の APN を編集するか、 をタッチして新しい APN を作成します。
6. 各 APN 設定をタッチして、ワイヤレス サービス プロバイダから取得した適切な情報を入力します。
7. 完了したら、 をタッチします。
8. **[Save] (保存)** をタッチします。
9. APN 名の横にあるラジオ ボタンをタッチすると、その名前の使用を開始することができます。
10. をタッチします。

SIM カードのロック

SIM カードをロックすると、デバイスの電源をオンにするたびに PIN の入力が必要になります。正しい PIN が入力されない場合は、かけられるのは緊急電話のみになります。

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Security] (セキュリティ)** () をタッチします。
3. **[Set up SIM/RUIM card lock] (SIM/RUIM カードのロックの設定)** をタッチします。
4. **[Lock SIM card] (SIM カードのロック)** をタッチします。

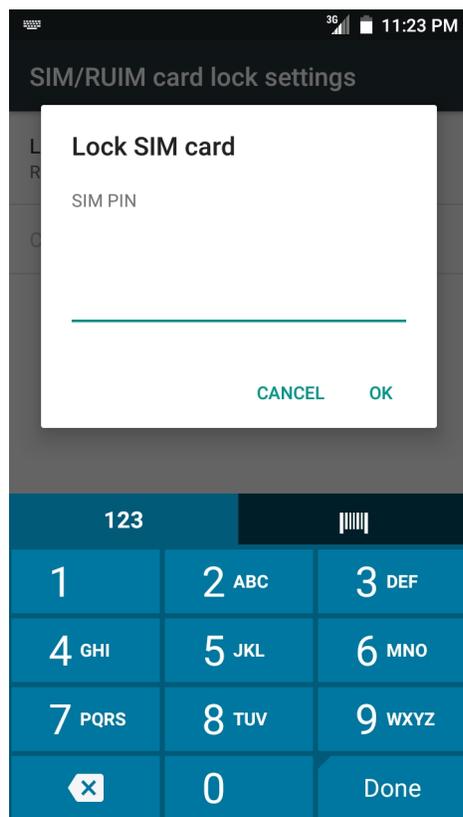


図 6-3 SIM カードをロックする PIN の入力

5. カードと関連づけられている PIN を入力します。[OK] をタッチします。
6. デバイスをリセットします。

データ使用量

1. データ使用量とは、所定の期間内に TC56 によってアップロードまたはダウンロードされたデータの量を指します。無線通信のプランに応じて、データ使用量がプランの制限を超えると、追加料金が請求される場合があります。データ使用量を監視するには、2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。



注意 データ使用量設定画面に表示される使用量は、ご使用のデバイスにより測定されたものです。ご使用のキャリアのデータ使用量のアカウントリングは異なる場合があります。使用量がキャリアのプランのデータ制限を超えた場合、大幅に料金が超過する可能性があります。ここで説明する機能は、使用量の追跡には役立ちますが、追加料金が発生しないことを保証するものではありません。

データ使用量設定では、以下のことが可能です。

- 警告を受信するデータ使用量レベルを設定する。
- データ使用量の制限を設定する。
- アプリごとにデータ使用量を表示または制限する。
- モバイルホットスポットを識別し、追加料金が発生する可能性があるバックグラウンドのダウンロードを制限する。

デフォルトでは、データ使用量設定画面を開くとモバイル データ、つまりデータ ネットワークや、キャリアが提供するネットワーク用の設定が表示されます。

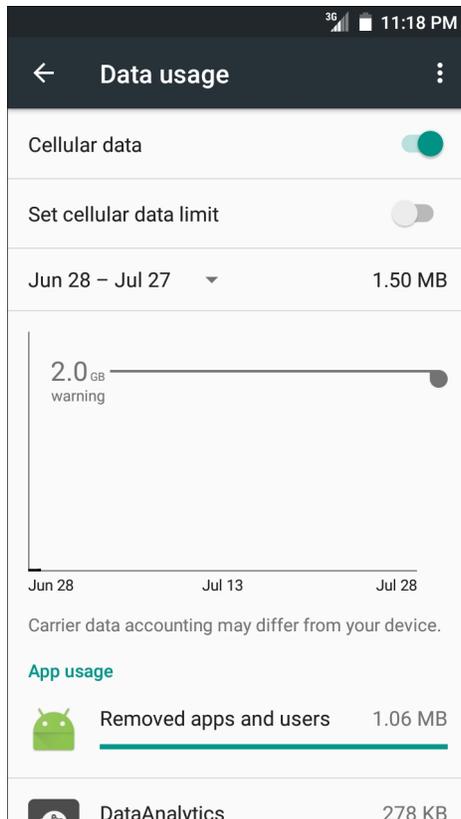


図 6-4 [Data Usage] (データ使用量) 画面

Wi-Fi データ使用量設定を別のタブで表示するには、☰ > **[Show Wi-Fi] (Wi-Fi の表示)** の順にタッチします。

オン/オフ スイッチのすぐ下にある、データ使用量サイクルに注意してください。タッチすると、別のサイクルを選択できます。このデータ範囲は、グラフがデータ使用量を表示する期間です。

グラフにある白い縦線は、データ使用量サイクル内の期間を示します。この範囲により、グラフのすぐ下に表示されている使用量が決定されます。期間を変更するには、線をドラッグします。

データ使用量の警告の設定

オレンジ色の線の右側を、警告が出されるレベルまでドラッグします。データ使用量がこのレベルに達すると通知を受けます。

自動同期の設定

また、自動同期を利用せずに、データが必要なときのみ、手動でアプリを同期して、データ使用量を抑えることもできます。自動同期をオフまたはオンにするには、☰ > **[Restrict background data] (バックグラウンドデータの制限)** の順にタッチします。

無線ローカル エリア ネットワーク

無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、TC56 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で TC56 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと TC56 を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks] (無線とネットワーク)** 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように TC56 を設定してください。

TC56 は、次の WLAN セキュリティ オプションをサポートします。

- Open (オープン)
- Wireless Equivalent Privacy (WEP)
- Wi-Fi Protected Access (WPA)/WPA2 Personal (PSK)
- Extensible Authentication Protocol (EAP)

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、Status Bar を参照してください。

✓ **注** 使用しないときは Wi-Fi をオフにすると、バッテリーの消費を避けられます。

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開きます。

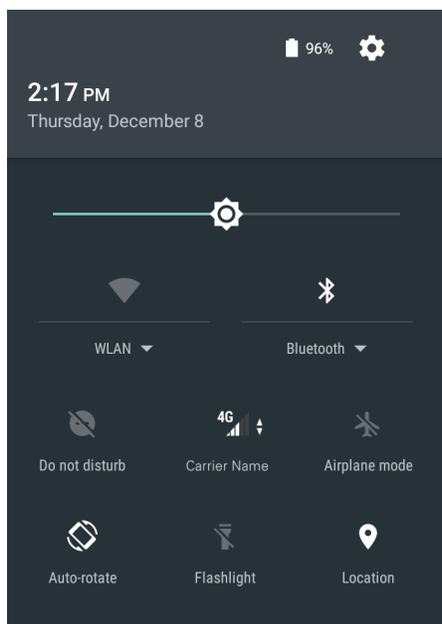


図 6-5 クイック アクセス パネル

2. **[WLAN] (WLAN)** をタッチして **[WLAN] (WLAN)** 画面を開きます。TC56 はエリア内の WLAN を検索して一覧表示します。



図 6-6 **[WLAN] (WLAN)** 画面

3. リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
4. オープン ネットワークの場合は、プロフィールを一度タッチするか、または押し続けてから **[Connect to network] (ネットワークに接続)** を選択します。また、セキュア ネットワークの場合は、要求されるパスワードまたはその他の資格情報を入力してから、**[Connect] (接続)** をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。
TC56 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワーク アドレスなどの必要な情報を取得します。固定インターネット プロトコル (IP) アドレスを使用するように TC56 を設定する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。
5. Wi-Fi の設定フィールドに、**[Connected] (接続済み)** が表示され、TC56 が WLAN に接続されていることが示されます。

Wi-Fi ネットワークの削除

認識または接続されているネットワークを削除するには、次の手順に従います。

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  **[Wi-Fi]** をタッチします。
3. **[Wi-Fi] (Wi-Fi)** リストで、ネットワークの名前をタッチしホールドします。
4. メニューで、**[Forget network] (ネットワークの削除)** をタッチします。
5.  をタッチします。

Bluetooth

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

TC56 では、Bluetooth Low Energy がサポートされています。Bluetooth Low Energy は、ヘルスケア、フィットネス、セキュリティおよびホーム エンタテインメント業界のアプリケーションを対象として、Bluetooth の標準の範囲を確保しつつ、電力消費とコストの削減を可能にします。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続の確立や検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップ シーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズ デバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

このデバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注 802.11b での高速度動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングするデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジ レスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビット キーの作

成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。および PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Bluetooth プロファイル

デバイスでは、次の Bluetooth サービスがサポートされます。

- サービス検索プロトコル (SDP) - 既知のサービスと特殊なサービス、および一般サービスを検索します。
- シリアル ポート プロファイル (SPP) - 2 台の Bluetooth ピア デバイス間のシリアル ケーブル接続をエミュレートする、RFCOMM プロトコルを使用できるようにします。たとえば、デバイスをプリンタに接続します。
- オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP) - デバイスとプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。
- 高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP) - デバイスがステレオ品質のオーディオ ストリームを無線ヘッドセットまたは無線ステレオ スピーカに配信できるようにします。
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) - デバイスでユーザーがアクセスできる A/V 機器を制御できるようにします。A2DP と合わせて使用する場合があります。
- パーソナル エリア ネットワーク (PAN) - Bluetooth リンク経由でレイヤ 3 ネットワーク機能を実現する、Bluetooth ネットワーク カプセル化プロトコルを使用できるようにします。PANU ロールのみがサポートされます。
- ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID) - Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート デバイスをデバイスに接続します。
- ヘッドセット プロファイル (HSP) - Bluetooth ヘッドセットのようなハンズフリー デバイスを使用して、デバイスで発信と着信を行えるようにします。
- ハンズフリー プロファイル (HFP) - カーハンズフリー キットと車内のデバイスの間の通信を可能にします。
- アウト オブ バンド (OOB) - ペアリング プロセスで使用する情報の交換を可能にします。ペアリングは Bluetooth 無線で行いますが、OOB メカニズムからの情報を要求します。OOB を NFC で使用すると、時間のかかる検出プロセスを行う必要がなくなり、デバイスを単に近付けるだけでペアリングできるようになります。
- Phone Book Access Profile (PBAP) - 車載キットとモバイル デバイスの間で Phone Book オブジェクトを交換できるようにし、その結果、車載キットで、着信通話の発信者の名前を表示し、Phone Book をダウンロードしてユーザーが車載ディスプレイから通話を開始できるようにします。
- Symbol Serial Interface (SSI) - RS507 Bluetooth イメージャとの通信を可能にします。

Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフになっています。

- [Suspend] (サスペンド) - TC56 がサスペンド モードに移行しても、Bluetooth 無線はオンのままとなります。
- [Airplane Mode] (機内モード) - TC56 を [Airplane Mode] (機内モード) に設定すると、Bluetooth 無線がオフになります。機内モードが無効になっている場合、Bluetooth 無線は前の状態に戻ります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。

Bluetooth 無線の電源

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開きます。
2. ✖ をタッチして Bluetooth をオンにします。
3. ○ をタッチします。

Bluetooth の無効化

1. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開きます。
2. ✖ をタッチして Bluetooth をオフにします。
3. ○ をタッチします。

Bluetooth デバイスを検出する

TC56 は、検出されたデバイスとペアリングしていなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、ペアリングしておく、Bluetooth 無線をオンにした時点で、TC56 とペアリングされたデバイスは自動的に情報を交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開きます。
5. **[Bluetooth] (Bluetooth)** をタッチします。
6. **[More Settings] (その他の設定)** をタッチします。**[Bluetooth] (Bluetooth)** 画面が表示されます。
7. エリア内で検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、**[Available Devices] (使用可能なデバイス)** にデバイスのリストが表示されます。

8. リストをスクロールし、デバイスを選択します。[Bluetooth pairing request] (Bluetooth ペアリングの要求) ダイアログ ボックスが表示されます。
9. テキスト ボックスに PIN を入力して、[OK] をタッチします。接続先デバイスに同じ PIN を入力します。
10. シンプル ペアリングの場合は、両方のデバイスで [Pair] (ペア) をタッチします。
11. Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

Bluetooth の名前の変更

TC56 ではデフォルトで汎用の Bluetooth 名が使用され、他のデバイスに接続されるとそのデバイスに表示されます。

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Bluetooth] (Bluetooth) をタッチします。
3. Bluetooth がオンになっていない場合は、スイッチをタッチして Bluetooth をオンにします。
4.  をタッチします。
5. [Rename device] (デバイスの名前変更) をタッチします。
6. 名前を入力して、[Rename] (名前変更) をタッチします。
7.  をタッチします。

Bluetooth デバイスへの接続

ペアリングが完了したら、Bluetooth デバイスに接続します。

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. [Bluetooth] (Bluetooth) をタッチします。
3. リストで、接続されていない Bluetooth デバイスをタッチします。
4. 接続されると、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。

Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択

一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。

1. 2本の指でステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Bluetooth] (Bluetooth) をタッチします。
3. [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
4. [PROFILES] (プロファイル) の下で、プロファイルをオンまたはオフにして、デバイスがプロファイルを使用できるようにします。
5.  をタッチします。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

1.  >  > [Bluetooth] (Bluetooth) () の順にタッチします。
2. [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
3. [Unpair] (ペアリング解除) をタッチします。
4.  をタッチします。

Near Field Communication (NFC)

NFC/HF RFID は、リーダーと非接触型スマート カード間の安全なトランザクションを可能にする短距離無線接続技術です。この技術は、HF 13.56MHz の免許不要の帯域を利用し、ISO/IEC 14443 type A/B (近接) および ISO/IEC 15693 (周辺) 規格に基づいています。TC56 は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。

- リーダー モード
- ピアツーピア通信
- カード エミュレーション モード

NFC を使用して、TC56 で次のことを実行できます。

- 非接触型チケット、ID カードおよび ePassport などの非接触型カードの読み取り
- SmartPoster やチケットなどの非接触型カードのほか、自動販売機などの NFC インタフェース搭載デバイスに対する情報の読み取りと書き込み
- サポート対象の医療用センサからの情報の読み取り
- プリンタやヘッドセットなどのサポート対象の Bluetooth デバイスのペアリング
- 別の NFC デバイスとのデータの交換
- 支払い、チケット、SmartPoster などの非接触型カードのエミュレート

TC56 の NFC アンテナは、ユーザーが手に持った状態で、デバイスの上から NFC カードを読み取れるように独特な方法で配置されています。

NFC カードの読み取り

1. NFC 対応アプリケーションを起動します。
2. 次に示すように、デバイスを押さえます。

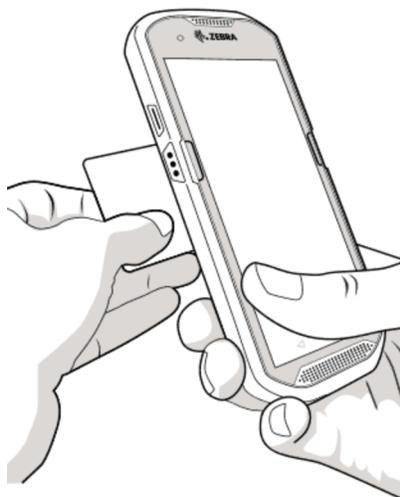


図 6-7 カードの読み取り

3. TC56 がカードを検出するまで、TC56 を NFC カードに近づけます。
4. トランザクションが完了するまで (通常はアプリケーションによって示される)、カードをしっかり押さえます。

NFC を使用した情報の共有

複数のデバイスを背中合わせにして、画面に表示されている Web ページ、連絡先カード、画像、YouTube のリンクまたは位置情報などのコンテンツを送信することができます。

両方のデバイスがロックされていないこと、NFC をサポートしていること、および NFC と Android Beam の両方がオンになっていることを確認してください。

1. Web ページ、ビデオ、写真、または連絡先を表示する画面を開きます。
2. TC56 の背面を、他のデバイスの背面に向けます。

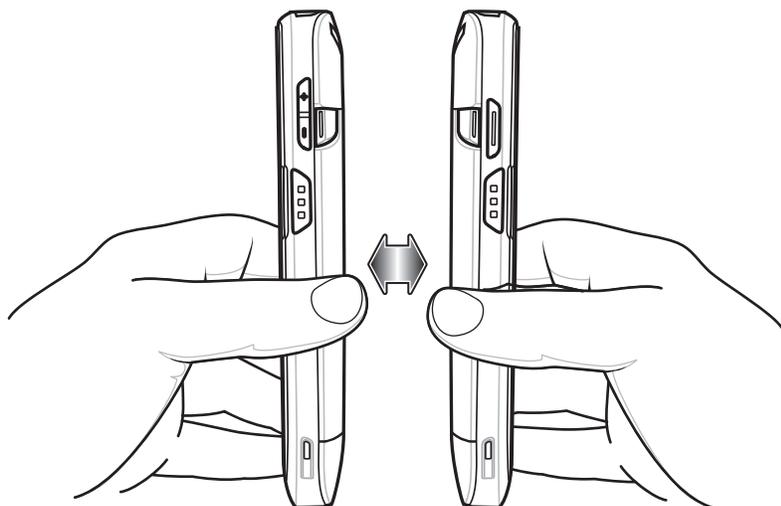


図 6-8 NFC を使用したデータの共有

デバイスが接続された時点で、サウンドが再生され、画面に表示されている画像のサイズが縮小され、[Touch to beam] (タッチして送信) というメッセージが表示されます。

3. 画面のどこかにタッチします。
送信が開始されます。

第7章 アクセサリ

この章では、デバイスのアクセサリの使用方法について説明します。

アクセサリ

次の表に、TC56 で使用できるアクセサリを示します。

表 7-1 TC56 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
1 スロット USB/ 充電専用 クレードル キット	CRD-TC56-1SCU-01	デバイスの充電と通信に使用します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器キット付き)	CRD-TC56-5SC4B-01	最大 4 個のデバイスと 4 個の予備バッテリーを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
5 スロット充電専用クレードル キット	CRD-TC56-5SCHG-01	最大 5 台のデバイスを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。バッテリーアダプタカップを使用した 1 台の 4 スロットバッテリー充電器の取り付けが可能です。
5 スロットイーサネットクレードル キット	CRD-TC56-5SETH-01	デバイスを充電し、最大 5 台のデバイスにイーサネット接続を提供します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。バッテリーアダプタカップを使用した 1 台の 4 スロットバッテリー充電器の取り付けが可能です。

表 7-1 TC56 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル マウント	BRKT-SCRD-SMRK-01	壁面またはラックに5スロット充電専用クレードル、5スロットイーサネットクレードル、および4スロットバッテリー充電器を取り付けます。
バッテリーと充電器		
PowerPrecision バッテリー	BTRY-TC56-43MA1-01 BTRY-TC56-43MA1-10	交換用バッテリー (シングルパック)。 交換用バッテリー (10 パック)。
4 スロット バッテリー充電器 キット	SAC-TC56-4SCHG-01	最大 4 個のバッテリー パックを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
車載用ソリューション		
シガレット ライト アダプタ 車載充電ケーブル	CHG-AUTO-USB1-01	シガレット ライト ソケットからデバイスに電力を供給します。
TC56 車載用通信充電ク レードル	CRD-TC56-UVCD1-01	TC56 への電力供給 (オプションの USB I/O ハブに接続し、デバイスをしっかりと固定した場合)。
TC56 充電専用車載用ク レードル	CRD-TC56-CVCD1-01	デバイスを充電するとともに、しっかりと固定します。電源ケーブル CHG-AUTO-CLA1-01 または CHG-AUTO-HWIRE1-01 (別売り) が必要です。
USB I/O ハブ	SHARE-USBH-01	TC56 車載用通信充電クレードルへの電力供給と USB 接続に使用します。電源ケーブル CHG-AUTO-CLA1-01 または CHG-AUTO-HWIRE1-01 (別売り) が必要です。
充電ケーブルおよび通信ケーブル		
高耐久性充電/USB ケーブル	CBL-TC56-USB1-01	デバイスへの電力供給と通信に使用します。電源 PWR-WUA5V12W0xx が必要です。
オーディオ アクセサリ		
2.5mm オーディオ アダプタ	CBL-TC56-HDST25-01	デバイスに接続可能で、2.5mm プラグの有線ヘッドセットに音声を出力します。
2.5mm ヘッドセット	HDST-25MM-PTVP-01	PTT 通話および VoIP 通話に使用します。
3.5mm オーディオ アダプタ	CBL-TC56-HDST35-01	デバイスに接続可能で、3.5mm カラープラグの有線ヘッドセットに音声を出力します。
3.5mm ヘッドセット	HDST-35MM-PTVP-01	PTT 通話および VoIP 通話に使用します。
その他		
高耐久性ブーツ	SG-TC56-EXO1-01	デバイスの保護を強化します。

表 7-1 TC56 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
トリガ ハンドル	TRG-TC56-SNP1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能にするスキャナトリガを備えたガンタイプのハンドルを取り付けます。高耐久性ブーツが必要です。
トリガ ハンドル キット (高耐久性ブーツ付き)	TRG-TC56-TRG1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能にするスキャナトリガを備えたガンタイプのハンドルを取り付けます。
スクリーン保護シート	KT-TC56-SCRNP1-01	画面の保護を強化します。
SmartDEX ソリューション	DEX30	TC56 に無線 DEX 通信機能を提供します。
携帯用ソリューション		
ソフト ホルスタ	SG-TC56-HLSTR1-01	デバイスを腰に固定する際に使用します。高耐久性ブーツとトリガハンドルを付けた状態で使用できます。
ハンドストラップ	SG-TC56-EHDSTP1-03	ハンドストラップ マウント クリップ 用交換ハンドストラップ (3 パック)。
スタイラスおよびコイル ストラップ	SG-TC7X-STYLUS-03	TC7X スタイラスとコイルストラップ (3 パック)。
電源		
電源	PWR-BGA12V50W0WW	1 スロット USB 充電クレードルおよび 4 スロット予備バッテリー充電器に電力を供給します。AC 電源コードが必要です。
電源	PWR-BGA12V108W0WW	バッテリー充電器付き 4 スロット充電専用クレードル、5 スロット充電専用クレードル、および 5 スロットイーサネットクレードルに電力を供給します。p/n 50-16002-029R の DC 電源コードと、国別のアース付き AC 電源コード (3 ワイヤ) が必要です (別売り)。
電源	PWR-WUA5V12W0US	高耐久性充電/USB ケーブルに DC 5V、2.5A の電力を供給します。米国で使用できるプラグアダプタを含みます。
電源	PWR-WUA5V12W0GB	高耐久性充電/USB ケーブルに DC 5V、2.5A の電力を供給します。EU 加盟国で使用できるプラグアダプタを含みます。
電源	PWR-WUA5V12W0EU	高耐久性充電/USB ケーブルに DC 5V、2.5A の電力を供給します。英国で使用できるプラグアダプタを含みます。

表 7-1 TC56 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
電源	PWR-WUA5V12W0AU	高耐久性充電/USB ケーブルに DC 5V、2.5A の電力を供給します。オーストラリアで使用できるプラグ アダプタを含みます。
電源	PWR-WUA5V12W0CN	高耐久性充電/USB ケーブルに DC 5V、2.5A の電力を供給します。中国で使用できるプラグ アダプタを含みます。
電源	PWR-WUA5V12W0IN	高耐久性充電/USB ケーブルに DC 5V、2.5A の電力を供給します。インドで使用できるプラグ アダプタを含みます。
DC 電源コード	CBL-DC-382A1-01	電源 (PWR-BGA12V108W0WW) からバッテリー充電器付き 4 スロット充電専用クレードル、5 スロット充電専用クレードル、および 5 スロットイーサネットクレードルに電力を供給します。
DC 電源コード	CBL-DC-388A1-01	電源 (PWR-BGA12V50W0WW) から 1 スロット USB/充電専用クレードルおよび 4 スロットバッテリー充電器に電力を供給します。

1 スロット USB 充電クレードル



注意 8-2 ページの **バッテリーの安全に関するガイドライン** で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

1 スロット USB 充電クレードル:

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイスのバッテリーを充電します。
- ホスト コンピュータとの USB 通信を実行します。

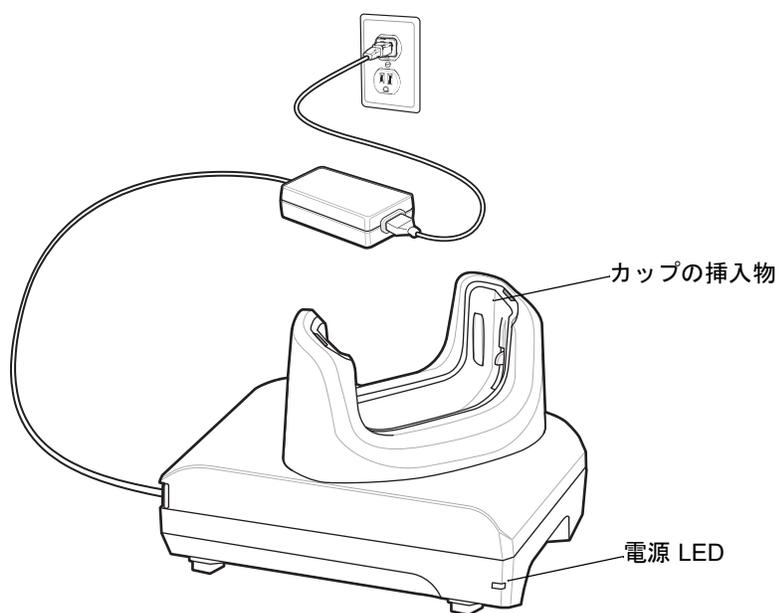


図 7-1 1 スロット USB 充電クレードル

デバイスの充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注 デバイスに高耐久性ブーツが取り付けられている場合は、デバイスを挿入する前に、カップの挿入物を取り外してください。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電が開始されます。

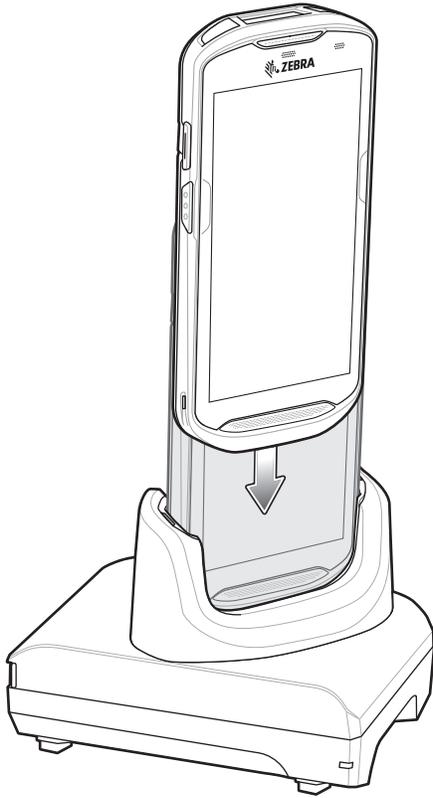


図 7-2 バッテリーの充電

2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

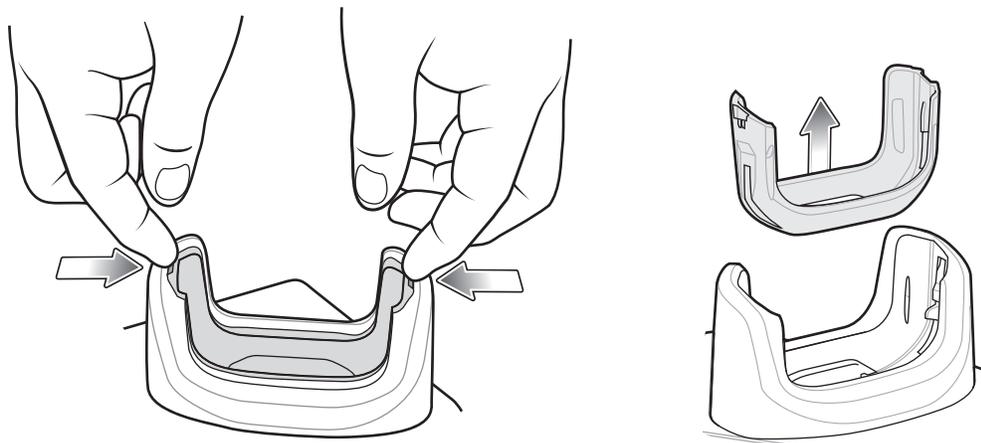


図 7-3 カップからの挿入物の取り外し

バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電の状態については、[1-11 ページの表 1-3](#)を参照してください。 ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

バッテリーの充電は、 $0 \sim 40^{\circ}\text{C}$ ($32 \sim 104^{\circ}\text{F}$) の温度で行ってください。デバイスまたはクレードルの充電は、常に安全で適切な方法で行ってください。高温 (たとえば、約 $+37^{\circ}\text{C}$ ($+98^{\circ}\text{F}$)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を交互に有効と無効とに短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)



注意 8-2 ページの **バッテリーの安全に関するガイドライン** で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き):

- TC56 の動作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- バッテリー充電器アダプタを使用して、最大 4 台の TC56 と最大 4 台の予備バッテリーを同時に充電します。

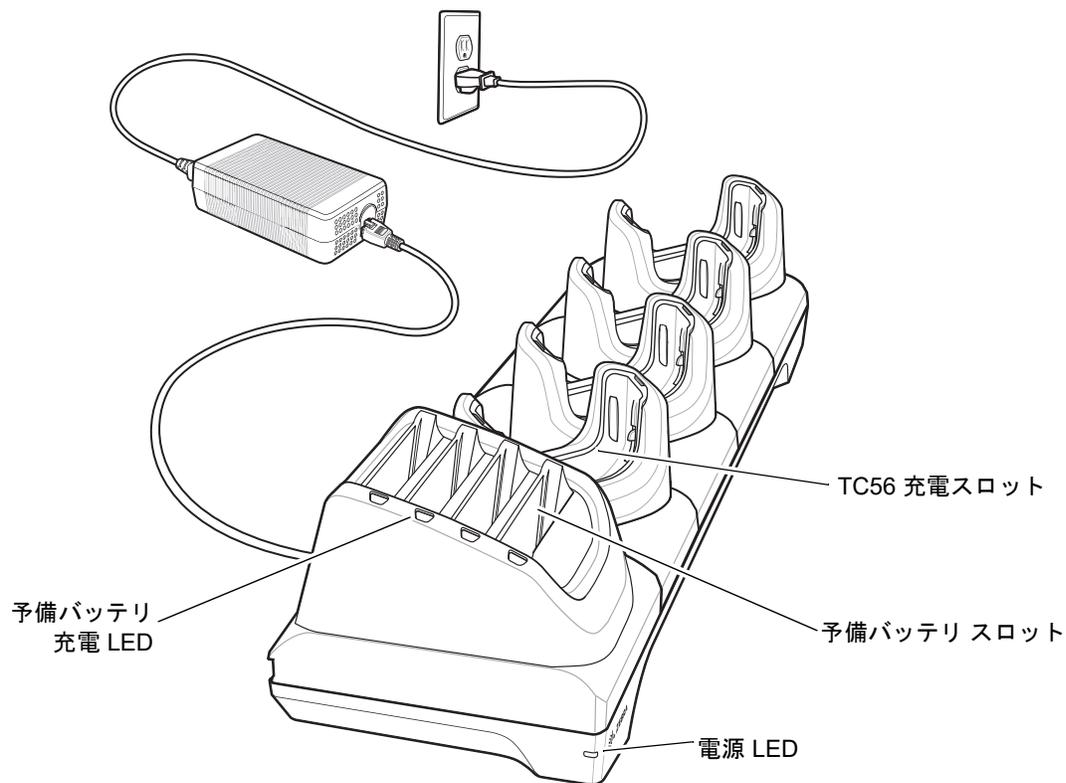


図 7-4 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)

TC56 の充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注 デバイスに高耐久性ブーツが取り付けられている場合は、デバイスを挿入する前に、カップの挿入物を取り外してください。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

1. スロットに TC56 を挿入すると充電が開始されます。

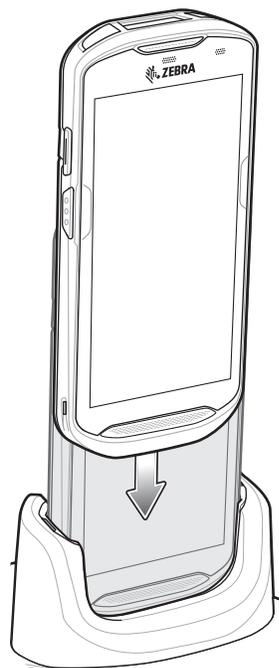


図 7-5 TC56 のバッテリーの充電

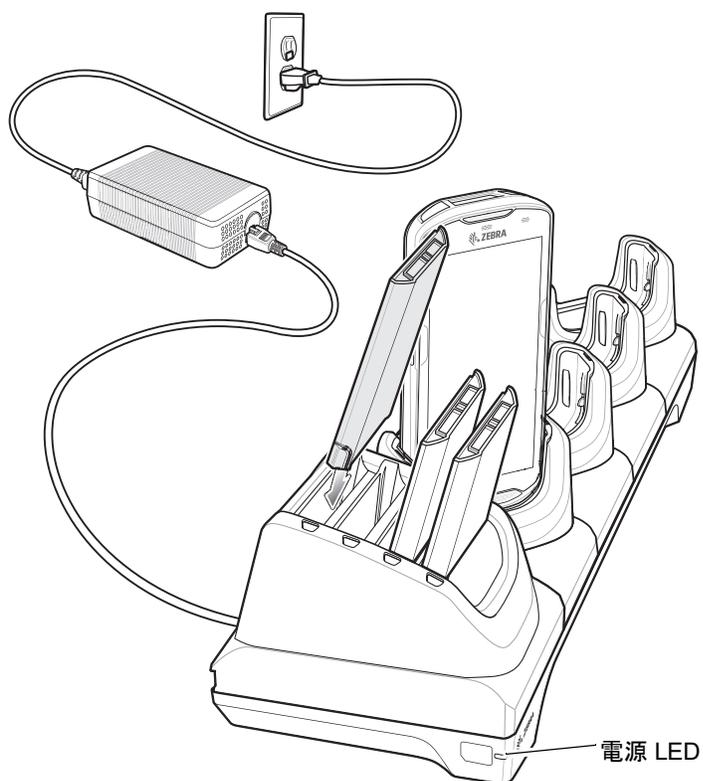


図 7-6 予備バッテリーの充電

2. TC56 が正しく取り付けられていることを確認します。



4 スロット バッテリ充電器をクレードルに設置する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1 for Android Version 6.0.1』を参照してください。

高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

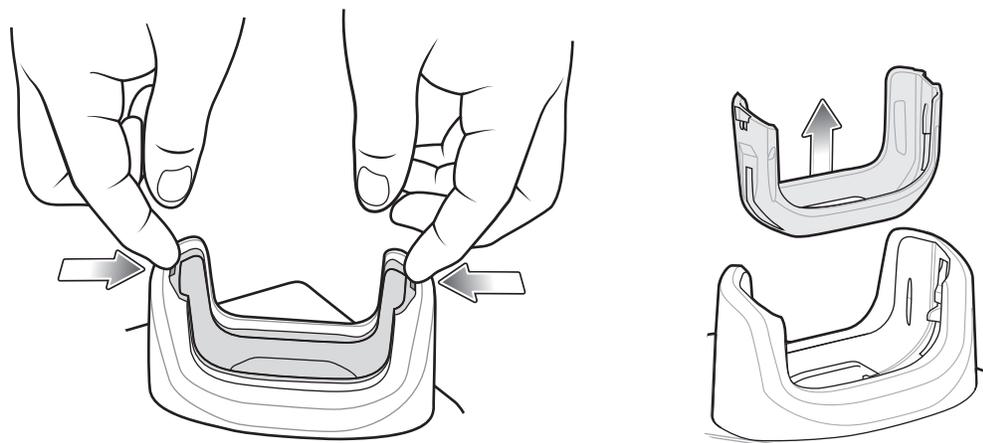


図 7-7 カップからの挿入物の取り外し

バッテリーの充電

メインバッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電の状態については、[1-11 ページの表 1-3](#) を参照してください。 ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

予備バッテリーの充電

カップの予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。 ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。

表 7-2 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	LED	意味
黄色で点灯		予備バッテリーが充電中。
黄色と明るい黄色が交互に点灯		適切な予備バッテリーが充電中です。
緑色で点灯		予備バッテリーの充電が完了しました。
緑色と明るい緑色が交互に点灯		適切な予備バッテリーの充電が完了しました。
赤色で点灯		予備バッテリーが充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電中のエラー。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。バッテリーの寿命が近づいています。
消灯		スロットに予備バッテリーが挿入されていないか、予備バッテリーが正しく挿入されていないか、クレードルの電源が入っていません。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行ってください。デバイスまたはクレードルの充電は、常に安全で適切な方法で行ってください。高温 (たとえば、約 +37°C (+98°F)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を交互に有効と無効とに短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

5 スロット充電専用クレードル



注意 8-2 ページの **バッテリーの安全に関するガイドライン** で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

5 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- TC56 の動作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- 最大 5 台の TC56 を同時に充電します。

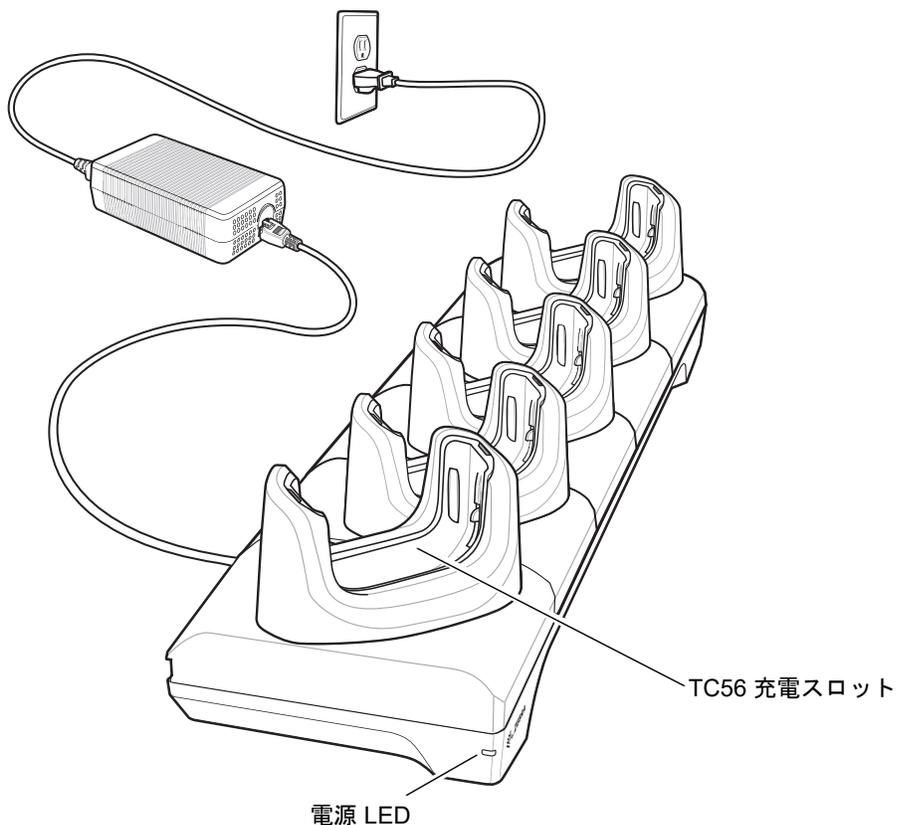


図 7-8 5 スロット充電専用クレードル

TC56 の充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注 デバイスに高耐久性ブーツが取り付けられている場合は、デバイスを挿入する前に、カップの挿入物を取り外してください。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

1. スロットに TC56 を挿入すると充電が開始されます。

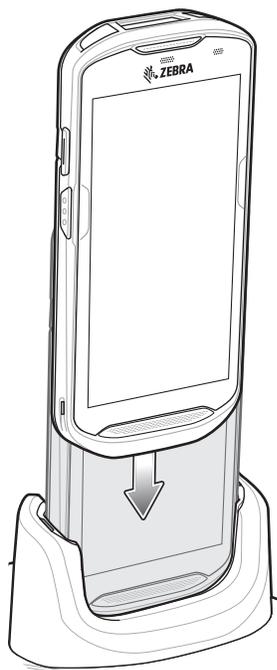


図 7-9 TC56 のバッテリーの充電

2. TC56 が正しく取り付けられていることを確認します。



4 スロット バッテリー充電器をクレードルに設置する方法については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

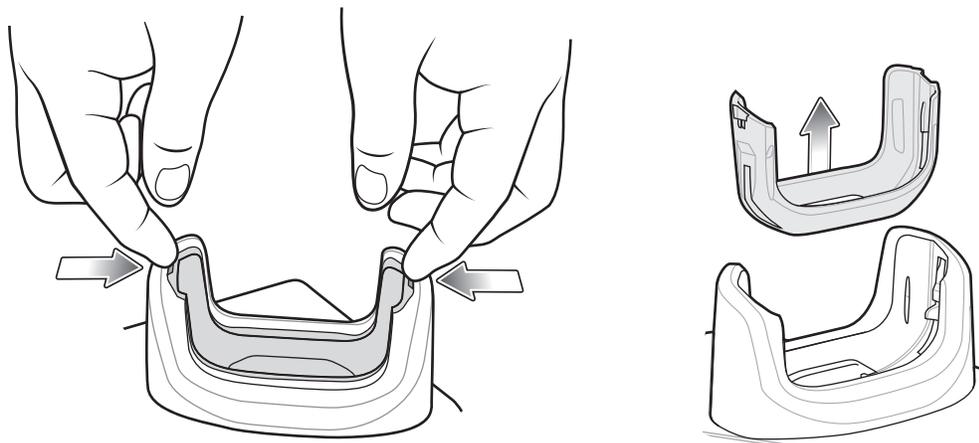


図 7-10 カップからの挿入物の取り外し

バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電の状態については、[1-11 ページの表 1-3](#) を参照してください。 ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

バッテリーの充電は、 $0 \sim 40^{\circ}\text{C}$ ($32 \sim 104^{\circ}\text{F}$) の温度で行ってください。デバイスまたはクレードルの充電は、常に安全で適切な方法で行ってください。高温 (たとえば、約 $+37^{\circ}\text{C}$ ($+98^{\circ}\text{F}$)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を交互に有効と無効とに短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

5 スロット イーサネット クレードル



注意 8-2 ページの **バッテリーの安全に関するガイドライン** で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

5 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5.0V の電力を供給します。
- 最大 5 台のデバイスをイーサネット ネットワークに接続します。
- 最大 5 台の TC56 を同時に充電します。

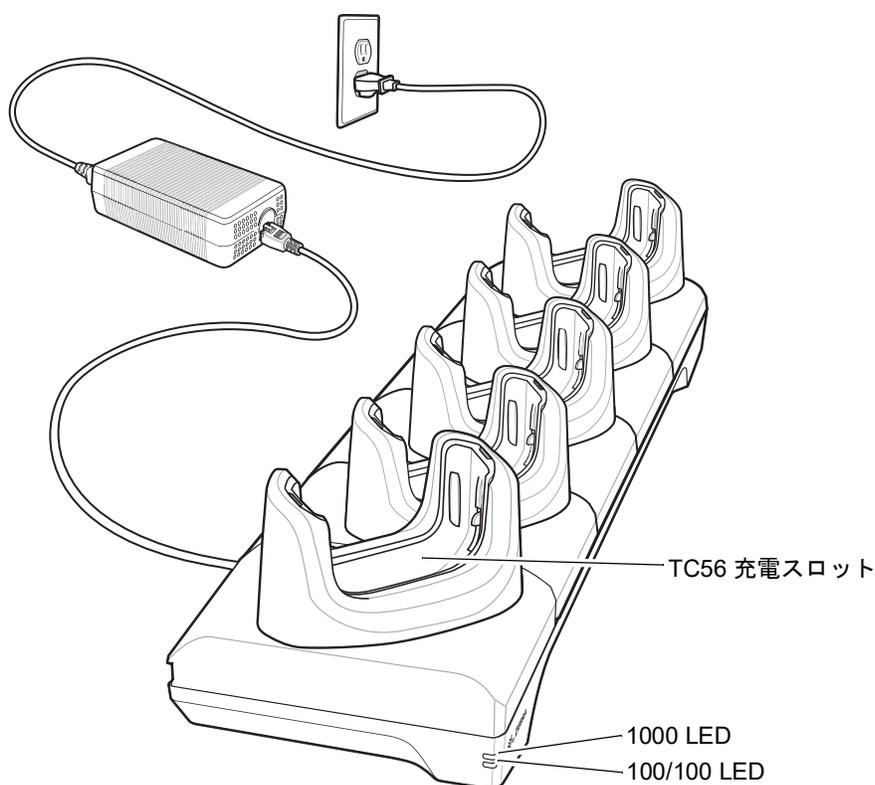


図 7-11 5 スロット イーサネット クレードル

TC56 の充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注 デバイスに高耐久性ブーツが取り付けられている場合は、デバイスを挿入する前に、カップの挿入物を取り外してください。詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

1. スロットに TC56 を挿入すると充電が開始されます。

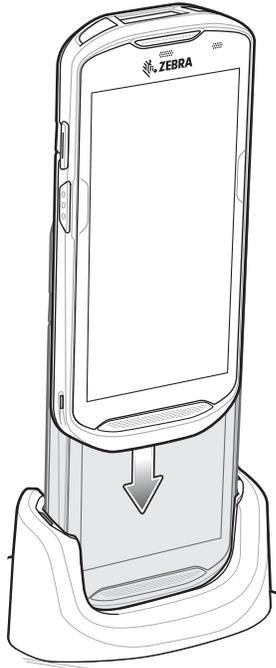


図 7-12 TC56 のバッテリーの充電

2. TC56 が正しく取り付けられていることを確認します。

高耐久性ブーツを付けた TC56 のクレードルへの挿入

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを付けた状態で TC56 を挿入する場合は、事前にその挿入物を取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、TC56 をカップに挿入します。

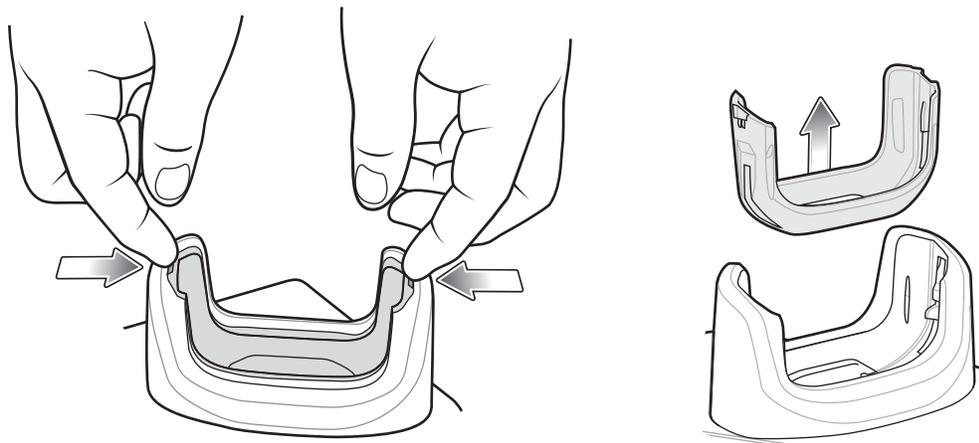


図 7-13 カップからの挿入物の取り外し

バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電の状態については、[1-11 ページの表 1-3](#) を参照してください。 ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。

- ✓ **注** 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。
- 最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行ってください。デバイスまたはクレードルの充電は、常に安全で適切な方法で行ってください。高温 (たとえば、約 +37°C (+98°F)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を交互に有効と無効とに短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

イーサネット接続の確立

- ✓ **注** イーサネット設定の詳細については、『TC56 Touch Computer Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

- 2本の指でステータスバーから下にスワイプしてクイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
- [Ethernet] (イーサネット) をタッチします。
- イーサネットスイッチを [ON] (オン) の位置にスライドします。
- デバイスをスロットに挿入します。
 アイコンがステータスバーに表示されます。
- [Eth0] をタッチし、イーサネット接続の詳細を表示します。

LED インジケータ

クレードルの側面には、2つの緑色の LED が搭載されています。これらの緑色の LED は、点灯および点滅してデータ転送速度を示します。

表 7-3 LED データ速度インジケータ

データ速度	1000 LED	100/10 LED
1Gbps	オン/点滅	消灯
100Mbps	消灯	オン/点滅
10Mbps	消灯	オン/点滅

4 スロット バッテリー充電器



注意 8-2 ページの **バッテリーの安全に関するガイドライン** で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して最大 4 台の TC56 バッテリーを充電する方法について説明します。

予備バッテリーの充電

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

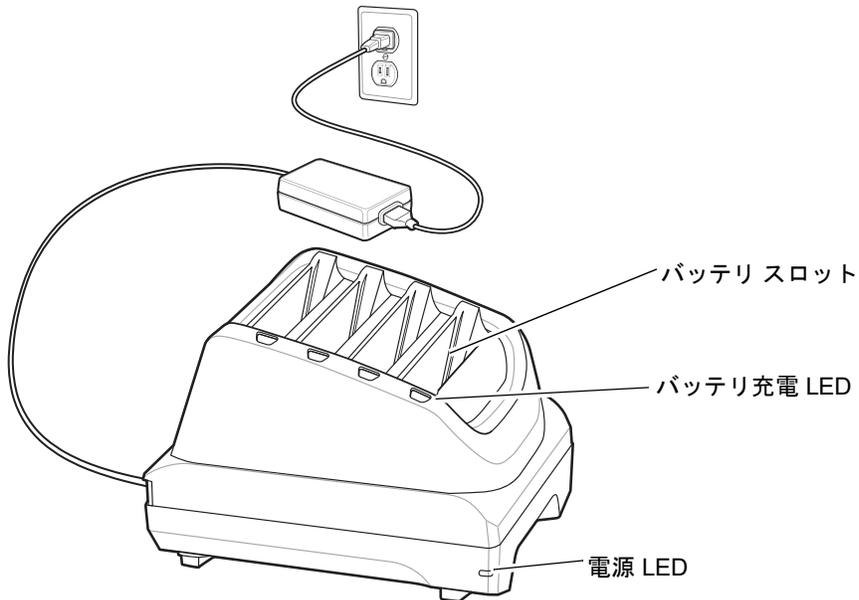


図 7-14 4 スロット バッテリー充電器

バッテリーの充電

予備バッテリーの充電

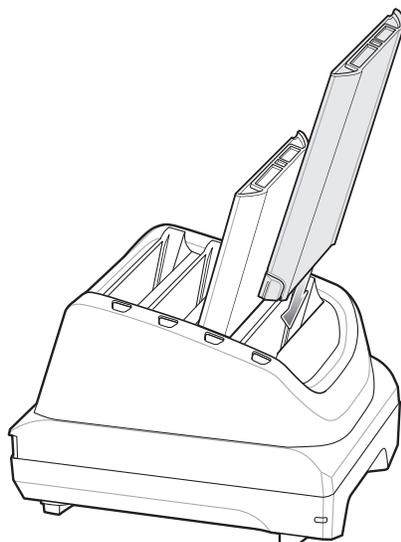


図 7-15 充電器にバッテリーを挿入する

バッテリー充電 LED はそれぞれ、各スロットのバッテリー充電状態を示します。予備バッテリーの充電インジケータの詳細については、[7-11 ページの表 7-2](#)を参照してください。

≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。

✓ **注** 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。

充電温度

バッテリーの充電は、 $0 \sim 40^{\circ}\text{C}$ ($32 \sim 104^{\circ}\text{F}$) の温度で行ってください。バッテリー充電器による充電は、常に安全かつ適切な方法で行ってください。高温時 (約 $+37^{\circ}\text{C}$ ($+98^{\circ}\text{F}$) など) には、バッテリー充電器は、バッテリーの充電を交互に有効と無効とに短時間で切り替えて、バッテリーを適切な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。

高耐久性ブーツ

高耐久性ブーツを使用すると、デバイスの保護が強化されます。

取り付け

高耐久性ブーツを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの下部をブーツの下部に挿入します。

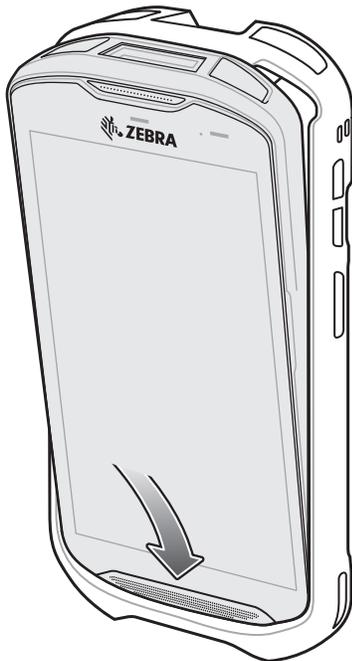


図 7-16 デバイスをブーツに挿入する

2. 高耐久性ブーツの上部をデバイスの上部にかぶせます。



図 7-17 ブーツをデバイスにかぶせる

3. デバイスを高耐久性ブーツに押し込みます。

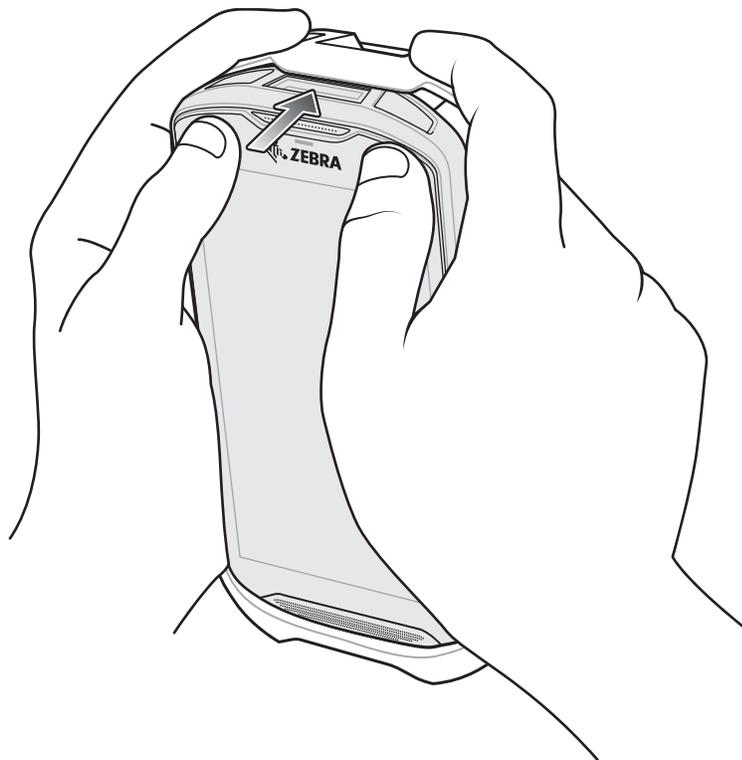


図 7-18 デバイスをブーツに押し込む

スタイラスの取り付け

オプションのスタイラスを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップの片方のループの端をスタイラスの穴に通します。
2. ストラップをループに通します。
3. ループが締まるまで、ストラップを引きます。
4. ループをハンドストラップホルダーに挿入します。
5. スタイラスをループに通します。

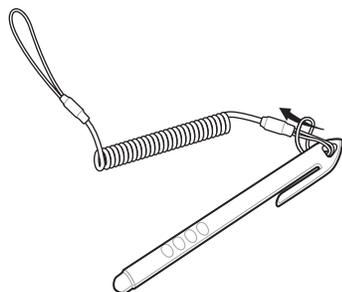


図 7-19 ストラップをスタイラスに取り付ける

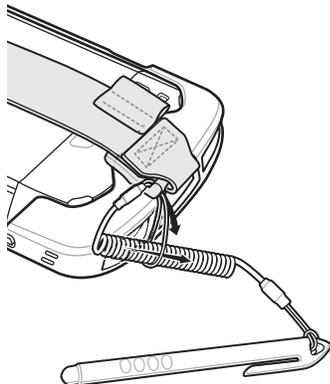


図 7-20 スタイルスをハンドストラップに取り付ける

クレードルを使用した充電

デバイスを、高耐久性ブーツを取り付けた状態でクレードル カップに挿入する場合は、事前にカップから挿入物を取り外してください。

1. 両手の人差し指を使用して、挿入物をカップの中央に向かって押します。

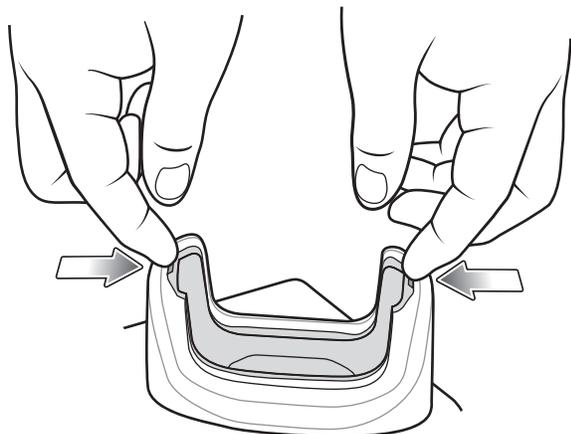


図 7-21 挿入物を中央に向かって押す

2. 挿入物をカップから持ち上げます。

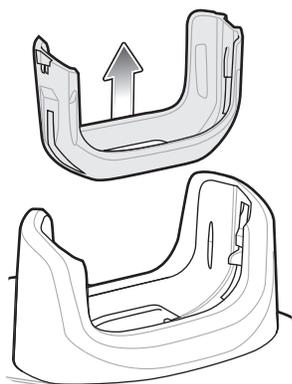


図 7-22 挿入物をカップから持ち上げる

3. デバイスをクレードルに挿入します。

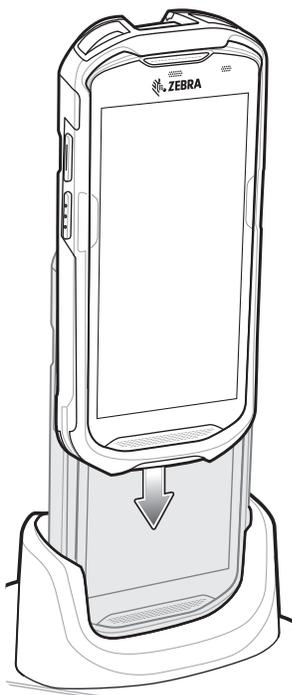


図 7-23 デバイスを、ブーツを取り付けた状態でクレードル カップに挿入する

2.5mm オーディオ アダプタ

TC56 に 3.5 mm オーディオ アダプタを接続し、その端を 3.5mm プラグの有線ヘッドセットに接続します。ヘッドセットを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ヘッドセット ジャックのカバーを外します。
2. 2.5mm オーディオ アダプタのプラグをヘッドセット ジャックに差し込みます。



図 7-24 オーディオ アダプタの取り付け

3. 2.5mm ヘッドセットのプラグをオーディオ アダプタのジャックに差し込みます。

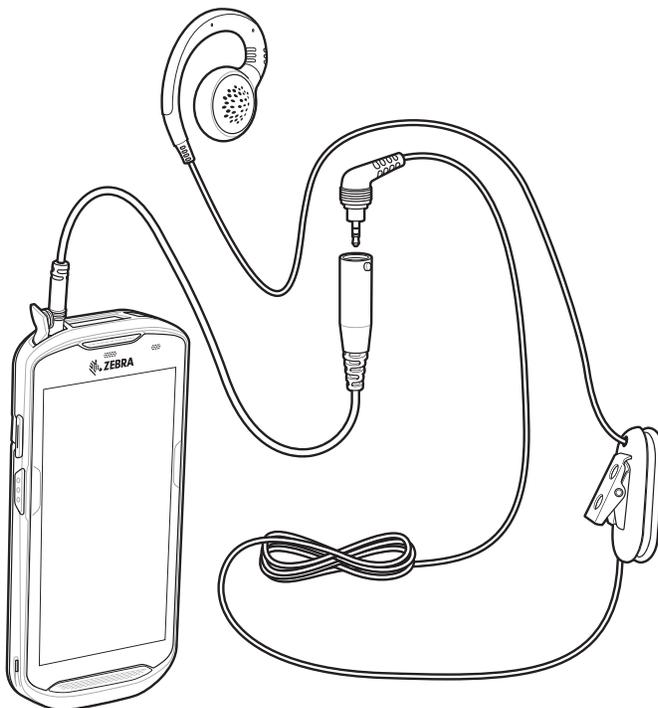


図 7-25 ヘッドセットをオーディオ アダプタに接続する



注意 ヘッドセットを取り外したら、ヘッドセット ジャックのカバーを元の位置に戻し、しっかりと取り付けて確実にデバイスを保護します。

3.5mm オーディオ アダプタ

TC56 に 3.5mm オーディオ アダプタを接続し、その端を 3.5mm プラグの有線ヘッドセットに接続します。

3.5mm ヘッドセットを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ヘッドセット ジャックのカバーを外します。
2. 3.5mm オーディオ アダプタのプラグをヘッドセット ジャックに差し込みます。



図 7-26 オーディオ アダプタの取り付け

3. ヘッドセットの 3.5mm コネクタ プラグを 3.5mm オーディオ アダプタに接続します。

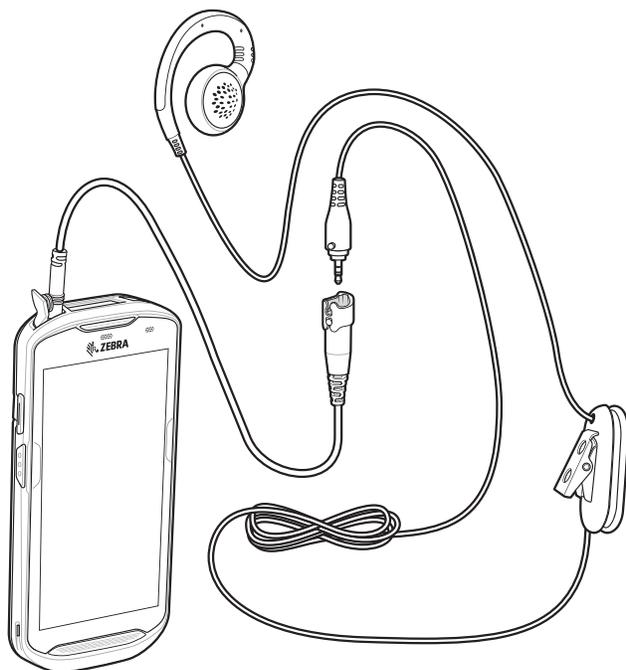


図 7-27 ヘッドセットを 3.5mm アダプタ ケーブルに接続する



注意 ヘッドセットを取り外したら、ヘッドセット ジャックのカバーを元の位置に戻し、しっかりと取り付けて確実にデバイスを保護します。

高耐久性充電/USB ケーブル

高耐久性充電/USB ケーブルは TC56 の下部に取り付けます。このケーブルは、使用しないときには簡単に取り外すことができます。TC56 に取り付けると、充電や、ホスト コンピュータへのデータ転送が可能になります。

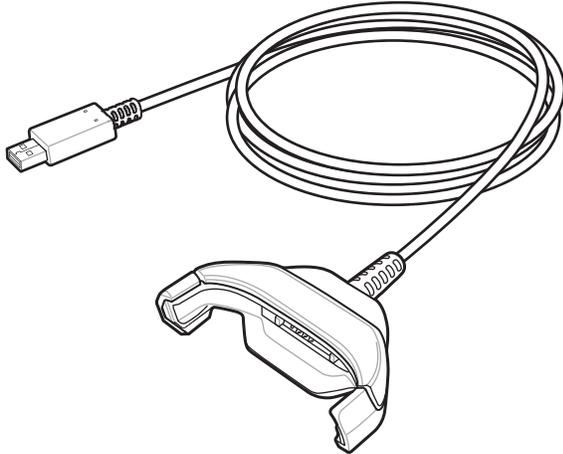


図 7-28 高耐久性充電/USB ケーブル

TC56 への接続

1. デバイスがカップの下部に接するまで、デバイスをケーブル カップに斜めに挿入します。

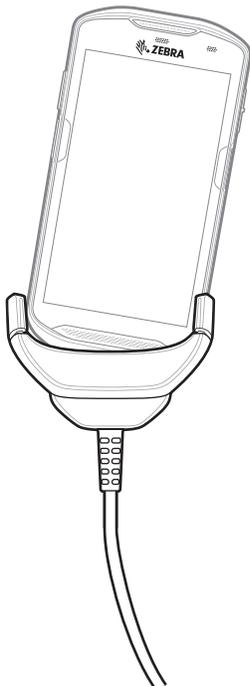


図 7-29 デバイスをケーブル カップに挿入する

2. デバイスを倒して、カップに取り付けます。

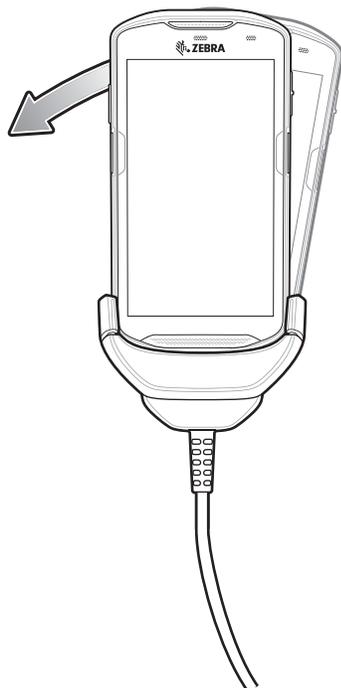


図 7-30 デバイスを倒してケーブル カップに取り付ける

高耐久性ブーツ付きの TC56 への接続

高耐久性充電/USB ケーブルを高耐久性ブーツ付きの TC56 に接続するには、次の手順に従います。

1. 親指と人差し指を使用して、カップの両端を内側に押し込みます。

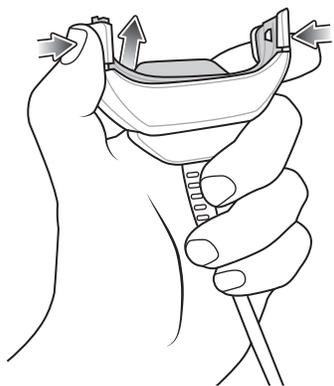


図 7-31 ケーブル カップの挿入物を取り外す

2. 挿入物をカップから持ち上げます。

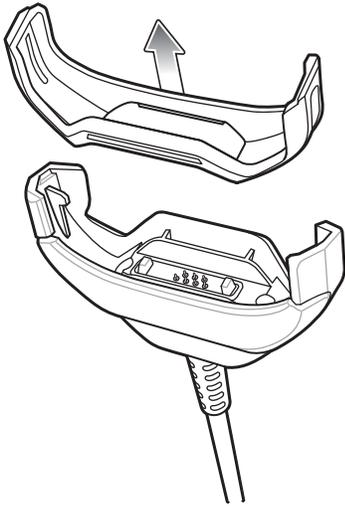


図 7-32 ケーブルの接続

3. ケーブル カップとデバイスの下部を合わせます。
4. デバイスがケーブル カップにしっかりと固定されるまで、デバイスを押します。

USB 通信

デバイスをホスト コンピュータに接続するには、次の手順に従います。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続します。
2. ケーブルの USB コネクタをホスト コンピュータに接続します。

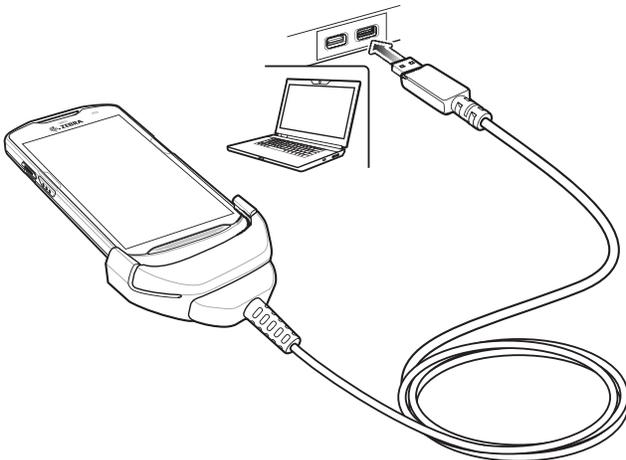


図 7-33 高耐久性充電/USB ケーブルをホスト コンピュータに接続する

デバイスの充電

高耐久性充電/USB ケーブルを使用してデバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC56 に接続します。
2. 電源の USB コネクタに接続します。

✓ **注** 電源の設定の詳細については、[7-37 ページの電源](#)を参照してください。

3. 電源をコンセントに接続します。

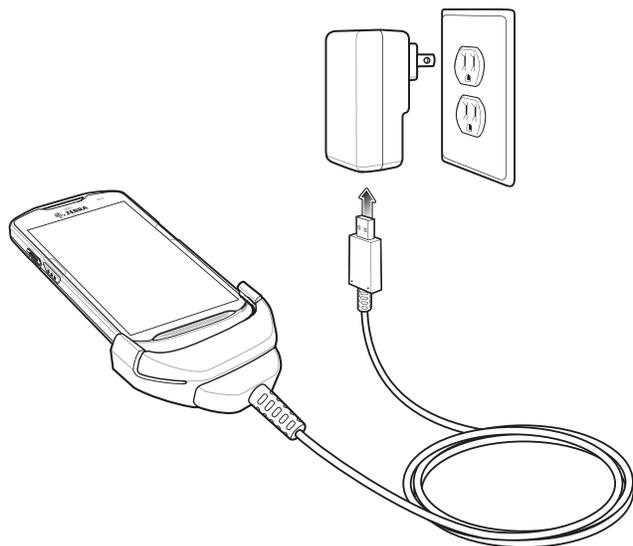


図 7-34 高耐久性充電/USB ケーブルを使用した充電

高耐久性充電/USB ケーブルの接続の解除

高耐久性充電/USB ケーブルと TC56 との接続を解除するには、次の手順に従います。

1. デバイスを一方に倒します。

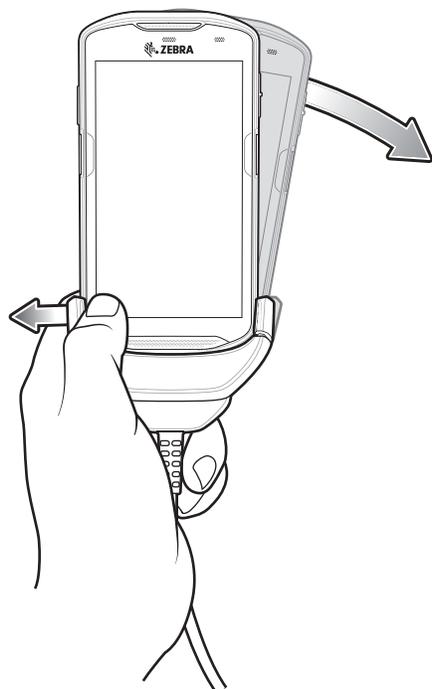


図 7-35 高耐久性充電/USB ケーブルからデバイスを取り外す

2. 反対側の方向に高耐久性充電/USB ケーブルを押します。
3. 高耐久性充電/USB ケーブルからデバイスを取り外します。

バッテリーの充電

メインバッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。

✓ **注** ホスト コンピュータの USB ポート、または Zebra PWR-WUA5V12W0xx 以外の電源を使用して充電すると、時間がかかることがあります。7-1 ページの表 7-1 を参照してください。

Zebra 以外の電源を使用する場合は、DC 5V、2.5A の電力を供給する電源を使用してください。

≥15.48 ワット時 (一般) / ≥4,150 mAh バッテリーが完全に空になっている場合は約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。

✓ **注** 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーを使用してください。TC56 をスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行ってください。デバイスの充電は、常に安全かつ適切な方法で行ってください。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、デバイスは、バッテリー充電の有効と無効を短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になったときは、デバイスの LED によって示されます。

トリガ ハンドル

- ✓ **注** トリガハンドルをデバイスに取り付けるには、高耐久性ブーツが必要です。トリガハンドル (p/n: TRG-TC56-SNP1-01) には高耐久性ブーツが含まれていないため、別途購入する必要があります。トリガハンドル キット (p/n: TRG-TC56-TRG1-01) には高耐久性ブーツが含まれています。

トリガハンドルを使用すると、スキャントリガを備えたガンタイプのハンドルをデバイスに取り付けることができます。長時間にわたる大量のスキャンが必要な作業でデバイスを使用する場合に、ユーザーへの負担が軽減されます。

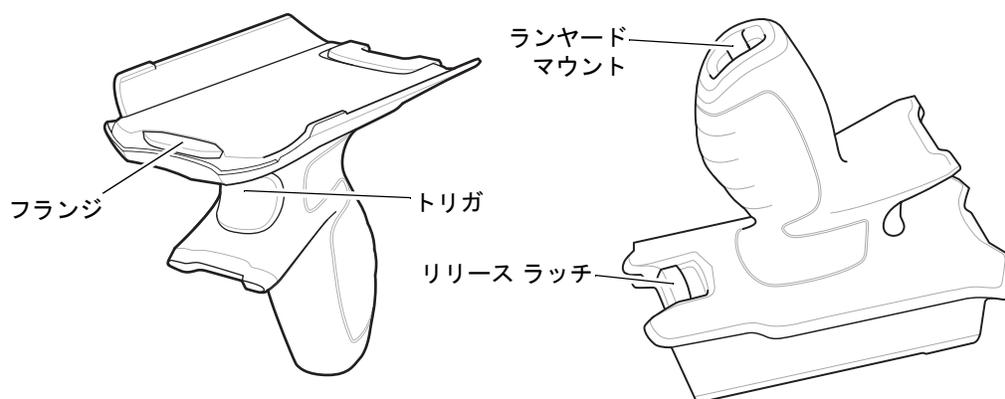


図 7-36 トリガハンドル

高耐久性ブーツの取り付け

- ✓ **注** 高耐久性ブーツにハンドストラップが取り付けられている場合は、高耐久性ブーツをデバイスに取り付ける前に外してください。

高耐久性ブーツを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの下部をブーツの下部に挿入します。

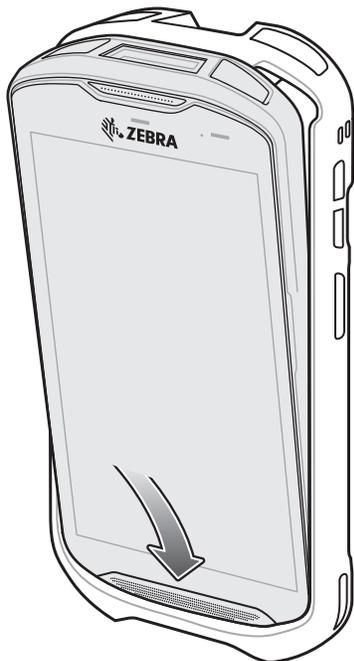


図 7-37 デバイスをブーツに挿入する

2. 高耐久性ブーツの上部をデバイスの上にかぶせます。



図 7-38 ブーツをデバイスの上にかぶせる

3. デバイスを高耐久性ブーツに押し込みます。

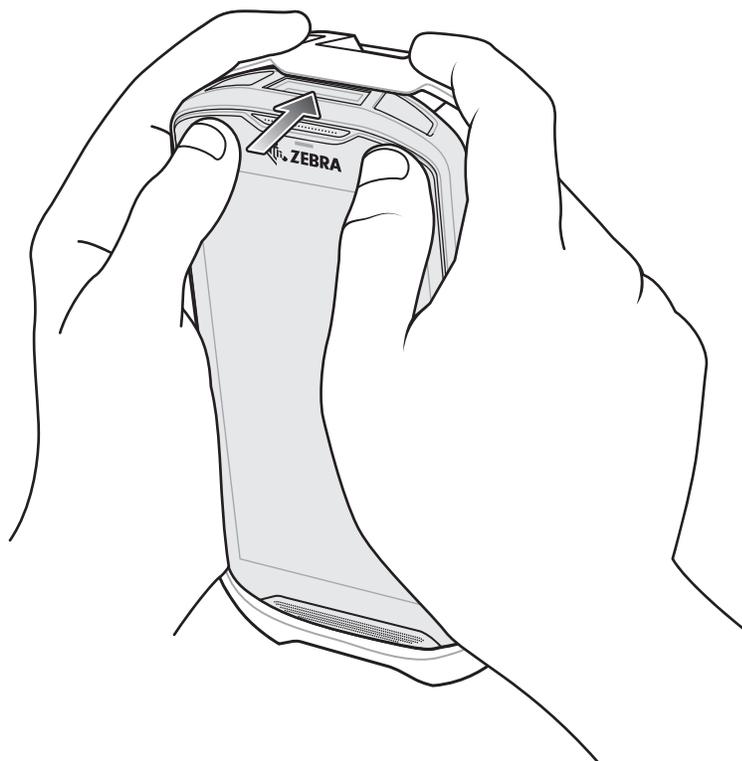


図 7-39 デバイスをブーツに押し込む

ランヤードの取り付け (オプション)

ランヤードをトリガハンドルに取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップのループの端をハンドルの下部にあるスロットに挿入します。
2. ランヤードをループに通します。

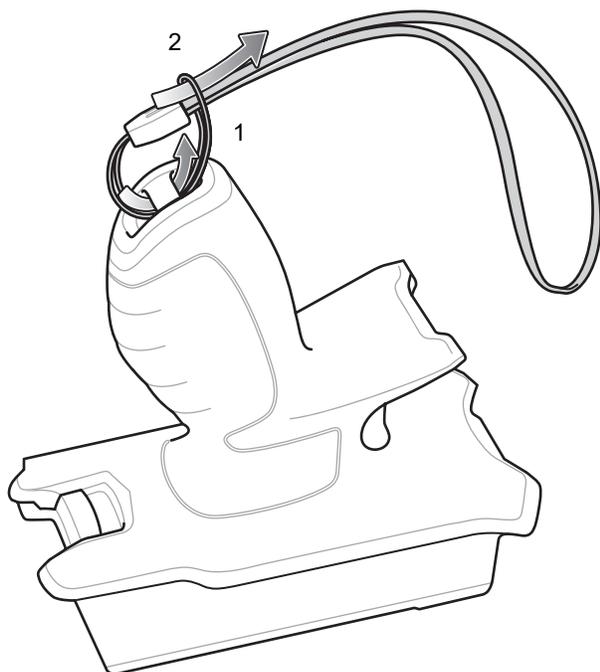


図 7-40 ランヤードをハンドルに取り付ける

3. ループが締まるまで、ランヤードを引きます。

トリガ ハンドルへのデバイスのセット

デバイスをトリガ ハンドルに取り付けるには、次の手順に従います。

1. トリガ ハンドルのフランジを高耐久性ブーツの上部に合わせて差し込みます。

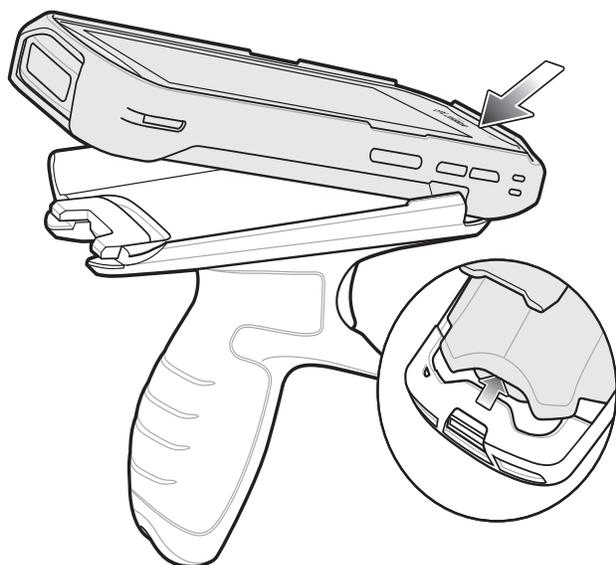


図 7-41 トリガ ハンドルへのデバイスの接続

2. デバイスを回転させ、所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。

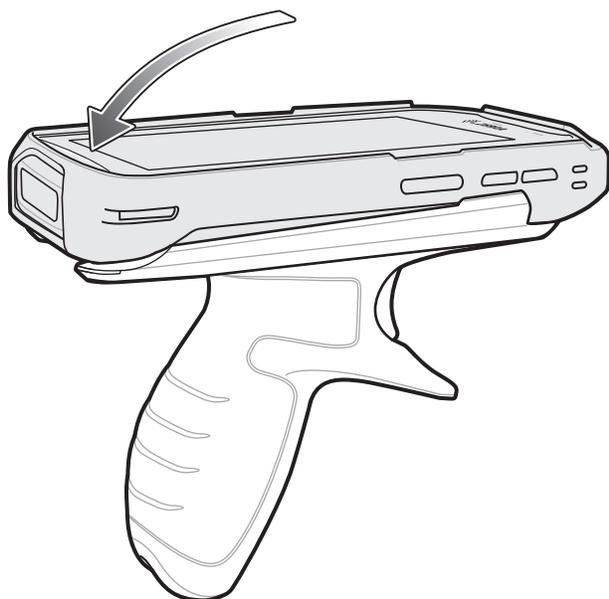


図 7-42 デバイスをトリガ ハンドルの方へ倒す

トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し

トリガ ハンドルからデバイスを取り外すには、次の手順に従います。

1. トリガ ハンドルのリリース ラッチを押します。

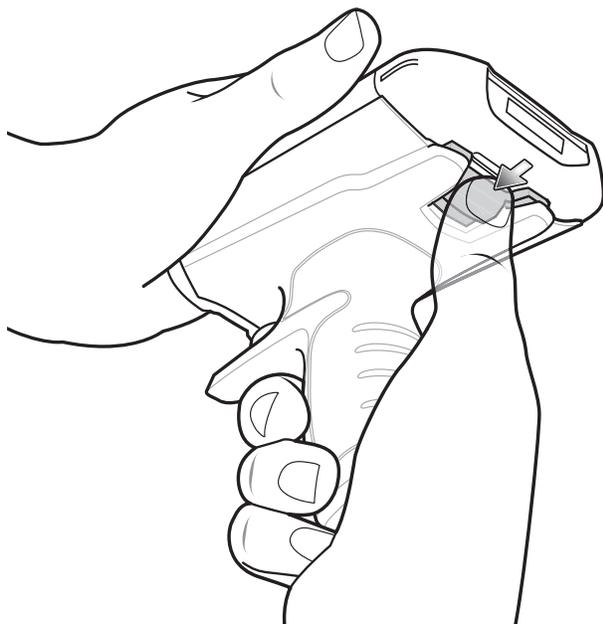


図 7-43 リリース ラッチを押す

2. デバイスを前にスライドし、デバイスの下部を上引き上げます。



図 7-44 トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し

電源

TC56 を充電するには、電源と高耐久性充電/USB ケーブルを使用します。外国でも使用できるように、さまざまな構成の電源があり、プラグ アダプタも複数用意されています。プラグ アダプタを変更するには、次の手順に従います。

1. リリース ボタンを下に引きます。

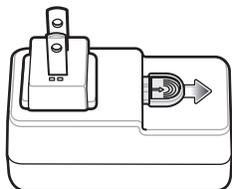


図 7-45 リリース ボタンを引く

2. プラグ アダプタを上を持ち上げ、電源から取り外します。

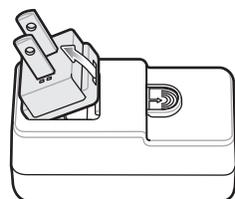


図 7-46 プラグ アダプタを持ち上げる

3. 代わりにプラグ アダプタを電源に挿入します。

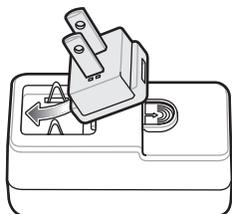


図 7-47 プラグ アダプタを挿入する

4. プラグ アダプタを、所定の位置にカチッとはまるまで押し込みます。

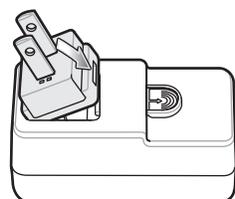


図 7-48 電源にプラグ アダプタを取り付ける

第 8 章 メンテナンスとトラブルシューティング

この章では、デバイスのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

TC56 の保守

トラブルを避けるため、TC56 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- TC56 の画面を引っかかないでください。TC56 の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。TC56 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- TC56 のタッチスクリーンはガラス製です。TC56 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- TC56 を極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、TC56 の保管や利用を避けてください。
- TC56 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。TC56 の画面の表面が汚れた場合は、柔らかい布を薄めた窓ガラス用の洗剤で湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

ディスプレイのベスト プラクティス

画像の残留

画像の残留は、静的な画像を長時間画面に表示した場合に発生することがあります。新しい画像を表示した後も、前の画像がかすかに表示されることがあります。画像の残留を避けるには、次の手順に従います。

- アイドル状態が数分間続いたときにディスプレイがオフになるように設定します。
- 背景画像を定期的に回転させます。
- デバイスを使用していないときには、ディスプレイをオフにします。
- 次の特性を持つスクリーン セーバーを使用します。
 - 背景色を黒に設定します。
 - 動く部分が小さい (ディスプレイのサイズの約 2%) 画像を使用します。
 - 画像を画面上でランダムに動かすようにします。
 - 静的な画像を使用する場合は、スクリーン セーバーをできるだけ長時間使用します。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質や薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れまたはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、グローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみ接続できます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、ホログラムを添付しています。認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、圧潰、屈曲または変形、穿孔もしくは切断しないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー端子に接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露または火、爆発あるいはその他の危険物へ暴露しないでください。
- 駐車中の車両内またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 子どもがバッテリーを使用する場合、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。

- バッテリーが液漏れした場合、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、カスタマーサポートに検査を依頼してください。

クリーニング方法



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、グローバルカスタマーサポートセンターに詳細をお問い合わせください。



警告! 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従ってただちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピルアルコール、漂白剤または次亜塩素酸ナトリウム¹(下記の重要な注記を参照)、塩化アンモニウム、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。



重要 ウェットティッシュを使用して、液体が溜まらないようにしてください。

¹次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)ベースの製品を使用するときは、必ず製造業者の推奨手順に従い、使用中は手袋を着用し、使用後はアルコールで湿らせた布または綿棒で残留分を除去して、デバイスを取り扱うときは長時間皮膚と接触しないようにしてください。

液状(ウェットティッシュを含む)の次亜塩素酸ナトリウムに暴露されると、この化学物質の強力な酸化性によりデバイスの金属面が酸化(腐食)しやすくなります。あらゆる漂白剤ベースの製品が、デバイス、バッテリー、クレードルの金属の電気端子に接触しないようにしてください。このような消毒剤がデバイスの金属に触れた場合は、クリーニングの手順の後、アルコールで湿らせた布または綿棒でただちに除去することが重要です。

有害成分

化学薬品の中には、デバイスの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要な場合があります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、およびTB-リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェットティッシュを使用してください。布やウェットティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてからデバイスを扱うようにしてください。

必要なクリーニング材料

- アルコール ウェット ティッシュ
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じて行えますが、パフォーマンスを最適に保つために、埃の多い環境で使用した場合は、カメラ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

TC56 のクリーニング

筐体

アルコール ウェット ティッシュで、ボタンを含む筐体を拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール ウェット ティッシュで拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

カメラとスキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にカメラとスキャナ ウィンドウを拭いてください。

コネクタのクリーニング

コネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. モバイル コンピュータからメインバッテリーを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。

5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ~ 6 を繰り返します。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm (0.5 インチ) 離してください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 離してください。
6. 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

トラブルシューティング

次の表は、発生する可能性がある典型的な問題と問題を解決するための対処方法を示しています。

TC56

表 8-1 TC56 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
電源ボタンを押しても TC56 の電源がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	TC56 のバッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。
	システムがクラッシュしている。	リセットします。
電源ボタンを押しても、TC56 の電源がオンにならないが、LED が 2 つ点滅する。	データを維持できるレベルのバッテリー残量があるが、充電が必要。	TC56 のバッテリーを充電または交換します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも TC56 が動作しない場合は、リセットします。
	バッテリーの充電中に TC56 をクレードルから取り外した。	TC56 をクレードルに差し込みます。1-10 ページの バッテリーの充電 を参照してください。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	TC56 の電源がオンになっていない。	電源ボタン を押します。
ホストコンピュータとのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、TC56 をクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	TC56 をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。
Wi-Fi でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Wi-Fi 無線がオンになっていない。	Wi-Fi 無線をオンにします。
	アクセスポイントの範囲から外れている。	アクセスポイントの近くに移動します。

表 8-1 TC56 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
Bluetooth でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Bluetooth 無線がオンになっていない。	Bluetooth 無線をオンにします。
	別の Bluetooth デバイスの範囲から外れている。	もう一つのデバイスの 10m (32.8 フィート) 以内に移動します。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。
TC56 の電源が突然切れる。	TC56 が非アクティブになっている。	ディスプレイは一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーを交換します。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	デバイスの反応がない。	デバイスをリセットします。
TC56 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	TC56 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します (または SD カードを使用してメモリを追加します)。
	TC56 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが TC56 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。  > [Apps] (アプリケーション) () > [Downloaded] (ダウンロード済み) を選択します。使用していないプログラムを選択し、[Remove] (削除) をタップします。

表 8-1 TC56 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
TC56 が読み取ったバーコードをデコードしない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	TC56 にスキャン アプリケーションをロードするか、DataWedge を有効にします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	スキャン ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	TC56 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に TC56 がプログラムされていない。	スキャンするバーコードのタイプに対応するように、TC56 をプログラムします。EMDK または DataWedge アプリケーションを参照します。
	TC56 がビープ音を鳴らすようにプログラムされていない。	正しく読み取ったときに TC56 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザー光線の放射が停止する場合は、バッテリー レベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、バッテリー残量が少ないことを TC56 が通知する前に、スキャナがシャットオフします。 注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店またはグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
TC56 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m (32.8 フィート) 以内にデバイスを近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
TC56 のロックを解除できない。	ユーザーが正しくないパスワードを入力している。	ユーザーが正しくないパスワードを 8 回入力すると、再試行する前にコードを入力するように求められます。 パスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

付録 A 技術仕様

以降のセクションでは、デバイスの技術仕様について説明します。

TC56

表 A-1 TC56 技術仕様

項目	説明
物理特性	
寸法	高さ : 155mm (6.1 インチ) 幅 : 75.5mm (2.9 インチ) 奥行き : 18.6mm (0.73 インチ)
重量	249g (8.8oz)
ディスプレイ	5.0 インチ高解像度 (1280 x 720)、非常に明るく屋外でも見やすい画像で、タッチパネルに光学的に結合されている
タッチパネル	デュアルモード、スタイラス、指、または手袋をはめた指によるタッチ入力を検出可能 (伝導性スタイラスは別売り)、コーニングゴリラ ガラス 4
バックライト	発光ダイオード (LED) バックライト
バッテリー	充電式 ≥ 15.48 ワット時 (一般) / $\geq 4,150$ mAh バッテリー、Power Precision+、バッテリーサイクル回数を長くするためバッテリーテクノロジーを向上、バッテリーメトリックにバッテリー残量をリアルタイムに表示できるためバッテリー管理が容易、急速充電 (最大 2.4 mA)
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な最大 32GB SDHC および最大 128GB SDXC 対応の microSD
接続インターフェース	Universal Serial Bus (USB) 2.0 ハイスピード (ホストとクライアント)
通知	可聴音、多色 LED、バイブ

A - 2 TC56 ユーザー ガイド (Android 向け) バージョン 6.0.1

表 A-1 TC56 技術仕様 (続き)

項目	説明
音声およびオーディオ	2 個のマイクをサポート (雑音消去機能付き)、パイプレータ通知、スピーカ、Bluetooth 無線ヘッドセットに対応。高性能スピーカー フォン、PTT ヘッドセットに対応、セルラ回路切り替えボイス、HD Voice
性能特性	
CPU	Snapdragon 650 64 ビット Hexa-Core 1.8GHz ARM Cortex A72、電力最適化
オペレーティング システム	Android 6.0.1 Marshmallow と Zebra のモビリティ拡張機能 (Mx) (AOSP と GMS の両方にインストール済み)
メモリ	標準: 2GB RAM/16GB フラッシュ オプション: 4GB RAM/32GB フラッシュ
出力	USB: 5VDC @ 500mA (最大)
ユーザー環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
相対湿度	動作: 5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	動作温度範囲を超える温度で、1.2m (4 フィート) の高さからコンクリートを覆うタイルに複数回落下しても動作可能 動作温度範囲を超える温度で、1.5m (5 フィート) の高さからコンクリートに複数回落下しても動作可能 (高耐久性ブーツ装着時)
転倒	0.5m (1.6 フィート) の転倒を 500 回繰り返しても動作可能、IEC の該当する耐転倒衝撃仕様に準拠および高水準達成
静電気放電 (ESD)	± 15 kVDC 大気放電、± 10kVDC 直接放電、± 10kVDC 間接放電
振動	4G PK サイン波 (5Hz ~ 2kHz)、0.04g2/Hz ランダム (20Hz ~ 2kHz)、試験時間は 1 軸あたり 60 分間で 3 軸実施
耐熱衝撃性	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) の急激な温度変化
インタラクティブ センサ テクノロジ (IST)	
モーション センサ	3 軸式加速度計 Gyro、3 軸式加速度計
光センサ	周辺光センサによりディスプレイのバックライトの明るさを自動調整
近接センサ	音声通話中にユーザーがハンドセットを手にしたことを自動的に検出し、ディスプレイ出力とタッチ入力を無効化
無線 LAN データおよび音声通信	
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/d/h/i/r、Wi-Fi™ 準拠、IPv4、IPv6

表 A-1 TC56 技術仕様 (続き)

項目	説明
サポートされるデータ速度	5GHz: 802.11a/n/ac - 最大 433.3Mbps 2.4GHz: 802.11b/g/n - 最大 72.2Mbps
動作チャンネル	チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz) チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825MHz) チャンネル帯域幅: 20、40、80MHz 実際の動作チャンネル/周波数は、各地域の規制および承認機関によって異なります
セキュリティと暗号化	WEP (40 または 104 ビット)、WPA/WPA2 Personal (TKIP および AES)、WPA/WPA2 Enterprise (TKIP および AES) — EAP-TTLS (PAP、MSCHAP、MSCHAPv2)、EAP-TLS、PEAPv0-MSCHAPv2、PEAPv1-EAP-GTC および LEAP
認証	WFA (802.11n、WMM-PS)
高速ローミング	PMKID キャッシュ、Cisco CCKM、802.11r、OKC
無線 WAN データおよび音声通信	
周波数帯	ワールドワイド: LTE: 700、800/850/900/1800/2100/2600 (FDD 28、20、5、8、3、1、7)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850/900/1900/2100: GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900 南北アメリカ: LTE: 700/850/1900/AWS/2100 (FDD 13、12、17、5、26、2、25、4、1)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850、900、AWS、1900、2100 GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900: CDMA: 850、1900 (BC0、BC10、BC1)
GPS	統合型、自律型、アシスト GPS (A-GPS)、Navstar、GLONASS、Beidou、Galileo
無線 PAN データおよび音声通信	
Bluetooth	Class 2、Bluetooth v4.1 (Bluetooth Smart テクノロジー)、Bluetooth Wideband 対応 HFPv1.6、Bluetooth v4.1 Low Energy (LE)
データ収集仕様	
2D イメージャ	SE4710 イメージャ (1D および 2D)、LED 照準器付き
カメラ	背面 - 13MP オートフォーカス、f/2.4 開口部、背面カメラのフラッシュ LED はバランスが調整された白色光を生成、タッチ モード対応
Near Field Communications (NFC)	ISO 14443 Type A および B、F、FeliCa および ISO 15693 カード、P2P モード、および UICC とホストを介したカード エミュレーション

A - 4 TC56 ユーザー ガイド (Android 向け) バージョン 6.0.1

表 A-1 TC56 技術仕様 (続き)

項目	説明
2D イメージャ エンジン (SE4710) の仕様	
視野	水平 - 48.0° 垂直 - 36.7°
画像解像度	1280 (水平) x 960 (垂直) ピクセル
回転	360°
ピッチ角	±60°
スキュー	±60°
周辺光	直射日光: 10,000ft キャンドル (107,639 ルクス)
焦点範囲	読み取り部前面からの距離: 17.7cm (7.0 インチ)
レーザー照準波長	可視半導体レーザー (VLD)655nm ± 10nm 中央点光電力: 0.6mW (一般) パターン角度: 48.0° 水平、38.0° 垂直
照明システム	LED: 温白色 LED パターン角度: 505 輝度で 80°

表 A-2 データ収集読み取り可能コード

項目	説明
1D バーコード	Code128、EAN-8、EAN-13、GS1DataBarExpanded、GS1128、GS1DataBar Coupon、UPCA、Interleaved 2 of 5、UPC Coupon Code
2D バーコード	PDF-417、QR Code

索引

数字

- 1 スロット USB/充電専用クレードル キット 7-1
- 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器キット付き) 7-1
- 4 スロット バッテリー充電器キット 7-2
- 5 スロット イーサネット クレードル キット 7-1
- 5 スロット 充電専用クレードル キット 7-1

A

- android キーボード 2-13

B

- Bluetooth 6-1, 6-11
 - PIN 6-11
 - セキュリティ 6-11
 - 電源の状態 6-13
 - プロファイル 6-12
- Bluetooth ヘッドセット 3-1
- Bluetooth ヘッドセットの使用 3-1

D

- DataWedge 2-15, 5-14
- DataWedge のデモ 4-20
- DC 電源コード 7-4
- DWDemo 2-15

E

- EAP 6-9
- Elemex 4-28

M

- microSD カード 1-4, 1-13

N

- Near Field Communications 6-1, 6-16
- NFC 6-16
- NFC アンテナ 1-4

P

- PTT Express 4-23
- PTT ボタン 1-2

R

- RS507 スキャニング 5-7, 5-8
- RS6000 スキャニング 5-5
- RxLogger 4-27

S

- SIM カード 1-15

T

- TTY 3-17

U

- USB 2-25
- USB を使用したファイルの転送 2-25

W

- WEP 6-9

Wi-Fi ネットワーク	6-9
WLAN	6-1
WLAN への接続	6-9
WPA	6-9

Z

構成	xiii
----	------

あ

アプリケーション	2-14
アルバム	4-14

い

イーサネット接続	7-17
イメージャ スキャン	5-1

う

ウェイクアップ ソース	1-25
-------------	------

え

エンタープライズ キーボード	2-11
----------------	------

お

オーディオ アダプタ	7-2
音声モード	3-1
音量の調節	3-2

か

会議通話	3-9, 3-12
画像転送	2-25
カメラ	1-3, 2-17, 4-8
カメラの設定	4-11
画面	
ロック解除	2-19
画面の回転	1-20
画面のタイムアウト	1-21
画面のフォント サイズ	1-21
画面のロック解除	2-19
カレンダー	2-14

き

機内モード	1-19
機能	1-2
キーボード	2-13
android	2-10

エンタープライズ	2-10
ギャラリー	2-15, 4-13
緊急通話	3-1
近接センサ	1-3

く

クリーニング	8-3
クリーニング方法	8-3
クレードル	
コネクタのクリーニング	8-6
クレードル マウント	7-2

こ

高耐久性充電/USB ケーブル	7-2
高耐久性ブーツ	7-2
コード	A-4

さ

サウンド設定	1-23
サウンド レコーダ	2-17, 4-22
サスペンド モード	2-24
サービスに関する情報	xvi

し

時刻の設定	1-19
自動転送	3-17
写真	4-8
写真の撮影	4-8
写真設定	4-11
シリアル番号	xiv
診断	4-28

す

スキャン	5-1, 5-4
スキャン アプリケーション	4-20
スキャン ボタン	1-2
スタイラス	7-3
ステータス アイコン	2-4
ステータス バー	2-3
スピーカ	1-2
スピーカ モード	3-1

せ

セキュリティ	6-9
設定	2-17
ウェイクアップ ソース	1-25
カメラ	4-11
サウンド	1-23

タッチパネルモード	1-22
通知LED	1-23
ディスプレイ	1-20
ビデオ	4-12
フォント	1-21
センサ	A-2

そ

ソフトホルスタ	7-3
ソフトリセット	2-23

た

ダイヤラの使用	3-3
ダウンロード	2-15
タッチスクリーン	2-10
タッチモード	1-22

ち

着信音	3-16
-----	------

つ

通知アイコン	2-5
--------	-----

て

ディスプレイ	
クリーニング	8-4
ディスプレイの設定	1-20
低バッテリー通知	1-18
適応型周波数ホッピング	6-11
データ収集	5-1
デバイスのリセット	2-23
電源	7-3
電子メール	2-15
電卓	2-14

と

時計	2-14
トラブルシューティング	8-7
トリガハンドル	7-3
トリガハンドルキット	7-3

は

発信先固定	3-17
発信者ID	3-17
発着信制限	3-17
バッテリー	1-3, 7-2
管理	1-17

最適な使用方法	1-19
使用量の監視	1-17
低電力通知	1-18
バッテリー交換	1-11
バッテリー使用量	1-17
バッテリーの充電	1-10
バッテリー	
マネージャ	4-1
バッテリーマネージャ	4-1
ハードリセット	2-23
パノラマ	4-9
パノラマ写真	4-9
パノラマ写真の撮影	4-9
ハンズフリー イメージャ	5-2
ハンドストラップ	7-3
ハンドセットモード	3-1

ひ

光センサ	1-2
ピックリスト	5-2
日付の設定	1-19
ビデオ	4-8, 4-10
ビデオの設定	4-12
ビデオの録画	4-10

ふ

ファイル転送	2-25
ファイルブラウザ	2-15, 4-4
フォントサイズ	1-21
フォントサイズの設定	1-21
ブラウザ	2-14

へ

ヘッドセットジャック	1-3
ヘッドセットモード	3-1

ほ

ボイスメールの設定	3-17
ホーム画面	2-2
ホーム画面の回転	1-20

む

無線ローカルエリアネットワーク	6-1
-----------------	-----

も

モデル番号	xiv
-------	-----

ゆ

有害成分	8-3
有線ヘッドセット	3-2
有線ヘッドセットの使用	3-2
指の使用	1-22

り

リセット	2-23
------------	------

れ

連絡先	2-14, 4-7
-----------	-----------

わ

割込通話	3-17
------------	------



Zebra Technologies Corporation, Inc.
3 Overlook Point
Lincolnshire, IL 60069, U.S.A.
<http://www.zebra.com>

© 2019 ZIH Corp and/or its affiliates. All Rights Reserved. ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。